XIII 教員の研究教育・社会貢献活動

本章は「茨城大学研究者情報総覧」に入力されたデータをもとに作成された。一人の教員を一つのデータシートとしてまとめてある。なお、データは平成 30 年 3 月 31 日現在のものである。

1 教員の研究教育・社会貢献活動

学校教育教員養成課程 教科教育コース 国語教育教室	氏名 増子 和男
---------------------------	----------

教員履歴など

教員履歴なる	
現職	教 授
	早稲田大学 第一文学部 文学科中国文学専修[1976年03月卒業]
	早稲田大学大学院 文学研究科 中国文学専攻[1978年03月修了]
	早稲田大学 第一文学部 非常勤講師(1989年4月~1991年3月)
	鶴見大学 文学部 非常勤講師(1990年4月~1991年3月)
	梅光女学院大学 文学部 専任講師(1991年4月~1995年3月)
	九州国際大学 経済学部 非常勤講師兼任(1994年4月~1999年3月)
	梅光女学院大学 文学部 助教授(1995年4月~2001年3月)
学歴・職歴	梅光学院大学 大学院文学研究科 講師兼任(2001年4月~2002年3月)
	梅光学院大学 文学部教授(2001年4月~2008年3月)
	東亜大学 総合人間・文化学部 非常勤講師兼任(2002年4月~2004年3月)
	梅光学院大学 大学院文学研究科 教授併任(2002年4月~2008年3月)
	山口大学 非常勤講師兼任(2007年4月~2008年3月)
	台湾輔仁大学 大学院講師兼任(集中講義)(2008年2月~2008年2月)
	茨城大学 教育学部教授(大学院教育学研究科教授併任)(2008年4月~)
	早稲田大学 文学学術院(大学院文学研究科・文化構想学部)非常勤講師兼任
	(2011年4月~2014年3月)
	早稲田大学 文学学術院(大学院文学研究科)非常勤講師兼任(2011年4月~
	2017年3月)
	茨城大学教育学部附属特別支援学校長併任(2012年4月~2015年3月)
学位	文学修士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本中国学会 全国漢文教育学会 和漢比較文学会 中唐文学会 早稲田大学
川周十云	中国文学会 中国詩文研究会 中国古典学会 日本聞一多学会 早稲田大学

	国文学会
専門分野	中国文学
教育研究概要	(教員からのメッセージ) 明治以来、西欧一辺倒となった日本では、漢文をさしたる理由もなく、「古くさい」と決めつけて嫌う風潮が蔓延し、今日に至っています。しかし、漢文は日本が属する東アジアの共通言語であり、ちょうど西欧諸国の「ラテン語」にあたる存在で、長い年月、東アジア各国の文学や文化、そして言語にも大きな影響を与えてきたものなのです。 漢文を単純に古くさいと決めつけて否定し、或いは難しそうだと、これを避けて通ろうとすることは、自分たちの歴史、文化、言語の一方の「親」を否定することであり、更にはその血を引いた自分自身をも否定することにも繋がってしまいかねません。 教育、とりわけ国語教育に携わる人たちがそうであってはなりません。自国や自分の属する東アジアのことを知った上で、はじめて本当の意味での国際人になれるのだということを強く自覚して漢文を学習してほしいと思います。 唐代伝奇研究。六朝志怪小説研究。日中怪異譚の比較研究。 文言で書かれた小説に現れた用語の来源と、用語に対してそれらの小説が執筆された当時の人々が共有した思いを探っている。また、関わりの深い日中両国の怪異譚を比較することによって、その受容と変容、その背景となった人々の思いを探っている。 (キーワード) 六朝志怪、唐代伝奇、日中怪異譚比較
担当科目	(教養科目)コミュニケーションと芸術文化 (専門科目)漢文学概論,漢文学研究法 I,漢文学演習 II,漢文学研究法 II,漢文 学基礎,初等国語科内容研究,漢文学演習 I,漢文学演習 I,卒業研究(教育:4単位),初等国語科内容研究 (大学院科目)言語文化総合研究,漢文学特論,初等国語教育学授業設計,漢文 学研究,研究と教育一知の往還をめぐって一,中等国語教育学授業設計,特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- 1. [研究論文(学術雑誌)単著]増子 和男「岡倉天心の漢詩―特にその恋愛詩二首について― 五 浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), 25,3-11 2018 年 11 月 3 日)
- 2. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]増子 和男「貧乏神」考―窮鬼と貧乏神の間― 増子和男,2018 和漢比較文学研討会論文集(国立台湾大学日本語文学系・和漢比較文学会)1,47-57 2018 年 10 月 1 日)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [口頭発表(一般)·国際会議(単独)] 增子和男「貧乏神考 和漢比較文学会第 11 回海外特別例 会 2018 年 8 月 30 日

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業·兼職
- 1. [非常勤講師] 早稲田大学文学学術院(大学院文学研究科)·非常勤講師, 6(時間/月)(2011年04月~)
- 学協会での役職
- 1. 茨城国語教育学会会長 2016年4月より

海外出張・海外研修・内地研修など

台湾 台北市 国立台湾大学[和漢比較文学会第11回海外特別例会及び交流会参加のため](2018 年8月~9月:4日間)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教科教育コース 国語教育教室

氏名 川嶋 秀之

教員履歴など

現 職	教 授
学歴•職歴	東京都立大学大学院 人文科学研究科 国語学[1987年]
学位	修士(文学)[東京都立大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本語学会 全国国語国文学会 古事記学会 日本方言研究会
専門分野	国語学 国語史
教育研究概要	
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間とコミュニケーション (専門科目)国語学演習 II, 国語学概論, 保育内容の研究(言葉), 国語学演習 I, 国語表現法, 初等国語科内容研究 A・C, 郷土の言葉, 卒業研究(教育:4 単位), 言語と文化の諸相 (大学院科目)言語文化総合研究, 古典語特論, 初等国語教育授業設計, 中等国 語教育授業設計, 現代語演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

(単)「俳句を理解するということ」(茨城国語教育学会『茨城の国語教育』第15号 平成29年3月 pp29-37.

社会的活動、地域貢献など

平成29年度「大好きいばらき作文コンクール」審査委員長(平成29年10月)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

平成29年度「大好きいばらき作文コンクール」審査委員長(平成29年10月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領	

学校教育教員養成課程 教科教育コース 国語教育教室

氏名 鈴木 一史

教員履歴など

現 職	准教授
学歴•職歴	筑波大学大学院 教育研究科 教科教育専攻[1996年03月修了] 東京大学教育学部附属中等教育学校(2000年4月~2012年3月) 聖徳大学・非常勤講師(国語表現)(2002年4月~2004年3月) 東京大学・非常勤講師(教科教育法)(2005年4月~2012年3月) 聖心女子大学・非常勤講師(教科教育法)(2007年4月~2012年3月)
学位	修士(教育学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	解釈学会 日本国語教育学会 全国大学国語教育学会 日本読書学会 人文科教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	(キーワード)国語科教育法 授業プログラム 語彙教育 コーパス 作文教育 作 文コーパス 教科書分析 作文語彙 授業開発
担当科目	(教養科目)メディア文化「ことばを探す」,大学入門ゼミ「国語教育入門」 (専門科目)初等国語科教育法,中等国語科教育法 I、中等国語科教育法 II、国 語科教育法研究,国語科教育法特講 I,卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)言語文化総合研究,国語科教育学特論 I,初等国語教育学授業 設計,中等国語教育学授業設計,国語科教育学演習 I,教材研究と授業設計 I,人間形成の現代的課題と学習指導,教育方法開発課題研究 I,教育方法開 発課題研究 II,特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- 1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]鈴木一史「教員意識と学力調査結果の関係性に関する 一考察 - 茨城県の中学国語教員への調査を中心に -」, 茨城大学大学院教育学研究科教育実 践高度化専攻年報, 2, 27-36(2018 年 03 月)
- 2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]昌子, 佳広 鈴木, 一史 宮崎, 尚子 川嶋, 秀之 増子, 和男 斎木, 久美「新旧小中学校学習指導要領国語科に関する記述内容の特色と教材化研究: 教科教育と教科専門の融合的授業構築にむけて」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 67, 1-8 (2018年03月30日)

- 3. [(MISC)総説・解説(学術雑誌)単著【依頼/招待】]鈴木一史「現古融合単元の実践」,国語教育研究,547,94-94(2017年11月10日)
- 4. [(MISC)総説・解説(商業誌)単著【依頼/招待】]鈴木一史「高等学校段階で育てる「思考力・判断力・表現力」と授業づくりのポイント」,教育科学国語教育,59,11,58-63(2017年11月01日)
- 5. [(MISC)総説・解説(学術雑誌)単著【依頼/招待】]鈴木一史「語彙教育の視座―コーパスから考える「豊かな語彙」―」、初等教育資料、959、110-113(2017年10月)
- 6. [(MISC)総説・解説(商業誌)単著]鈴木一史「数値化される作文」, 教室ツーウェイ NEXT, 128-128(2017 年 04 月 01 日)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [ロ頭発表(一般)・国内会議(単独)]「授業に対する教員意識と学習成績― 茨城県の中学校教員に対する調査をもとに ―」全国大学国語教育学会(岩手大学)[2017 年 05 月 28 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[その他(共同)]批評感覚(2016年09月)

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. 「出前授業] 緑岡高校・(2016 年 04 月~)
- 2. [兼業] 教員免許状更新講習・(2012 年 04 月~)
- 学協会での役職
- 1. 日本国語教育学会, 高等学校部会副部会長(2010年04月~)
- 2. 解釈学会, 常任委員•編集委員(2009年01月~)
- 3. 日本国語教育学会,全国大会企画委員(2008年04月~)
- 4. 日本国語教育学会, センター試験問題検討委員(2005年04月~)
- 学外教育
- 1. 「その他」「NHK 高校講座「現代文」講師」,,, 日本放送協会
- 2. [出前授業]「ワールド・カフェ」, 3 時間, 20 名出席, 福島県立湯本高等学校
- 講演会・シンポジウム
- 1. 「解釈学会 第 49 回全国大会(国内)」, [司会・議長・コンビーナ・コーディネータ,企画・運営] (2017 年 08 月)
- 2. 「第80回 国語教育全国大会(国内)」, 日本国語教育学会[司会・議長・コンビーナ・コーディネータ,その他](2017年08月)
- 地域協力活動
- 1. 公益社団法人 高等学校文化連盟[その他公的社会活動]「高文連・指導助言講師(文芸部門)」 (2017年06月~)

- 2. [学外審議会・委員会等]「日本教育大学協会」(2015年~)
- 3. 日立市立大久保小学校[その他公的社会活動] 「日立市立大久保小学校 課題研究講師」 (2015年 04月~2018年 03月)
- 4. [その他公的社会活動]「授業づくり研究会「言葉をひらく会」」(2013年~)
- 5. [その他公的社会活動]「日本学術振興会」(2013年~)
- 6. [学外審議会・委員会等]「センター試験 問題検討委員」(2002年04月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費] (代表) 「授業者の言語力と授業構築との関係性の解明と授業力向上プログラムの開発」, 195 万円 (2017 年 04 月 01 日~2020 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 国語教育教室

氏名 宮﨑 尚子

教員履歴など

現 職	准教授
	熊本大学大学院 文学研究科(日本)[1999年03月修了]
	九州大学大学院 比較社会文化研究科 日本社会文化専攻(文化構造)(日本)
	[2002年03月単位取得満期退学]
	尚絅大学(2000年4月~2005年10月)
	尚絅高等学校(2002年4月~2007年3月)
学歴•職歴	平成音楽大学(2005年10月~2007年3月)
子症"机定	熊本学園大学(2006年4月~2007年3月)
	尚絅高等学校(2007年4月~2011年3月)
	尚絅大学(2011年4月~2015年3月)
	熊本市医師会看護専門学校(2014年4月~2017年3月)
	尚絅大学(2015年4月~2017年3月)
	教育学部 国語教育教室(2017年4月~)
学位	修士(文学)[熊本大学大学院]
受賞歴	なし
- 正届学-	川端康成学会/日本近代文学会/国語国文学学会/全国大学国語教育学会
所属学会	/日本教育学会/国際芥川龍之介学会/茨城国語教育学会
専門分野	日本文学
	文学性を育む国語教育について研究しています。具体的には旧制中学校時代の
教育研究概要	川端康成の受けた国語教育や、学校での体験を中心に調査しています。
	(キーワード)日本近現代文学 国語教育 川端康成 旧制中学校 日記
担当科目	(専門科目)近·現代韻文演習 I, 近·現代散文研究 I, 国文学史/国文学概論, 近·
	現代韻文演習 II, 近·現代散文研究 II, 卒業研究(教育:4 単位), 初等国語科内容
	研究
	(大学院科目)近代文学特論,現代文学研究 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著] 昌子佳広・鈴木一史・宮崎尚子・川嶋秀之・増子和男・齋木久美「新旧小中学校学習指導要領国語科に関する記述内容の特色と教材化研究―教科教育と教科専門の融合的授業構築にむけて―」、「茨城大学教育学部紀要」、67、6-9(2018年01月30日)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [ロ頭発表(招待・特別)・国内会議(単独)]「川端康成研究~孤児根性発生のプロセス~」第三十七回 茨城国語教育学会(茨城大学)[2018 年 03 月 24 日]
- 2. [ロ頭発表(一般)・国際会議(単独)]「川端康成 " 幻の処女作 "「生徒の肩に柩をのせて」について」韓国日本基督教文学會 国際学術発表大会(国立 仁川大学)[2017 年 09 月 23 日]
- 3. [ロ頭発表(一般)・国内会議(単独)]「明治大正期の大阪府立茨木中学校の教師陣――川端康成と倉崎仁一郎の例を中心に」Modern Literature and Education: Exploring New Approaches to the Study of Literature (筑波大学) [2017 年 07 月 15 日]
- 4.[ロ頭発表(一般)・国内会議(単独)]「新資料『生徒の肩に柩をのせて』に描かれた恩師 倉崎仁 一郎 | 第 175 回例会 川端康成学会(昭和女子大学) 「2018 年 8 月 25 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- ○審査委員
- 1. 第62回文部科学大臣杯全国青年弁論大会審查委員(2017年11月)
- 2. 第44回茨城県高等学校春季弁論大会(2018年5月)
- 講演会・シンポジウム
- 1.「川端康成文学館 文学講座(後期)(国内)」, 茨木市(川端康成文学館)[招待講演](2017年03月)
- 2. 「川端康成文学館 文学講座(後期)(国内)」, 茨木市(川端康成文学館)[招待講演](2017年03月)
- 3.「茨木市制施行 70 周年記念シンポジウム(国内)」, 茨木市(茨木市, 茨木市観光協会)[基調講演] (2018年11月)

海外出張・海外研修・内地研修など

韓国 仁川広域市 仁川大学校[学術発表大会参加のため](2017年9月:2日間) ロシア サンクトペテルブルク サンクトペテルブルク大学[学術発表大会参加のため](2018年9月3 日間)

科学研究費補助金などの受領

科学研究費助成事業/基盤研究 C(一般)研究代表者「新資料川端康成『生徒の肩に柩をのせて』の 関係資料収集と翻刻整理を目的とした研究」/2015~2018 年

学校教育教員養成課程 教科教育コース 社会科教育教室

氏名 小野寺 淳

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	筑波大学 人文学類 歴史地理学[1978年] 筑波大学大学院 歴史·人類学研究科 史学専攻(歴史地理学)[1985年]
学位	文学博士
受賞歴	なし
所属学会	交通史研究会 日本国際地図学会 東京地学協会 日本地理学会 人文地理学会 歷史地理学会 茨城地理学会
専門分野	地理学 人文地理学 歴史地理学
教育研究概要	主たる研究は、江戸時代の古地図(主に河川絵図・国絵図)、江戸時代の旅(お伊勢参り)、茨城県内における近世・近代の都市・農村の景観変化(石岡市史・協和町史・八千代町史・猿島町史・境町史などを分担執筆)の研究を行っている。授業は人文地理学の概論と専門、地域へのアプローチや地理学野外実習(フィールドワークの初歩)、茨城の歴史と文化(茨城県通史)、茨城の風土と生活(茨城県地誌)などを担当している。 (キーワード)江戸時代の古地図研究,伊勢参り,古道,城下町
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ(教育学部),人間と歴史,茨城学,地域志向系科目【茨城学】/茨城学,地域志向系科目【茨城学】/茨城学,公共社会 (専門科目)歴史地理学 II(免許あり)/歴史地理学 II,人文地理学 I/人文地理学/人文地理学 E/人文地理学概論,茨城の歴史と文化(教科又は教職)/茨城の歴史と文化(情報文化),人文地理学演習,卒業研究(教育:4単位),茨城の風土と生活,地理学野外実習 I (大学院科目)人文地理学演習,人文地理学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
- 1. [単行本(一般書)・分担執筆]平岡昭利編「読みたくなる「地図」東日本編:日本の都市はどう変わったか」,海青社,86-87(2017年11月10日)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [シンポジウム・ワークショップ パネル(公募)・国内会議(単独)]「米沢城下における明和 6 年の番組拝領屋敷-歴史 GIS による分析-」」米沢史学会「米沢城下絵図と GIS」(米沢市) [2017 年 11

月 11 日]

- 2. [ロ頭発表(一般)・国内会議(単独)]「江戸時代後期から明治中期までの出版国図」国絵図研究会第42回大会(高知城歴史博物館)[2017年09月23日]
- 3. [ロ頭発表(基調)・国内会議(単独)]「ある民間地図製作者の軌跡ー横山大観の父酒井捨彦ー」歴史地理学会第60回大会(愛知教育大学)[2017年06月17日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 行政機関等での委員就任
- 1. 「水戸市教育委員会「水戸でブラタモリ」」
- 学協会での役職
- 1. 歴史地理学会, 常任委員長(2015年06月~2017年)
- 2. 茨城地理学会, 会長(2012年08月~)
- 3. 人文地理学会, 協議員(2007年~)
- 4. 茨城地理学会, 常任委員長(2006 年~)
- 5. 日本国際地図学会, 評議員(2005年04月~)
- 学外教育
- 1. [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「社会教育主事講習「地図で読み解く時代と社会」」,,,
- 講演会・シンポジウム
- 1. 「放送大学ライブラリー講演会「長久保赤水 300 年記念 知の探究者: 長久保赤水ー赤水が描いた 地図の世界-」(国内)」, (茨城県立図書館)[講演](2017 年 11 月)
- 2. 「長久保赤水生誕 300 年事業パネルディスカッション「長久保赤水から酒井捨彦まで-水戸藩地図 製作の系譜-」(国内)」, 高萩市[パネリスト] (2017 年 10 月)
- 3. 「北茨城市「古地図で見る日本・茨城」(国内)」, [講演](2017年09月)
- 4. 「茨城県西生涯学習センター 水戸藩」, 「講演] (2017年07月)
- 5. 「常陽藝文「長久保赤水とシーボルト」(国内)」, [講演](2017年07月)
- 6. 「茨城県弘道館アカデミー県民大学「長久保赤水はどのように地図を作ったか?」(国内)」, [招待講演] (2017年 06月)
- 7. 「長久保赤水顕彰会講演「長久保赤水生誕300年記念: 長久保赤水の地図-地図史上の評価と課題-(国内)」,(高萩市) [招待講演](2017年05月)
- 8.「偕楽園を愛する会講演会:水戸へと続く江戸時代の道-水戸道中と岩城相馬道-」(国内)」, [招待講演](2017 年 04 月)
- 地域協力活動
- 1. 水戸市商工会議所商工振興課まちの駅みとネットワーク協議会(2013 年 09 月~)

海外出張・海外研修・内地研修など	
科学研究費補助金などの受領	

学校教育教員養成課程 教科教育コース 社会科教育教室

氏名 村山 朝子

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	お茶の水女子大学 文教育学部 地理学科[1981年03月卒業] 奈良女子大学大学院 文学研究科 地理学[1984年03月修了] お茶の水女子大学附属中学校 教諭(1984年4月~1990年3月) 茨城大学教育学部/人文学部非常勤講師(1992年12月~2004年3月) 常磐大学人間科学部非常勤講師(1993年4月~2004年3月) 流通経済大学経済学部非常勤講師(1998年4月~2005年3月) 茨城大学教育学部助教授(のち准教授)(2004年4月~2009年9月) 茨城大学教育学部教授(2009年10月~)
学位	文学修士[奈良女子大学]
受賞歴	人文地理学会賞(2007)
所属学会	日本社会科教育学会 日本地理教育学会 日本地理学会 人文地理学会 茨城地理学会
専門分野	教科教育学 地理教育学 地理学 人文地理学
教育研究概要	(教員からのメッセージ) 地理教育を中心に、社会科教育のあり方、具体的にはカリキュラム、内容、教材をどうするか、ということが現在の研究課題です。具体的には、地理教育の歴史的変遷や諸外国の動向、教材としての教科書研究、世界地誌教材開発などに取り組んでいます。地理教育が果たすべき役割は、自然と人間との関わりをベースに、地域の具体的事象を取り上げ、科学的社会認識にもとづく市民性の育成にあると考えます。この地理教育思想の観点からスウェーデンで小学生向け地理読本として書かれた『ニルスのふしぎな旅』を研究しています。また中学校社会科地理的分野の教科書作成にも長年関わってきました。授業は中等社会科の指導法の科目を主に担当しています。なお2011年から「いばらき児童生徒地図研究会」会長として茨城県内の小中学生の地図作品展「いばらき児童生徒地図作品展」を主催し、小中学生の地域に対する関心や空間的思考を培う地図づくりの活動の普及に努めています。
担当科目	(専門科目)地理歴史科教育法研究 I, 中等社会科教育法 I, 中等社会科教育法研究/中等社会科教育法 I (教育学部), 社会科教育法特講 II, 中等社会科教育法研究, 社会科教育法演習 II, 卒業研究(教育:4 単位), 社会科教科論

(大学院科目)初等社会科教育特論 I,中等社会科教育特論 I,社会科授業設計 I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

論文

単著:邦訳『ニルスの不思議な旅』の系譜 その1: 初訳刊行から昭和戦争期まで, 茨城大学教育学部紀要.人文・社会科学・芸術 茨城大学教育学部 66,85-104,2017/03/30

単著:邦訳『ニルスの不思議な旅』の系譜 その2:1949 年以降(昭和戦後期から現在まで), 茨城大学教育学部紀要.人文・社会科学・芸術 茨城大学教育学部 66,105-121, 2017/03/30 報告

単著:報告・討議の要旨及び座長の所見―大西宏治『子ども野地理学の展開』2017年人文地理学 会大会特別発表―,人文地理 70―1,146―150,2018/3/31

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 2. 茨城地理学会,常任委員長(2012年~)日本地理教育学会,編集委員(2013年~)
- 地域協力活動
- 1. [その他公的社会活動]

いばらき児童生徒地図研究会会長(2011年05月~)

2017年度第18回「いばらき児童生徒地図作品展」の開催

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教科教育コース 社会科教育教室

氏名 木村 勝彦

教員履歴など

現 職	教 授
学歴•職歴	筑波大学 第一学群人文学類 史学[1984年] 筑波大学大学院 教育学研究科 学校教育学[1991年]
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本公民教育学会 日本教育方法学会 全国社会科教育学会 日本社会科教育学会 日本教育学会
専門分野	教育学(社会科教育)
教育研究概要	社会科教育に関する教育史的研究(明治以降、昭和前期)、特に社会科成立の視点から戦前の公民教育を中心に検討する。初期社会科の研究、特に戦前の社会科的教育を踏まえて、初期の社会科教育事情を検討する。社会科授業論に関する研究。
	(キーワード)公民教育、社会科教育史、社会科授業論
担当科目	(専門科目)初等社会科教育法研究,社会科教育法特講 I,生活科内容研究,公民科教育法研究 I,公民科教育法,初等社会科教育法研究,生活科教育法研究,社会科教育法演習 I,卒業研究(教育:4 単位),生活科内容研究 (大学院科目)社会科教育演習 II,初等社会科教育特論 II,中等社会科教育特論 II,社会科授業設計 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

単著 学習指導要領の改訂と社会科教育の課題 茨城大学教育学部紀要. 教育科学 茨城大学教育学部 67,13-34 2018/01

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業·兼職
- 1. [非常勤講師] 白鴎大学法学部•講師, 16(時間/月)(2005年04月~)
- 2. [その他] 茨城県教育研修センター・講師(2004年07月~)

○ 学協会での役職
1. 日本社会科教育学会, 評議員(2005 年 04 月~)
海外出張・海外研修・内地研修など
科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教科教育コース 社会科教育教室

氏名 中野 雅紀

教員履歴など

現 職	准教授
学歴·職歴	慶應義塾大学大学院 法学研究科·法学部(2005 年度文部科学省内地留学訪問教官)[2006 年 03 月修了] 京都大学大学院 法学研究科後期博士課程 法政理論專攻(公法專攻) [2018 年 09 月修了] 中央大学 法学部 法律学科[1987 年 03 月卒業] 中央大学大学院 法学研究科博士課程前期課程 公法專攻[1991 年 03 月修了] 中央大学大学院 法学研究科博士課程後期課程 公法[1996 年 03 月単位取得満期退学] 慶應義塾大学 文学部 哲学系[2016 年 09 月卒業] 東京電子專門学校(1991 年 4 月~1993 年 3 月) 中央大学(1991 年~) 埼玉大学(1995 年 4 月~1998 年 9 月) 中央大学(1996 年 4 月~1998 年 3 月) 日本比較法研究所(1996 年 4 月~) 武蔵丘短期大学(1997 年 4 月~1999 年 9 月) 芝浦工業大学(1997 年 4 月~2005 年 9 月) 茨城大学(1998 年 10 月~) 茨城工業高等専門学校(1999 年 4 月~2005 年 9 月) リリー保育福祉専門学校(2004 年 10 月~2005 年 9 月) 慶應義塾大学(2005 年 10 月~2006 年 3 月) 茨城大学(2007 年 4 月~)
»	常磐大学(2017 年 4 月~2018 年 3 月) 博士(法学)[京都大学] 法学士[中央大学] 法学修士[中央大学] 学士
学位	(哲学)[慶應義塾大学] 法学士[中央大学]
受賞歴	なし
所属学会	比較憲法学会 法制史学会 史学会 法文化学会 日本法哲学会 日本比較法研究所 憲法裁判研究会 ドイツ憲法判例研究会 憲法理論研究会 日本公法学会

専門分野	法哲学 西洋法制史 日本国憲法 公法学 ドイツ国法学
教育研究概要	
教育研光枫安	(キーワード)公法学、国法学、憲法学、ドイツ法、法哲学 etc.
	(教養科目)日本国憲法,日本国憲法
担当科目	(専門科目)初等社会科内容研究,法と社会,法学概論,憲法と社会生活,
	法学演習,卒業研究(教育:4 単位),初等社会科内容研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- 1. [単行本(学術書)・共著]「憲法学の創造的展開 上巻 戸波江二先生古稀記念」,信山社, (2017年12月09日)
- 2. [単行本(学術書)・編者]「身分: 法における垂直関係と、水平関係」, 国際書院, (2017 年 12 月 01 日)
- 3. [【査読あり】]「14 価値・原理・統制――価値秩序における基本権 [中野雅紀]」,憲法学の創造的展開 上巻 戸波江二先生古稀記念,313-347(2017年12月09日)
- 4. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]中野雅紀「第7章 「市民」という「身分」について」,身分法における垂直関係と、水平関係 法文化学会叢書⑮, **15**,163-185(2017年12月01日)
- 5. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]「序 身分:法における垂直関係と、水平関係」,身分法における垂直関係と、水平関係 法文化学会叢書⑮, **15**, 7-20(2017 年 12 月 01 日)
- 6. []「《シンポジュウム》 第二部会 政治的中立性・専門性と民主主義 討論要旨 見平典会員(京都大学)に対する中野雅紀会員(茨城大学)の質問」,公法研究,79,242-243(2017年10月14日)
- 7. [研究論文(学術雑誌)共著]「《シンポジュウム》 第二部会 政治的中立性・専門性と民主主義 討論要旨 渡邊賢会員(大阪市立大学)に対する中野雅紀会員(茨城大学)の質問」,公法研究,79, 241-241(2017年10月14日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

- 1. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)]「平成29年度 茨城大学教育学部社会科教育卒業論文発表会 中野ゼミ員相馬陽奈・佐藤航および世界史ゼミ・社会科教育ゼミ員の卒論発表に対する講評・質問など」平成29年度 茨城大学教育学部社会科教育卒業論文発表会 教育学部B棟203・204・205 (203 はクロークルーム)()[2018年02月10日]
- 2. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)] 京都大学大学院法政理論専攻(憲法専攻) 法経北館第1 演習室「金田宗和(京都大学法科大学院院生)「自然主義に基づく人権の正当化」に対する質問」京 都大学大学院法政理論専攻(憲法専攻) 法経北館第1演習室()[2017 年 12 月 22 日]
- 3. [ロ頭発表(一般)・国内会議(単独)]「皆藤(京都大学法科大学院院生)「同性カップルにおける 婚姻の自由及びその平等保障に関して」に対する質問」京都大学大学院法政理論専攻(憲法専攻)

法経北館第1演習室()[2017年12月15日]

- 4. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)]「ドイツ憲法判例研究会第 243 回定例報告 報告者:土屋武(新潟大学)報告判例:2017年1月17日の第2法廷判決[NPD判決](2 BvB 1/13)に対する質問」早稲田大学早稲田キャンパス 10 号館 101 教室()[2017年12月09日]
- 5. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「以元洋輔(京都大学法科大学院院生)「NHK 受信契約を考える」に対する質問 この場合、利便性について考えなくともよいのか」京都大学大学院法政理論専攻(憲法専攻) 法経北館第1演習室()[2017 年 12 月 08 日]
- 6. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)]「A 分 科 会 三代川 邦夫(立教大学助教)「被害者の危険の引受けと個人の自律」に対する質問 刑事法における「不法」の意義について質問した」2018年度 日本法哲学会学術大会 大阪大学豊中キャンパス 法経講義棟()[2017年11月18日]7. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)] 京都大学大学院法政理論専攻(憲法専攻) 法経北館第1演習室「梅川颯太(京都大学法科大学院院生)「「公共の福祉」論の位置づけ一宮沢憲法学の考察を通じて一」に対する質問」京都大学大学院法政理論専攻(憲法専攻) 法経北館第1演習室()[2017年11月17日]
- 8. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)]「法文化学会第20回研究大会懇親会 理事の一人として研究大会の終了と、開催校へのお礼の挨拶および乾杯の音頭」上智大学第6号館306号室()[2017年11月11日]
- 9. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)] 京都大学大学院法政理論専攻(憲法専攻) 法経北館第1 演習室「田頭拓也(京都大学法科大学院院生)「君が代訴訟判決と憲法 19条」に対する質問」京都大学大学院法政理論専攻(憲法専攻) 法経北館第1演習室()[2017年10月27日]
- 10. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)] 京都大学大学院法政理論専攻(憲法専攻) 法経北館第1 演習室「川端倖司(京都大学法科大学院院生)「ヘイトスピーチの法的規制」に対する修正点の指摘・アドヴァイス」京都大学大学院法政理論専攻(憲法専攻) 法経北館第1演習室()[2017 年 10 月 20 日]
- 11. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 公法学会(於 東北大学)「公法学会第二部会 赤坂正浩会員(法政大学)報告について」公法学会(於 東北大学)()[2017年10月14日]
- 12. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)]「遠藤政佑(京都大学法科大学院院生)「公務員の政治的活動について」に対する質問」京都大学大学院法政理論専攻(憲法専攻) 法経北館第1演習室() [2017年10月13日]
- 13. [・] 京都大学大学院法学研究科大学院掛「博士学位論文要旨 中野雅紀「基本権価値・原理の衝突とその規範分析―基本権構造論の諸問題―」」京都大学大学院法学研究科大学院掛() [2017年08月31日]
- 14. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)]「松浦良充(慶應義塾大学)「「私学」の思想史」に対する質問 欧米の私学における通史・全体的展望研究の現状について 独法化後の地方国立大学法人の理念について」平成29年度小泉信三記念講座()「2017年08月08日]
- 15. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)]「2017年度法学研究科憲法専攻博士論文・中間報告会・

中野雅紀「基本権衝突と裁判所によるその救済」用原稿 当日配布資料 原稿用紙縦書 18 頁 20000字強」京都大学大学院法政理論専攻(憲法専攻) 法経北館第1演習室()[2017年07月24日] 16. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)]「2017年度法学研究科憲法専攻博士論文・中間報告会・中野雅紀「基本権衝突と裁判所によるその救済」」京都大学大学院法政理論専攻(憲法専攻) 法経北館第1演習室()[2017年07月24日]

- 17. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)]「吉内佑実(京都大学)「判例紹介一東京地判平成27年5月19日判タ1442号335頁について一」に対する質問」京都大学大学院法学研究科潮見佳男スクーリング()「2017年07月07日]
- 18. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)]「安枝伸雄(京都大学・弁護士)「判例紹介一東京地裁平成 27 年 10 月 28 日金融法務事情 2060p81-p95 につていー」に対する質問」京都大学大学院法学研究科潮見佳男スクーリング()「2017 年 06 月 30 日]
- 19. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)]「段怡芊(京都大学)「判例紹介―平成26・10・28最高裁第三小法廷判決について一」に対する質問 伝商を行政法で規制することの法的目的は何か?それは投機の規制からか? 中国における伝商犯罪はどこの国をモデルにしているのか?」京都大学大学院法学研究科潮見佳男スクーリング()[2017年06月23日]
- 20. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「王健東(京都大学)「判例紹介-平成 28・1・12 最高裁第 三小法廷判決について-」に対する質問」京都大学大学院法学研究科潮見佳男スクーリング() 「2017 年 06 月 16 日〕
- 21. [ロ頭発表(一般)・国内会議(単独)]「(報告)中野雅紀「判例紹介―平成28・10・18 最高裁第三小法廷判決一」」京都大学大学院法学研究科潮見佳男スクーリング()[2017 年 06 月 02 日]
- 22. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)]「李春(京都大学)「判例紹介―平成 29・1・24 最高裁第三 小法廷判決について一」に対する質問 てるみくらぶのように、経営状況不振を広告をうつことでごまかし場合、消費者保護の観点から広告を掲載した新聞社の責任を追及できないのか?」京都大学大学院法学研究科潮見佳男スクーリング()[2017 年 05 月 12 日]
- 23. [・]「「鼎談 11 の事例から考える相続預金大法廷決定と今後の金融実務」についての自由討議:第一質問者 遺産相続分割協議が相続人間で整わなかった場合の金融機関の対応について」京都大学大学院法学研究科潮見佳男スクーリング() [2017 年 04 月 28 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 法文化学会, 理事(2014年~)
- 地域協力活動
- 1. 茨城司法書士会「その他公的社会活動」「茨城司法書士会研修会講師」(1999 年~)
- 2. 「学外審議会・委員会等」「茨城町情報公開審査委員」(1999年~)

海外出張・海外研修・内地研修など
科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教科教育コース 社会科教育教室

氏名 千葉 真由美

教員履歴など

現 職	准教授
学歴•職歴	東京学芸大学大学院連合 学校教育学研究科 学校教育学専攻[2002年03月単位取得満期退学] 横浜国立大学大学院 教育学研究科 社会科教育専攻[1997年03月修了] 横浜国立大学 教育学部 小学校教員養成課程[1995年03月卒業]
学位	博士(学術)[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	地方史研究協議会 歴史学研究会 関東近世史研究会 茨城文化財・歴史資料 救済・保全ネットワーク 茨城地方史研究会
専門分野	日本史
教育研究概要	(キーワード)近世史、村落史、地域史、史料学、印と捺印をめぐる社会
担当科目	(教養科目)人間と歴史/歴史・考古学,人間と歴史/歴史・考古学 (専門科目)初等社会科内容研究,日本史特講 I,卒業研究(教育:4単位),基礎 日本史,初等社会科内容研究 (大学院科目)日本史特論,日本史演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- 1. [その他・その他]「永瀬家文書(文京ふるさと歴史館所蔵)旧伊勢屋質店関係史料(『文京区文化 財調査報告書 文京区指定有形文化財(建造物)旧伊勢屋質店調査報告書』)」,文京区教育委員 会,(2018年03月)
- 2. [単行本(学術書)・単著]「近世の百姓身分と捺印(中野雅紀編『法文化(歴史・比較・情報)叢書』 15 身分」, 国際書院, (2017 年 12 月 10 日)
- 3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]「小学校社会科における歴史学習の内容と理解―「初等社会科内容研究」でのアンケート調査から―」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術), 67, 1-12(2018年01月)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. [兼業] 伊豆の国市教育委員会・伊豆の国市史跡等整備調査委員会世界遺産部会 韮山反射炉 関連文書調査員(2013 年 08 月~)
- 2. 「兼業」文京区教育委員会・文京区文化財調査員(2006年06月~)
- 学協会での役職
- 1. 常陸大宮市, 市史編さん委員会専門部会専門調査員(2017年02月~)
- 2. 瓜連・歴史を学ぶ会, 顧問(2016年10月~)
- 3. 常陸大宮市, 文化財保護審議会委員(2016年04月~)
- 講演会・シンポジウム
- 1. 「小平市立図書館講演会(国内)」, [招待講演](2017年11月)
- 2. 「長久保赤水生誕 300 年記念事業実行委員会「長久保赤水の世界」」, [司会・議長・コンビーナ・コーディネータ] (2017 年 10 月)
- 地域協力活動
- 1. 「茨城県歴史の道調査委員会調査員」(2014年05月~)
- 2. 「伊豆の国市史跡等整備調査委員会世界遺産部会韮山反射炉関連文書調査員」(2013 年 08 月 ~)
- 3. 「文京区文化財調査員」(2006年06月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

科学研究費基盤研究(C)「近世百姓印の生産・流通に関する基礎的研究」(研究課題番号 17K03092) 2017 年度~2019 年度

学校教育教員養成課程 教科教育コース 社会科教育教室

氏名 大島 規江

教員履歴など

現 職	准教授
学歴•職歴	筑波大学大学院 地球科学研究科 博士課程 地理学·水文学専攻[2002年03月 修了]
学位	博士(理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	都市地理学会 The Royal Dutch Geographical Society 秋田地理学会 茨城地理学会 東京地学協会 人文地理学会 日本地理学会
専門分野	地誌学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)基礎地理, 初等社会科内容研究, 地理学研究法, 地誌学概論/地誌学ⅢI, 地誌学演習, 卒業研究(教育:4 単位), 地理学野外実習Ⅲ(大学院科目)地誌学特論, 地誌学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
- 1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]大島規江「小学校社会科における産業の取り扱いー酪農および畜産の学習ー」, 茨城大学教育学部紀要, **67**, 13-25(2017 年 12 月)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [口頭発表(一般)・(単独)]「農村地域における外国人労働力
- ─オランダ・リンブルフ州の事例─」茨城地理学会(茨城県水戸市)[2017年 08月 06日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 茨城地理学会, 庶務•会計委員 (2012年 08月~2019年 07月)

海外出張・海外研修・内地研修など

オランダ レーウワールデン Fryske Akademy[資料収集](2017年11月~12月:5日間) イギリス チェルトナム他 グロースターシャー大学他[学生引率](2018年2月~3月:5日間)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教科教育コース 数学教育教室

氏名 小口 祐一

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	東北大学大学院 教育学研究科[年修了] 盛岡大学文学部助教授(2005 年 4 月~2007 年 3 月) 盛岡大学文学部准教授(2007 年 4 月~2010 年 3 月) 茨城大学教育学部准教授(2010 年 4 月~2013 年 3 月) 茨城大学教育学部教授(2013 年 4 月~)
学位	博士(教育学)[東北大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本統計学会 日本教授学習心理学会 日本科学教育学会 日本数学教育学会 National Council of Teachers of Mathematics
専門分野	教科教育学
教育研究概要	統計教育 (キーワード) 統計教育 オープンアプローチ 空間図形カリキュラム
担当科目	(専門科目)算数科教育法研究,算数科教育法研究,卒業研究(教育:4単位),中等数学科教育法Ⅲ (大学院科目)数学総合研究,授業研究の方法と実践,算数教育学特論,教育方法開発課題研究Ⅰ,教材研究と授業設計Ⅱ,数学科教育授業設計,算数教育学演習,教育方法開発課題研究Ⅱ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- 1. [(MISC)総説・解説(商業誌)]小口祐一「データの活用領域における教材と授業づくり〜数学的な見方・考え方をどうとらえるか〜」,新しい算数研究,566,4-7(2018年03月01日)
- 2. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]小口祐一「データの変動判断に及ぼす変換操作シミュレーションの効果に関する研究」,数学教育学論究,97,105.106,55-64(2017年11月30日)
- 3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]小口祐一, 梅津健一郎, 栗原博之, 松村初, 吉井豊「小学校算数科における学習内容の統合的・発展的な扱い」, 茨城大学教育学部紀要, 67, 73-86(2017年 08月 31日)
- 4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]小口祐一「シミュレーションによるデータの活用領域の教材開発」, 茨城大学教育学部紀要, 67, 55-71 (2017 年 08 月 31 日)

5. [研究論文(研究会,シンポジウム資料等)単著【依頼/招待】]小口祐一「変換操作シミュレーションによる大数の法則の教授プラン」,日本科学教育学会年会論文集,41,163-166(2017年08月22日)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 行政機関等での委員就任
- 1. 「統計グラフ指導者講習会」茨城県企画部統計課
- 兼業・兼職
- 1. [非常勤講師] 埼玉大学理学部・非常勤講師(2017年04月~)
- 2. 「非常勤講師」千葉大学教育学部・非常勤講師(2015年04月~)
- 3. 「非常勤講師」姫路大学教育学部・非常勤講師(2011年04月~)
- 学協会での役職
- 1. 日本教授学習心理学会, 理事(2017年04月~)
- 2. 日本教授学習心理学会,編集委員長(2014年07月~2017年07月)
- 3. 日本数学教育学会, 編集部幹事(2011年09月~2018年08月)
- 4. 日本教授学習心理学会,編集委員(2011年07月~2017年07月)
- 5. 日本統計学会, 統計教育委員(2008年04月~)
- 講演会・シンポジウム
- 1. 「スーパーサイエンススクール講演会(国内)」,長野県屋代高等学校・附属屋代中学校[基調講演](2017年07月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「中学校高校数学における動的データ探索ソフトによるコンテンツの開発と効果」, 350 万円(2014年04月01日~2018年03月31日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 数学教育教室

氏名 梅津 健一郎

教員履歴など

現 職	教 授
	筑波大学 第一学群 自然学類[1988 年 03 月卒業]
	筑波大学大学院 数学研究科[1993年03月修了]
	筑波大学数学系準研究員(文部技官)(1993年6月~1997年2月)
	筑波大学数学系助手(1997年3月~1997年3月)
学歴・職歴	前橋工科大学工学部講師(1997年4月~2001年3月)
	前橋工科大学工学部助教授(2001年4月~2007年3月)
	前橋工科大学工学部准教授(2007年4月~2008年3月)
	茨城大学教育学部准教授(2008年4月~2012年3月)
	茨城大学教育学部教授(2012年4月~)
学位	博士(数学)[筑波大学]
受賞歴	The ISAAC Award for Young Scientists (2003)
所属学会	日本数学会 日本応用数理学会
専門分野	基礎解析学
教育研究概要	
	(キーワード) 非線形楕円型境界値問題, 非線型境界条件, concave-convex 非線形性, 変分法, 固有値問題, 符号不定係数, 分岐理論, 写像度, 位相的手法, 人口動態論.
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ(教育学部),ことばの力
	(専門科目)解析学A,解析学の基礎 I/解析学概論,解析学C,解析学B,解析学
	の基礎 II/解析学基礎, 卒業研究(教育:4 単位), 解析学D, 教職実践演習(分担)
	(大学院科目)数学総合研究(分担), 応用数理学特論, 数学科教育授業設計(分担), 応用数理学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- 1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】] Uriel Kaufmann, Humberto Ramos Quoirin, Kenichiro Umezu"Positivity results for indefinite sublinear elliptic problems via a continuity argument", Journal of Differential Equations, 263, 8, 4481-4502 (2017年)
- 2. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】] Humberto Ramos Quoirin, Kenichiro Umezu"An indefinite concave-convex equation under a Neumann boundary condition II", Topological Methods in

Nonlinear Analysis, 49, 2, 739-756 (2017 年)

3. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】] Humberto Ramos Quoirin, Kenichiro Umezu"An indefinite concave-convex equation under a Neumann boundary condition I", Israel Journal of Mathematics, 220, 1, 103-160(2017 年)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [口頭発表(一般)·国内会議(共同)] 梅津健一郎「Loop components of nontrivial nonnegative solutions for indefinite concave-convex problems」日本数学会 2018 年年会函数方程式論分科会(東京大学数理科学研究科)[2018 年 03 月 18 日]
- 2. [ロ頭発表(招待・特別)・国内会議(共同)] 梅津健一郎「concave-convex タイプの非線形楕円型境界値問題に対するループ型有界連続体解集合の存在について」首都大学東京・変分問題セミナー(首都大学東京理工学研究科数理情報科学専攻)[2017 年 12 月 14 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

科研費補助金·基盤(C) 課題番号:15K04945(研究代表者),2015~2017.

学校教育教員養成課程 教科教育コース 数学教育教室

氏名 栗原 博之

教員履歴など

現 職	准教授
学歴•職歴	弘前大学 理学部 数学科[1993 年卒業] 千葉大学大学院 自然科学研究科[1999 年修了] 埼玉短期大学 情報メディア学科 講師(2002 年 4 月~2008 年 3 月) 八戸工業高等専門学校 総合科学科 准教授(2009 年 4 月~2013 年 9 月) 茨城大学 教育学部 准教授(2013 年 10 月~)
学位	博士(理学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本数学会
専門分野	幾何学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)幾何学の基礎 I/幾何学概論,幾何学 A,幾何学 B,幾何学 C,幾何学 D,卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)幾何学特論,幾何学演習,数学総合研究,算数科教育授業設計,数学科教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
- 1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]小口祐一, 梅津健一郎, 栗原博之, 松村初, 吉井豊「小学校算数科における学習内容の統合的・発展的な扱い」, 茨城大学教育学部紀要, **67**, 73-86(2017年 08月 31日)

社会的活動、地域貢献など

教員免許更新講習講師(2018年6月)

茨城県高等学校教育研究会数学部研修会講師(2018年10月)

茨苑祭オープンセミナー講師(2018年11月)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 数学教育教室

氏名 松村 初

教員履歴など

現 職	准教授	
学歴•職歴	慶應義塾大学 理工学部[2001 年 03 月卒業] 慶應義塾大学大学院 理工学研究科[2006 年 03 月修了]	
学位	博士(理学)[慶應義塾大学]	
受賞歴	なし	
所属学会	日本教授学習心理学会 日本数学教育学会 日本数学会	
専門分野	グラフ理論	
教育研究概要		
	(キーワード)	
担当科目	(教養科目)情報リテラシー (専門科目)算数科内容研究,確率統計概論,コンピュータ及び情報処理/情報技術の基礎,小学校算数入門,卒業研究(教育:4単位),算数科内容研究(1単位),代数学C(1単位),算数科内容研究(1単位) (大学院科目)数学総合研究,応用数学特論,応用数学演習	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
- 1. [研究論文(学術雑誌) 共著【査読あり】] Ryota Matsubara, Haruhide Matsuda and Hajime Matsumura"A spanning k-spider in a graph", Ars Combinatoria, 84, 247-253 (2018 年 01 月)
- 2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]小口祐一・梅津健一郎・栗原博之・松村初・吉井豊「小学校算数科における学習内容の統合的・発展的な扱い」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 73-86(2018年01月)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学外教育
- 1. [出前授業]「水戸葵陵高校教養講座「確率を体験しよう」」
- 地域協力活動
- 1. [学外審議会•委員会等]「茨城県教育研究連盟研究会」(2016年 10月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教科教育コース 数学教育教室

氏名 吉井 豊

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	千葉大学 理学部 数学·情報数理学科[2004年03月卒業] 千葉大学大学院 自然科学研究科 数学·情報数理学専攻[2006年03月修了] 千葉大学大学院 自然科学研究科 数理物性科学専攻[2009年03月単位取得満期退学] 奈良工業高等専門学校 (2011年4月~2015年3月) 茨城大学(2015年4月~)
学位	博士(理学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本数学会
専門分野	代数学
教育研究概要	(キーワード)有限群、代数群、群の表現論、モジュラー表現、リー代数
担当科目	(教養科目)統計学入門 (専門科目)算数科内容研究,代数学A,代数学の基礎 I/代数学概論,代数学B, 代数学の基礎 II/代数学基礎,卒業研究(教育:4 単位),算数科内容研究(1 単位),代数学D(1 単位) (大学院科目)算数総合研究,代数学特論,代数学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
- 1. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】] Yutaka Yoshii"Primitive idempotents of the hyperalgebra for the r-th Frobenius kernel of SL(2,k)", Journal of Lie Theory, 27, 4, 995-1026(2017 年 12 月)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [ロ頭発表(一般)・国内会議(単独)] 「代数群 SL(2,k)の Frobenius 核の超代数における次数 0 の部分代数の表現」第 23 回代数学若手研究会(大阪大学)[2018 年 03 月]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など	
海外出張・海外研修・内地研修など	
科学研究費補助金などの受領	

学校教育教員養成課程 教科教育コース 数学教育教室

氏名 根本 博

教員履歴など

現 職	特任教授
学歴•職歴	筑波大学大学院 教育学研究科 数学教育学専攻[1981年03月修了] 文部科学省(旧文部省)(1991年4月~2006年3月)
学位	教育学修士[東京教育大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	科学教育学会 日本数学教育学会
専門分野	教科教育学(数学科)
教育研究概要	(研究経歴) 専門は数学教育学。知識論、認知科学に基づく数学科教育課程論を展開し'知識'の存在領域を知覚的領域から概念的領域へと飛躍させる数学的行為の発現をとらえ、算数・数学学習活動への還元を目指す研究を進めている。また、学習指導要領作成に携わった経験を生かし数学教育実践において適切な運用が図れるよう全国の算数・数学教師に対する啓蒙活動を行っている。確固たる知力の育成に数学教育が果たすべき役割 —数学教育の社会的考察の試み— 現今の社会における子どもたちの数学学習の状況と変化を見定め、未来社会に生きる子どもの知力を確かなものとする数学教育の在り方について述べている。
	(キーワード)数学教育学 知識論 数学科教育課程論 認知科学
担当科目	(専門科目)中等数学科教育法 II ,中等数学科教育法 II ,数学科教育法 II ,算数科教育法研究,卒業研究(教育:4 单位),中等数学科教育法 II ,中等数学科教育法 II ,中等数学科教育法 II ,中等数学科教育法 II (大学院科目)数学総合研究,数学教育学特論,特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など	
科学研究費補助金などの受領	

学校教育教員養成課程 教科教育コース 理科教育教室

氏名 矢島 裕介

教員履歴など

現 職	教 授		
学歴·職歴	東京大学 理学部 物理学科[1976年卒業] 東京大学大学院 理学系研究科 相関理化学[1982年修了] 日立製作所(株)(1982年4月~2003年3月) フラウンホーファー応用固体物理学研究所客員研究員(1988年2月~1989年1月) 茨城大学教育学部教授(2003年4月~)		
学位	理学博士[東京大学]		
受賞歴	なし		
所属学会	応用物理学会 日本物理教育学会		
専門分野	物性Ⅱ		
(研究経歴) 1. 半導体材料の常磁性欠陥 2. 微小領域磁気計測 3. 非線形実験 物理学 (キーワード)			
担当科目	(教養科目)技術と社会,技術と社会/自然科学の概観 (専門科目)物理学実験指導法/物理学実験 I/物理学実験 I/物理学実験,物理学 演習 II,卒業研究(教育:4単位),物理学演習 I (大学院科目)物理学特別実験,初等自然科学総合研究,中等自然科学総合研究		

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書·論文等
- 1. [単著]「小学校理科の物理」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), **67**, 107-124(2018 年 03 月 31 日)
- 2. [単著]Yusuke YAJIMA"A Note on the Coriolis Force in the Rotating Frame of Reference", Bull. Col. Edu. Ibaraki Univ. (Nat. Sci.), 67, 1-5(2018 年 03 月 31 日)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. [兼業] 茨城県教育委員会・助言者(2017年11月)
- 2. [兼業] 茨城県教育委員会•研修講師(2017年08月)
- 3. [兼業] 茨城県教育委員会・研修講師(2017年08月)
- 4. [非常勤講師] 土浦協同病院附属看護専門学校・講師(2017年04月~2018年03月)
- 5. [非常勤講師] 水戸メディカルカレッジ・講師(2017年04月~2018年03月)
- 学協会での役職
- 1. 茨城県教育研究連盟, 幹事(2017年04月~2018年03月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教科教育コース 理科教育教室

氏名 棗田 孝晴

教員履歴など

現 職	准教授	
学歴・職歴	三重大学 水産学部 水産学科[1991年03月卒業] 大阪教育大学大学院 教育学研究科 理科教育専攻生物学専修[1994年03月修了] 京都大学大学院 理学研究科 動物学専攻[1998年03月単位取得満期退学] 財団法人自然環境研究センター 研究員(1999年4月~1999年8月) 地球・人間環境フォーラム 客員研究員(2000年4月~2001年3月) 山梨学院大学 非常勤講師(2000年4月~2007年3月) 富士常葉大学附属環境防災研究所 研究員(環境防災学部 非常勤講師兼任) (2006年4月~2008年3月) 独立行政法人水産総合研究センター 中央水産研究所 内水面研究部 生態系保全研究室 研究補助/研究支援職員(2008年4月~2009年3月) 千葉科学大学 危機管理学部 非常勤講師(2008年9月~2009年3月) 千葉科学大学 危機管理学部 専任講師(2009年4月~2013年3月) 茨城大学 教育学部 准教授(2013年4月~)	
学位	修士(教育学)[大阪教育大学] 博士(理学)[京都大学]	
受賞歴	平成 22 年度 日本水産学会論文賞(2011)	
所属学会	日本陸水学会 日本水産学会 日本生態学会 応用生態工学会 日本魚類学会 日本動物行動学会	
専門分野	魚類生態学 保全生物学 動物生態学 河川生態学	
教育研究概要	(キーワード)	
担当科目	(教養科目)環境と人間,環境と人間/身近な生物学 (専門科目)生物学実験,初等理科内容研究,動物生態学,生物学概論,生物学 演習 I,II,生物学野外実習 (大学院科目)生物学特論,初等自然科学総合研究,中等自然科学総合研究	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
- 1. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著]藤井亮吏・下村雄志・田原大輔・ 棗田孝晴・岸 大弼「飼育環境におけるカジカ大卵型・中卵型・小卵型の卵および仔稚魚の生残状 況」, 岐阜県水産研究所研究報告, 63, 7-16(2018 年 03 月)
- 2. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)単著]棗田孝晴「小学校理科教材「メダカ」の扱いにおける問題提起: 国内外来種の視点から」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), 67, 7-16(2018年01月)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 日本魚類学会, 自然保護委員会 希少淡水魚問題検討部会 委員(2011年01月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費] 基盤研究(B) 一般(代表) 「河川工作物が底生魚類の個体群・群集に及ぼす生態的影響の多面的評価手法の確立」,845 万円 (2016 年 04 月 01 日~2019 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 理科教育教室

氏名 宮本 直樹

教員履歴など

現 職	准教授
学歴•職歴	東京学芸大学 教育学部 中学校教員養成課程理科[1995年03月卒業] 筑波大学大学院 教育研究科 教科教育専攻理科教育コース[2008年03月修了]
学位	修士(教育学)[筑波大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	日本理科教育学会 日本科学教育学会 日本物理教育学会 日本環境教育学会 日本エネルギー環境教育学会 日本教材学会 教育実践学会
専門分野	科学教育
教育研究概要	(キーワード)理科教育 環境教育
担当科目	(専門科目)初等理科教育法研究,中等理科教育法Ⅲ(教育学部),理科教育演習 I,理科教育演習 II,保育内容の研究(環境),大学入門ゼミ,教職実践演習,卒業研究(教育:4 単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- 1. [単行本(学術書)・共著]大髙泉「理科教育基礎論研究」,協同出版,290-302(2017年)
- 2. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 単著] 宮本 直樹, MIYAMOTO Naoki「科学的探究におけるデータ解釈時の推論による表象プロセス」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, **67**, 125-133 (2018 年 01 月 30 日)
- 3. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]宮本直樹「米国後期中等物理教科書と日本の高等学校物理教科書におけるデータ解釈の特質の比較研究」、中研紀要「教科書フォーラム」、18、54-65 (2017年)
- 4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]筒井 雅人, 宮本 直樹, TSUTSUI Masato, MIYAMOTO Naoki「小学校理科における仮説設定能力を育成する指導法: 探究的な問いに対する仮説の洗練化と実験結果を基にした仮説の妥当性の検討を導入して」, 茨城大学教育実践研究 Studies in teaching strategies, Ibaraki University, 36, 47-61 (2017 年 11 月)
- 5. [研究論文(大学, 研究機関紀要)] 宮本 直樹, MIYAMOTO Naoki「幼児期における科学的探究心を育成する指導法: 観察のサイエンスプロセス・スキルに着目して」, 茨城大学教育実践研究 Studies in teaching strategies, Ibaraki University, 36, 33-45(2017年11月)
- 6. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]小松原 崇, 宮本 直樹, KOMATSUBARA Takashi, MIYAMOTO Naoki「生活科における児童の観察についての一考察: 小学校第2学年での栽培活動

を通して」,茨城大学教育実践研究 Studies in teaching strategies, Ibaraki University, 36, 63-70 (2017年11月)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 茨城県立緑岡高等学校 SSH, 運営指導委員(2017年~)
- 2. 大日本図書, 小学校理科用教科書編集委員(2015年~)
- 3. 日本理科教育学会, 日本理科教育学会評議員(2017年~)
- 4. 日本科学教育学会,日本科学教育学会北関東支部茨城県幹事(2017年~)
- 5. 日本科学教育学会,日本科学教育学会北関東支部企画編集委員(2017年~2018年)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「義務教育段階におけるデータ解釈能力育成に関する研究」,文部科学省:科学研究費補助金(基盤研究(C)),研究期間: 2017 年 4 月 1 日 \sim 2020 年 3 月 31 日

学校教育教員養成課程 教科教育コース 理科教育教室

氏名 青島 政之

教員履歴など

現 職	准教授	
学歴・職歴	千葉大学 理学部 化学科[1995年03月卒業] 千葉大学大学院 自然科学研究科 理化学専攻[1998年03月修了] 千葉大学大学院 自然科学研究科 物質高次科学専攻[1999年05月中退] 秋田県立大学 助手(1999年6月~2006年3月) 秋田県立大学 助教(2006年4月~2014年3月) 茨城大学教育学部 准教授(2014年4月~)	
学位	修士(理学)[千葉大学] 博士(理学)[千葉大学]	
受賞歴	なし	
所属学会	粉体工学会 日本化学会	
専門分野	物理化学	
教育研究概要	(キーワード)磁性粒子、ヘマタイト、分子シミュレーション	
担当科目	(教養科目)物質·生命系科目 (専門科目)無機物理化学,初等理科内容研究,化学実験指導法/化学実験 I/化 学実験 I,化学概論,化学実験 II,化学演習 II,卒業研究(教育:4 単位),化学演習 I (大学院科目)初等自然科学総合研究,中等自然科学総合研究	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

- 1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 長島友里, 青島政之「光反射特性を有する板状へマタイトコロド分散系の磁場応答」第 28 回日本化学会関東支部茨城地区研究交流会(茨城大学)[2017 年 12 月 01 日]
- 2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 吉良知之 , 青島政之「垂直磁場による磁性キューブ状粒子の再配列現象」第28回日本化学会関東支部茨城地区研究交流会(茨城大学)[2017年12月01日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. [兼業] 産業技術総合研究所・客員研究員, 28(時間/月)(2017 年 04 月~2018 年 03 月)
- 〇 地域協力活動
- 1.「いばらき理科推進事業 小学校教科担任制推進地域モデル小学校公開授業研究会, 筑西市立 古里小学校」(2017 年 10 月~)
- 2. [地域貢献事業]「いばらき理科推進事業 「科学自由研究発表会」助言・指導 ミュージーアムパーク茨城県自然博物館」(2017 年 10 月~)
- 3. [地域貢献事業]「いばらき理科教育推進事業 実験実技研修「水溶液における溶解と化学変化」」 (2017年08月~)
- 4. 「いばらき理科推進事業「科学自由研究の指導」、女性プラザ」(2017年08月~)
- 5.「いばらき理科推進事業 小学校教科担任制推進地域モデル小学校公開授業研究会, 稲敷市立 新利根小学校」(2016 年 11 月~)
- 6. [地域貢献事業]「いばらき理科推進事業 「科学自由研究発表会」助言・指導 ミュージーアムパーク茨城県自然博物館」(2016 年 10 月~)
- 7. [地域貢献事業]「いばらき理科教育推進事業 実験実技研修「水溶液における溶解と化学変化」」 (2016 年 08 月~)
- 8. 「いばらき理科推進事業「科学自由研究の指導」, 女性プラザ」(2016年 08月~)
- 9. [地域貢献事業]「いばらき理科教育推進事業 実験実技研修「水溶液における溶解と化学変化」」 (2015年08月~)
- 10.「いばらき理科推進事業「科学自由研究の指導」, 県西生涯学習センター」(2015年08月~)
- 11. [地域貢献事業]「いばらき理科教育推進事業「科学自由研究の指導(探求基礎)」県西生涯学習 センター」(2014 年 08 月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

科字研究費補助金などの受領		

学校教育教員養成課程 教科教育コース 理科教育教室

氏名 永尾 敬一

教員履歴など

現 職	准教授		
学歴•職歴	東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻 相関基礎科学系[2002年修了] 東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻 相関基礎科学系[1999年修了] 東京大学 理学部 物理学科[1997年卒業] 高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 協力研究員(2002年4月~2003年1月) 高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 研究機関研究員(2003年1月~2005年3月) 茨城大学 教育学部 理科教育教室 助教授(2005年4月~2007年3月) 茨城大学 教育学部 理科教育教室 准教授(2007年4月~)		
学位	学術修士[東京大学] 学術博士[東京大学]		
受賞歴	なし		
所属学会	日本物理学会		
専門分野	素粒子·原子核·宇宙物理		
教育研究概要	(キーワード)		
担当科目	(教養科目)量子論入門 (専門科目)物理学概論,初等理科内容研究,電磁気学,物理学演習Ⅱ,卒業研究(教育:4 単位),物理学演習Ⅰ,教職実践演習 (大学院科目)物理学特論,初等自然科学総合研究,中等自然科学総合研究,初 等理科内容特論		

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- 1. [単行本(学術書)・共著] Keiichi Nagao and Holger Bech Nielsen `Fundamentals of Quantum Complex Action Theory", Lambert Academic Publishing, 84(2017年09月27日)
- 2. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】] Keiichi Nagao, Holger Bech Nielsen ``Erratum: Theory including future not excluded: Formulation of complex action theory II", Progress of Theoretical and Experimental Physics, 2018, 3, 039201-1-039201-2(2018年03月27日)

- 3. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】] Keiichi Nagao, Holger Bech Nielsen ``Erratum: Momentum relation and classical limit in the future-not-included complex action theory", Progress of Theoretical and Experimental Physics, 2018, 2, 029201-1-029201-1(2018年02月15日)
- 4. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)単著]永尾 敬一「小学校理科における「電磁石の性質」 についての実験の現状と課題」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 135-145(2018年01月30日)
- 5. [研究論文(国際会議プロシーディングス)共著【査読あり】] Keiichi Nagao and Holger Bech Nielsen `Reality from maximizing overlap in the future-included theories", Bled Workshops in Physics (Proceedings to the 20th workshop "What Comes Beyond the Standard Models", Bled, Slovenia, Jul.9-17, 2017), 18, 2, 121-132(2017 年 12 月 12 日)
- 6. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】] Keiichi Nagao and Holger Bech Nielsen ``Complex action suggests future-included theory", Progress of Theoretical and Experimental Physics, 2017, 11, 111B01-1-111B01-9(2017年11月23日)
- 7. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】] Keiichi Nagao, Holger Bech Nielsen ``Erratum: Momentum and Hamiltonian in Complex Action Theory", International Journal of Modern Physics A, 32, 32, 1792003-1-1792003-2(2017年11月20日)
- 8. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】] Keiichi Nagao and Holger Bech Nielsen "Reality from maximizing overlap in the future-included real action theory", Progress of Theoretical and Experimental Physics, 2017, 8, 081B01, 1-8(2017年08月01日)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 永尾 敬一、Holger Bech Nielsen「Reality from maximizing overlap in the future-included real action theory」日本物理学会 2017 年秋季大会(宇都宮大学 峰キャンパス)[2017年09月12日]
- 2. [ロ頭発表(一般)・国内会議(単独)] 永尾 敬一「Reality from maximizing overlap in the future-included real action theory」茨城大学理学部素粒子論研究室セミナー(茨城大学理学部素粒子論研究室) [2017 年 06 月 12 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 茨城県教育委員会, 平成 29 年度 科学の甲子園ジュニア実行委員(2017年05月~)
- 2. 平成29年度小学校理科教育推進事業「理科授業の質の向上」推進地域モデル小学校公開授業研究会@鉾田市立鉾田小学校 助言者(2017年10月)

- 3. 平成29年度小学校理科教育推進事業「科学自由研究の指導(探究基礎)」夏休み科学自由研究相談会@茨城県女性プラザ 助言者(2017年7月)
- 4. 平成29年度科学の甲子園ジュニア茨城県大会 助言者(2017年6月)

海外出張・海外研修・内地研修など

デンマーク コペンハーゲン Niels Bohr Institute[研究打合せ](2018年1月~2月:28日間)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教科教育コース 理科教育教室

氏名 上栗 伸一

教員履歴など

現 職	准教授	
	琉球大学 理学部[2000 年 03 月卒業]	
	九州大学大学院 比較文化研究科[2002年03月修了]	
	九州大学大学院 比較文化研究科[2005年03月修了]	
	北海道大学大学院理学研究科・研究員(2005年4月~2007年3月)	
学歴・職歴	筑波大学大学院生命環境科学研究科・研究員(2007年4月~2008年3月)	
	日本学術振興会特別研究員(筑波大学)(2008年4月~2011年3月)	
	高知大学海洋コア総合研究センター・研究員(2011年4月~2012年3月)	
	茨城大学教育学部理科教育講座・准教授(2012年4月~)	
学位	博士(理学)[九州大学]	
受賞歴	なし	
所属学会	地球環境史学会 日本地学教育学会 日本地質学会 日本古生物学会	
専門分野	層位•古生物学	
教育研究概要	(キーワード)	
	(教養科目)身近な地球科学	
担当科目	(専門科目)初等理科内容研究, 地学概論, 地学実験指導法, 地学実験, 地質	
	学, 初等地学, 地学演習Ⅱ, 卒業研究(教育:4 単位), 地学演習Ⅰ, 生活科内容	
	研究,中等理科教育法 I,地学野外実習,天文学,気象学	
	(大学院科目)地学特論, 地学特別実験, 初等自然科学総合研究, 中等自然科学	
	総合研究	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- 1. [研究論文(研究会,シンポジウム資料等)共著]小川哲哉,佐藤環,小林祐紀,木村勝彦,上栗伸一,郡司晴元,伊藤孝,向野康江,大西有,石島恵美子「生活科内容と指導に関する実践的課題」,茨城大学教育学部生活科研究会,(2017年)
- 2. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】] Shin-ichi Kamikuri and Ted Moore "Reconstruction of oceanic circulateon patterns in the tropical Pacific across the early/middle Miocene boundary as inferred from radiolarian assemblages.", Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology, 487, 136-148(2017年)
- 3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]Isao Motoyama, Takuya Itaki, Shin-ichi

Kamikuri, Yojiro Taketani, Makoto Okada"Cenozoic biostratigraphy, chronostratigraphy and paleoceanography in the Boso Peninsula and Bandai Volcano in the Aizu region, East Japan", Science Report of Niigata University, 32, 1-27(2017年)

- 4. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]"Radiolarian biostratigraphy from Middle Miocene to Late Pleistocene in the Japan Sea", Paleontological Research, 21, 397-421 (2017 年)
- 5. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】] Shin-ichi Kamikuri"Late Neogene radiolarian biostratigraphy of the eastern North Pacific ODP Sites 1020/1021.", Paleontological Research, 21, 230-254(2017年)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 上栗伸一, Ted Moore「前期~中期中新世における東赤道太平洋の海洋環境変遷」MRC 研究集会()[2018 年 03 月]
- 2. [ポスター発表・国際会議(共同)] Takashi Ito, Shin-ichi Kamikuri, Hisashi Otsuji, Naoki Kataguchi, Hiroto Maruyama and Hiroshi Hashiura "Practical Examples of an Integrated Field Study Program at Mt. Fuji: Geosciences and the Arts" AGU()[2017年12月]
- 3. [ポスター発表・国際会議(共同)] Hollis C. J., Pascher K. M., Kamikuri S., Nishimura A., Suzuki N., Sanfilippo A. "Towards an integrated cross-latitude event stratigraphy for Paleogene radiolarians" InterRad XV()[2017年10月22日]
- 4. [ポスター発表・国際会議(共同)] Shin-ichi Kamikuri and Ted Moore "Reconstruction of oceanic circulation patterns in the tropical Pacific across the early/middle Miocene boundary as inferred from radiolarian assemblages" InterRad XV() [2017 年 10 月 22 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 日本地質学会, 選挙管理委員会(2017年09月~2018年03月)
- 2. 日本地学教育学会, 評議員(2016年10月~)
- 3. 日本地学教育学会, 常務委員(2016年10月~)
- 4. 日本地学教育学会,編集委員(2016年06月~)
- 地域協力活動
- 1. 「いばらき推進事業」(2013年04月~)
- 2. 「地学オリンピック予選 地区コーディネーター」(2013年04月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

若手研究 B(前期~中期中新世の熱帯・赤道循環系の形成とインドネシア海峡の閉塞との相互 関係)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 音楽教育教室

氏名 田中 健次

教員履歴など

現 職	教 授	
学歴・職歴	国立音楽大学 音楽学部 音楽教育[1978 年卒業] 国立音楽大学大学院 音楽研究科 音楽教育学[1980 年修了] 佐賀大学教育学部助教授(1995 年 4 月~1996 年 9 月) 佐賀大学文化教育学教授(2003 年より茨城大学併任)(1996 年 10 月~2003 年 3 月) 茨城大学教育学部教授(2002 年 10 月~)	
学位	芸術学修士[国立音楽大学大学院] 博士(文学)[大阪大学大学院 文学研究科]	
受賞歴	なし	
所属学会	東洋音楽学会 国際音楽教育学会(International society of Music Education)(ISME) 日本音楽教育学会	
専門分野	音楽教育学 伝承文化研究	
教育研究概要	音楽教育、音楽産業、日本の音楽文化 (キーワード)	
担当科目	目 (教養科目)大学入門ゼミ(教育学部) (専門科目)初等音楽科教育法研究,初等音楽科教育法研究,音楽科教育法研究 究 II,音楽科教育法研究 I,保育内容の研究(表現) (大学院科目)音楽科教育研究法,音楽科教育特論 I,初等音楽教育授業設計	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
- 1. [教科書・共著] 高見仁志他、田中健次『新しい音楽科の授業をつくる』, ミネルヴァ書房, 78-86 (2018 年 03 月 31 日)
- 2. [教科書・]田中健次他『最新初等音楽科教育法』,音楽之友社,77(2018年03月31日)
- 3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)]田中健次「幼児教育と「郷土の音楽」」,保育内容の研究と指導法の実践的課題,72-95(2018年01月)
- 4. [(MISC)総説・解説(その他)単著【依頼/招待】]田中健次「応用力ある「プログラミング的思考」を育てるには」,教育情報誌「Cube Land」,59 号,23-24(2017年05月01日)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業·兼職
- 1. [兼業] 文部科学省·学習指導要領(高等学校 芸術 音楽)の次期改訂に関わる「調査研究協力者」(2017年04月~2018年03月)
- 2. 「非常勤講師」国立音楽大学・非常勤講師、16(時間/月)(2017 年 04 月~2018 年 03 月)
- 3. [兼業] 放送大学・非常勤講師(2007年04月~)
- 4. [非常勤講師] 放送大学・大学院特別講師(2006年04月~)
- 学協会での役職
- 1. 音楽学習学会, 世話人(2004年 04月~)
- 講演会・シンポジウム
- 1. 「山形県音楽教育連盟主催「平成 29 年度山形県音楽科教育実践研修会『楽器が苦手でもできる音楽授業一楽しみながら音楽力をつける指導法一』」(酒田市市民会館,参加者 32 名)(国内)」,山形県音楽教育連盟(酒田市(市民会館希望ホール))[その他](2017 年 08 月)
- 2. 「「平成29年度人権教育指導者中央研修会講師『音楽は人権をどう扱ってきたか』(6月30日水戸市生涯学習センター大講座室、100名)」(国内)」,茨城県教育委員会主催(水戸市)[](2017年06月)
- 3.「常陸大宮市教育委員会御前山事務所主催「市民講座『校歌はなぜつくられたのか』」講師(6月28日、常陸大宮市門井公民館、62名)(国内)」、常陸大宮市教育委員会御前山事務所(常陸大宮市門井公民館)「その他](2017年06月)
- 4. 「財団法人音楽文化創造「平成 29 年度生涯学習音楽指導員養成講習会 C 級クラス」(国内)」, 財団法人音楽文化創造(東京(会場、昭和音楽大学))[その他](2017年 04 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

中国 武漢 湖北科技学院音楽学院[国際学会出席及び研究成果発表](2017年12月:2日間)

科学研究費補助金などの受領

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「日本伝統音楽学習のためのコンテンツ作成とデジタル教材化」,416万円(2015年04月01日~2018年03月31日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 音楽教育教室

氏名 神部 智

教員履歴など

現 職	教 授	
学歴•職歴	ヘルシンキ大学大学院 音楽研究科 音楽学(フィンランド)[2005年修了]	
学位	博士(音楽学)(Ph.D. in Musicology)[ヘルシンキ大学]	
受賞歴	第 30 回ミュージック・ペンクラブ音楽賞 (2018)	
所属学会	International Semiotics Institute 美学会 日本音楽学会 音楽表現学会	
専門分野	美学·芸術諸学	
数 去可觉期面	(研究経歴) 1988- ジャン・シベリウスの様式研究・楽曲分析 1993- 音楽記号論	
教育研究概要	(キーワード)	
	(教養科目)大学入門ゼミ(教育学部)	
担当科目	(専門科目)音楽史(2単位), ピアノⅡc, ピアノ(必修・伴奏を含む), 初等音楽科内	
	容研究/ピアノId, ピアノIId, 音楽学	
	(大学院科目)初等音楽文化総合研究,音楽学研究,音楽学演習,特別課題研究	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
- 1. [単行本(一般書)・単著]神部智「作曲家・人と作品 シベリウス」, 音楽之友社, (2017 年 12 月 31 日)
- 2. [(MISC)総説・解説(その他)単著【依頼/招待】]神部智「シベリウス フィンランディア、ペレアスとメリザンド、交響曲第7番、グリーグ ピアノ協奏曲」,東京フィルハーモニー管弦楽団 第902回サントリー定期シリーズ、ほか,11-14(2018年02月23日)
- 3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]神部 智, 田中 宏明, 谷川 佳幸, 山口 哲人, KAMBE Satoru, TANAKA Hiroaki, TANIGAWA Yoshiyuki, YAMAGUCHI Akihito「新旧小中学校学習指導要領音楽科に関する記述内容の特色と課題」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 67, 167-187(2018年01月30日)
- 4. [(MISC)総説・解説(商業誌)単著]神部智「シベリウス:交響曲第5番」,モーストリー・クラシック, 244,44(2017年07月20日)
- 5. [(MISC)総説・解説(商業誌)単著]神部智「ジャン・シベリウス最後のピアノ曲「愛するアイノへ」」, モーストリー・クラシック, 243, 52(2017 年 06 月 20 日)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. [出前授業] 水戸第三高等学校・講師, 2(時間/月)(2012年~)
- 2. [出前授業] 茨城県立水戸第二高等学校•講師(2007年07月~)
- 3. [非常勤講師] 宇都宮大学・非常勤講師(2006年10月~)
- 4. [出前授業] 常陸大田高校•講師(2003年07月~)
- 5. [その他] 日本シベリウス協会・理事(2000年12月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費] 基盤研究(c) 「ジャン・シベリウスにおけるナショナリズムの超克」, 91 万円 (2016 年 04 月
- 01 日~2019年03月31日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 音楽教育教室

氏名 谷川 佳幸

教員履歴など

現 職	教 授
学歴·職歴	東京音楽大学 音楽学部[1988 年 03 月卒業] 東京芸術大学 音楽学部[1992 年 03 月卒業] 東京芸術大学大学院 音楽研究科 声楽[1995 年 03 月修了]
学位	修士[東京芸術大学]
受賞歴	第2回藤沢オペラコンクール奨励賞
所属学会	
専門分野	芸術一般
教育研究概要	(キーワード)オペラ、声楽
担当科目	(基盤科目)大学入門ゼミ(教育学部),音楽文化/オペラの世界 (専門科目)初等音楽科内容研究,独唱(選択必修),合唱(2 単位),独唱Ⅱa,独唱Ⅲ,独唱Ⅱb,独唱Ⅰb,卒業研究(教育:4 単位),独唱[1 単位] (大学院科目)声楽研究,初等音楽文化総合研究,声楽演習,特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[芸術活動(共同)]松井和彦作曲 オペラ「泣いた赤鬼」(2018年12月)

「芸術活動(共同)]モーツァルト作曲「レクイエム」「ミサ・ブレヴィス」(2018年 10月)

[芸術活動(共同)]ヴェルディ作曲 オペラ「群盗」レクチャーコンサート(2018年09月)

[芸術活動(共同)]」ヴェルディ作曲 オペラ「仮面舞踏会」(2018年08月)

[芸術活動(共同)]ガラコンサート(2018年07月)

[芸術活動(共同)]ヴェルディ作曲 オペラ「椿姫」(2018年07月)

「芸術活動(単独)]カンツォーネリサイタル(2018年07月)

[芸術活動(共同)]モーツァルト作曲 オペラ「魔笛(ハイライト)」(2018年06月)

[芸術活動(共同)]オッフェンバック作曲 オペレッタ「天国と地獄」(2018年04月)

[芸術活動(共同)] プッチーニ作曲「グロリア・ミサ」(2018年03月)

[芸術活動(共同)]ニューイヤーガラコンサート (2018年 01月)

[芸術活動(共同)]モーツァルト作曲「ミサ・ソレムニス」、ハイドン作曲「マリアツェル・ミサ」(2017 年 12月)

[芸術活動(単独)]カンツォーネリサイタル(2017年12月)

[芸術活動(共同)]ガラコンサート「明日へ」(2017年11月)

[芸術活動(共同)]ソロと重唱の魅力Ⅱ(2017年11月)

[芸術活動(共同)]ああ夢の街浅草千秋楽(2017年10月)

[芸術活動(共同)]ドニゼッティ作曲 オペラ「愛の妙薬」(2017年10月)

[芸術活動(共同)]ああ夢の街浅草 浅草オペラ100年(2017年10月)

[芸術活動(共同)]ドニゼッティ作曲 オペラ「愛の妙薬」(2017年09月)

[芸術活動(共同)]平井秀明作曲 オペラ「小町百年の恋」(2017年08月)

[芸術活動(共同)]ドニゼッティ作曲 オペラ「ランメルモールのルチア」(2017年07月)

「芸術活動(共同)]文学とオペラシリーズ「マノンレスコー」(2017年07月)

「芸術活動(共同)]魅惑のスペイン歌曲(2017年05月)

[芸術活動(単独)]カンツォーネリサイタル(2017年04月)

社会的活動、地域貢献など

- 兼業·兼職
- 1. [非常勤講師] 日本声楽家協会研究所·本科主任(2015年04月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領		

学校教育教員養成課程 教科教育コース 音楽教育教室

氏名 藤田 文子

教員履歴など

現 職	准教授
学歴•職歴	お茶の水女子大学 文教育学部 教育学科音楽教育学専攻[1981 年卒業] 筑波大学大学院 教育研究科 教育基礎学[1995 年単位取得満期退学]
学位	博士[常磐大学]
受賞歴	推奨授業の候補に推薦される。(2007) 教養教育における推奨授業の候補(2004) 善意本合唱連盟関東支部合唱コンクール茨城県大会銅賞受賞(1981)
所属学会	音楽教育史学会 教育実践学会 教育哲学会 日本教育方法学会 日本教育学会 教育史学会 日本音楽教育学会
専門分野	音楽科教育 教育学
教育研究概要	(キーワード)フレーベルの音楽教育思想、小・中学校の音楽科教育、教員養成大学における音楽科教育の授業研究、フレーベルの教育思想、音楽教育
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ(教育学部),音楽文化 (専門科目)初等音楽科教育法研究 D,音楽科教育法研究 III,初等音楽科教育法研究 E,独唱 I c,独唱 II d,独唱 II d (大学院科目)音楽科教育演習,初等音楽教育授業設計,音楽科教育特論 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- 1. [単行本(学術書)・単著]藤田文子「第5章 領域『表現』(3)幼児期の音楽教育-授業の内容と指導法を中心に」『保育内容研究と指導法の実践的課題』,(茨城大学教育学部幼児教育実践研究会発行), 68-71, (2018年01月)
- 2. [単著]山口(藤田)文子「新旧幼稚園教育要領,小・中学校学習指導要領の音楽科に関する内容と教育方法の特色と課題」『茨城大学教育学部紀要』(教育科学),67,189-196(2018年01月)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. [その他] 県教連・助言者(2006年10月~)
- 学協会での役職
- 1. 音楽教育史学会, 紀要編集委員(2014年05月~)
- 2. 教育実践学会, 理事(2001年06月~)

海外出張	海夕	┗研修•	内地研	F修など
1997 121 335	114	1 77 1 195	1 1-0	ロックし

147 F 147 191 191 191 19 6C	
科学研究費補助金などの受領	
付す物元貝冊物並はこり文明	

学校教育教員養成課程 教科教育コース 音楽教育教室 氏名 山口 哲人

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	東京芸術大学大学院 音楽研究科[年]
丁症 机炬	東京芸術大学大学院 音楽学部[年]
学位	修士(音楽)[東京芸術大学]
	第6回東京国際歌曲作曲コンクール第2位(1位なし)入賞(2017)
	第21回東京国際室内楽作曲コンクール 入選(2017)
	第7回 日本管打楽器·吹奏楽連盟作曲賞 佳作入選(2016)
	第 13 回弘前桜の園作曲コンクール 第 3 位入賞(2015)
	第6回 日本管打楽器・吹奏楽連盟作曲賞 佳作入選(2015)
	第4回東京国際歌曲作曲コンクール 入選(2014)
	第19回日本歌曲コンクール作曲部門最優秀賞 および全音楽譜出版社賞(2013)
	第2回小田原賞作曲コンクール 入選(2012)
	第10回記念弘前桜の園作曲コンクール 第3位入賞(2012)
	白蓮の和歌作曲コンクール 入選(2012)
	東京国際芸術協会第 11 回 TIAA 全日本作曲家コンクール 第 1 位(2011)
	第 18 回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門 中田喜直賞受賞(2011)
	東京国際芸術協会第 10 回 TIAA 全日本作曲家コンクール 審査員賞受賞(2011)
受賞歴	東京国際芸術協会第9回 TIAA 全日本作曲家コンクール 奨励賞(2010)
	第3回全日本吹奏楽連盟作曲コンクール 第1位(2010)
	第17回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門第2位入賞(2010)
	第 14 回東京国際室内楽作曲コンクール 第 2 位 (1 位なし) (2009)
	第17回日本歌曲コンクール作曲部門 優秀賞(2009)
	第16回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門第2位入賞(2009)
	第15回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門第3位入賞(2008)
	くまもと未来国体(第 54 回国体)ファンファーレ公募 佳作入選(1997)
	平成8年度文化庁 舞台芸術創作奨励特別賞(最高位)受賞(1997)
	96 年度 全日本吹奏楽連盟主催 コンクール選択曲公募 佳作(1996)
	稲門グリークラブ 40 周年記念作曲コンクール 最優秀賞(1994)
	94年度全日本合唱コンクール公募「朝日作曲賞」受賞(1994)
	93 年度全日本合唱コンクール公募佳作入選(1993)
	第14回神奈川県芸術祭創作コンクール 第1位入賞(1990)
所属学会	21世紀音楽の会 ニュー・サウンド・スケイプ 96'~

専門分野	作曲·編曲·指揮
教育研究概要	
秋月明九帆安	(キーワード)作曲・編曲・指揮
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ(教育学部),音楽文化,音楽文化
	(専門科目)和声学, 対位法, 作曲法, 現代音楽へのいざない, ソルフェージュ, 初
	等音楽科内容研究,音楽通論,卒業研究(教育:4 単位),合奏,指揮法,作曲特
	別演習II
	(大学院科目)作曲·指揮法研究, 初等音楽文化総合研究, 作曲·指揮法演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書·論文等
- 1. [音楽資料・単著] 「楽譜出版【金管バンド / オリジナル】 笑劇的序曲 「まちがいつづき」 (山口哲人) TBB-1221, ティーダ出版, (2018年03月)
- 2. [音楽資料・単著] The Brioso Brass「吹奏楽曲 CD 発売 金管バンドで馳せる ブレイブハート WKCD-0105」, ティーダ出版・ワコーレコード, (2018 年 03 月 15 日)
- 3. [音楽資料・単著] 「楽譜出版【吹奏楽/アレンジ】キングスロウ〜嵐の青春〜(E・W・コルンゴルト作曲 山口哲人編曲) TWE-340」、ティーダ出版、(2018年02月)
- 4. [音楽資料・単著]東邦音楽大学ウインドオーケストラ・スペシャルユニット「吹奏楽曲 CD 発売 Master Works For Wind Orchestra 2018 キングスロウ〜嵐の青春〜〈コルンゴルト/山口哲人〉 WKCD-0101」, ティーダ出版・ワコーレコード, (2018年02月15日)
- 5. [音楽資料・単著] エリザベト音楽大学ウインドアンサンブル「吹奏楽曲 CD 発売 日本の音楽大学 撰-第3集/エリザベト音楽大学が奏でるコンクール自由曲集『祈りの手』(WKCD-0095)」, ティーダ出版・ワコーレコード, (2017年05月11日)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[芸術活動(共同)]第 33 回 全日本ジュニアクラッシック音楽コンクール 全国大会 (2017年 08月)

社会的活動、地域貢献など

- 講演会・シンポジウム
- 1. 「2017ミュージック エデュケーション メッセ in KANTO(国内)」, 茨城県教育研究会音楽教育研究部 茨城県高等学校教育研究会音楽部(茨城県守谷市)「招待講演](2017年03月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領		

学校教育教員養成課程 教科教育コース 音楽教育教室

氏名 田中 宏明

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	東京音楽大学 音楽学部 音楽学科ピアノ演奏家コース(日本)[1994年03月卒業] 東京藝術大学大学院 音楽研究科修士課程 器楽(ピアノ)専攻(日本)[1998年03月修了] 藤女子大学(2000年4月~2016年3月) 茨城大学(2016年4月~)
学位	修士(音楽)[東京藝術大学]
受賞歴	札幌市民芸術祭奨励賞 (2003) 第 10 回バッハ国際コンクール (於:ライプツイヒ)ピアノ部門ディプロマ賞 (1996)
所属学会	全国大学音楽教育学会 日本音楽表現学会 (社)全日本ピアノ指導者協会
専門分野	芸術一般(音楽分野・ピアノ)
教育研究概要	(キーワード)音楽 器楽 ピアノ ピアノ演奏
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ(教育学部),水戸芸術館で学ぶ音楽、演劇、美術(専門科目)ピアノⅡa,ピアノ(必修・伴奏を含む),ピアノⅢ,初等音楽科内容研究,ピアノⅡb,ピアノI b,ソルフェージュⅡ/ソルフェージュ演習,卒業研究(教育:4単位),ピアノ(1単位)(大学院科目)器楽研究Ⅰ,初等音楽文化総合研究,器楽演習Ⅰ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- 1. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 単著] 田中宏明「「ソルフェージュ」と「ピアノ」に共通する授業効果―バッハの《2声インヴェンション》を題材に―」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 67, 197-204 (2018年01月)
- 2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]神部智、田中宏明、谷川佳幸、山口哲人「新旧小中学校学習指導要領音楽科に関する記述内容の特色と課題」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 67, 167-187(2018 年 01 月)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 田中宏明「教員養成系大学におけるソルフェージュ授業か

ら得られるバッハの《2 声インヴェンション》の演奏効果」日本音楽表現学会 第 15 回大会(東京)(東京音楽大学)[2017 年 06 月 18 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[芸術活動(単独)]「ピティナ ピアノステップ in 札幌 トークコンサート」(後援:文部科学省)カワイ札 幌コンサートサロン・シュシュ. (年度不詳~2018年02月)

[芸術活動(単独)]「ピティナ ピアノステップ in 犬山 トークコンサート」(後援:文部科学省)愛知県・ 犬山市文化センター.(年度不詳~2017年11月)

[芸術活動(単独)]「小樽市立緑小学校閉校記念 田中宏明ピアノコンサート」小樽市立緑小学校体育館.(年度不詳~2017年09月)

社会的活動、地域貢献など

- 地域協力活動
- 1. 毎日新聞社[その他公的社会活動]「全日本学生音楽コンクール審査員」『全日本学生音楽コンクール』(2015 年 04 月~)
- 2. 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会[その他公的社会活動]「PTNA ピアノコンペティション審査員」(2005年07月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領		

学校教育教員養成課程 教科教育コース 美術教育教室

氏名 向野 康江

教員履歴など

現 職	教 授
学歴·職歴	筑波大学大学院 芸術学研究科 芸術学専攻(つくば市)[1994年03月修了] 北九州市立大学大学院 社会システム研究科 地域社会システム専攻[2016年03月修了] 福岡県立筑紫高等学校大学院(日本)[1978年03月卒業] 九州女子高等学校(1988年4月~1989年3月) 学校法人岩尾昭和学園昭和女子高等学校(1988年4月~1989年3月) 茨城大学(1995年4月~1996年9月) 茨城大学(2015年4月~)
学位	博士(芸術学)[筑波大学] 博士(学術)〈満洲経済史〉[北九州市立大学]
受賞歴	平成25年度ソロプチミスト日本財団活動資金援助クラブ賞(2013) 二零零一年全国中小学優秀美術課課例壱等奨(中国)(2001) 中国華東地区首届優秀美術課例壱等奨(中国山東省教育学会美術教学研究専業委員会・華東師範大学芸術教育研究中心)(2001)
所属学会	アジア教育史学会 中国現代史研究会 現近代東北アジア地域史研究会 淡窓 研究会 大学美術教育学会 教育史学会
専門分野	近代日中関係史(満洲経済史) 芸術学 教科教育学
教育研究概要	(教員からのメッセージ) 筑波大学で1つめの博士号(芸術学)を取得して以降、 茨城大学では美術教育を担当してきました。廣瀬淡窓の漢詩教育や関衛の児童画 研究と向き合ううちに、歴史を学ぶことは非常に大切なことだと痛感しました。いろい ろな視点で事象の成立を追究していくと、そこに人間の本質を見出すことができま す。そして、人間の本質と経済は切り離すことはできません。特に、近代の満洲にお ける日本人の経済活動史は、近世から近代にかけての人々の考え方を現代人に教 えてくれます。2016年3月26日に2つめの博士号(学術)を経済史の分野で取得 できたことは、これまで自分がやってきたことと、これから達成させなければならない ことを改めで確認させてくれました。応援してくれた人々に感謝を込めながら前進し ていきたいと思っています。 向野堅一(1868-1931)伝記作成および向野コレクション(向野文庫を含む)に関 する調査研究 勤務先である大学教育においては美術教育について教えている。 研究については向野堅一(1868-1931)研究に主眼を置いている。 (キーワード)向野堅一(1868-1931)研究

(教養科目)大学入門ゼミ(教育学部)/主題別ゼミナール,人間と歴史 (専門科目)美術教育特別演習 BI,美術科内容研究,図画工作科教育法研究, 美術教育特別演習 BII,日本美術実地研究/古美術実地研究,図画工作科内容 研究

(大学院科目)美術教育研究 II/図画工作科教育法研究,美術文化総合研究,美術教育演習 II,美術教育授業設計,特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会発表など

担当科目

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 淡窓研究会, 事務局(2015年06月~)
- 地域協力活動
- 1. 向野堅一記念館(2009年09月~)
- 2. 直方市(2007年11月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

台湾 台湾市 台湾国立国父記念館 [調査及び資料収集のため] (2017年9月:3日間)

科学研究費補助金などの受領

- 共同研究・受託研究
- 1. 「国際共同研究〕「玉作品を対象にした鑑賞教育教材研究の開始」、未詳(年度不詳~)
- 2. [国内共同研究] 「玉作品を対象にした鑑賞教育教材による授業/千波小学校での実践報告」,未詳(年度不詳~)
- 3. [国際共同研究]「中国人の玉認識アンケート調査について」、未詳(年度不詳~)
- 4. [国内共同研究] 「平成 21 年度 公開授業研究会「自分づくり」を支える教育活動の創造(2 年次) ーかかわり合いの質を高めるー 学習案集」、未詳(2010 年 01 月~)
- 5. [国内共同研究]「「自分づくり」を支える教育活動の創造(第1年次) ー他とのかかわり合いを通して一」、未詳(2009年~)
- 6. []「茨城大学教育学部附属中学校 かかわりが育む確かな学び(2 年次)かかわりを深める手だての工夫」、未詳(2003 年 06 月~)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 美術教育教室

氏名 島 剛

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	東京芸術大学大学院 美術研究科 彫刻[1989 年 03 月修了] 東京芸術大学 美術学部 彫刻[1987 年卒業]
学位	修士(芸術)[東京芸術大学]
受賞歴	リサイクルアート展 2016 優秀賞(2016) 第9回日本現代陶彫展'04、陶彫展優秀賞(2004) 第2回印幡村野外芸術展 in いには野、佳作賞(2000) 第6回ビエンナーレまくらざき、佳作賞(1999) 第7回日本現代陶彫展'98、大賞(1998) 第2回朝来野外現代彫刻展 in 多々良木'95、大賞(1995) 五島記念文化賞美術部門新人賞(1990) 第19回現代日本美術展、大賞(1989) オブジェTOKYO展'88、佳作賞(1988) 第18回現代日本美術展、いわき市立美術館賞(1987)
所属学会	大学美術教育学会
専門分野	彫刻
教育研究概要	(研究経歴) 木型の内部空間を炎で焼き拡げコンクリートを流し込んで取り出した≪ Firework≫シリーズで、1987 年に最初の作品発表を行った。1990 年に第 1 回五島 記念文化財団美術新人賞受賞により 1 年間のニューヨーク研修を経る。その後はレリーフコラージュや半立体の表現主義的平面作品を手掛けた。 1996 年の大型ブロンズによるモニュメント≪木霊の壺≫制作後は、素材選択の必要から陶彫制作を開始。陶土を用い木肌を写し取る手法で 1998 年より一体焼成の焼き締め大型陶彫≪倒木更新≫や≪切株更新≫などを制作する。2003 年から一年間の屋久島研修後はイメージを深化させ作風を一新。超高温(1,400℃超)で磁土を熔融する制作を試行、屋久島の地中内部のイメージの実現を目指した。磁土による制作は 2012 年の無垢の塊作品≪0 point≫シリーズでそのイメージを実現した。その後は、2014 年から廃棄ビンを熔融した無垢のガラス作品に着手し、≪元型の海≫や≪泥雲≫などの大型作品を経て、今日の多色ガラスによる≪コア・サンプル≫ワークに至る。
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ(教育学部)/主題別ゼミナール,美術文化

(専門科目)彫刻表現演習I,保育内容の研究(表現),立体表現演習II/彫刻I,デッサンI,卒業研究(教育:4単位),塑造特別演習,彫刻特別演習,表現の基礎I/デッサンの基礎II,立体表現演習I/彫刻実技概論(大学院科目)彫刻研究,美術文化総合研究,彫刻演習,美術教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[論文]「中学生からの美術アカデミー」実践報告・I/茨城大学 教育実践研究第24号,99-115(2005/04/28)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[芸術活動(単独)]コアサンプルワーク・Inward 170621-1/茨城大学美術科教員展/ギャラリー ESPACE/茨城(2018 年 12 月)

「芸術活動]鋳潰しの歴史2/島剛彫刻展/いりや画廊/東京・入谷(2018/06/18)

「芸術活動]Inward 1703-1/茨城大学美術科教員展/ギャラリーESPACE/茨城(2017/12/15)

[芸術活動]ブルタス石膏像の素描/デッサン展 2016/アートスペース エリコーナ/いわき市 (2017/01/28)

[芸術活動]Outward 160907/島剛彫刻展-CORE SAMPLE WORK 地中内視・向き合う視線 / ギャラリー桜林/笠間市(2016/12/17)

「芸術活動]Inward1606-1/茨城大学美術科教員展/ギャラリーESPACE/茨城(2016/12/16)

[芸術活動]海の暦 I / 島剛展ーガラスの彫刻/なかお画廊/熊本市(2016/08/20)

[芸術活動]コアサンプル─Inward 1605/リサイクルアート展 2016/札幌駅前通地下歩行空間 キタサン HIROBA/札幌(2016/07/01)

[芸術活動]コアサンプル 16207/島剛彫刻展 サンプル・コア/ギャラリーしえる/水戸市 (2016/03/22)

「芸術活動]あの時の肖像/デッサン展 2016/アートスペース エリコーナ/いわき市(2016/01/23)

[芸術活動]古代の宙/島剛彫刻展―宙の歴―/ギャラリーESPACE/茨城(2016/01/15)

「芸術活動〕宙(ソラ)がひらかれるとき/6 つの個展 2015/茨城県近代美術館(2015/09/05)

[芸術活動]元型の海ー放/島剛展/ギャルリー志門/銀座(2015/04/13)

[芸術活動]元型の海-啓/茨城大学美術科教員展/ギャラリーESPACE/茨城(2014/12/19)

「芸術活動〕元型の海/福島ビエンナーレ2014/喜多方市、湯川村(2014/10)

「芸術活動]元型の海―紺碧/島剛新作展-元型の海-/ギャラリーESPACE/茨城(2014/10/24)

[芸術活動]0 point 1207-2/現代茨城の陶芸展/茨城県陶芸美術館(2014/02/26)

[芸術活動]元型の海 I / 茨城大学美術科教員展/ギャラリーESPACE/茨城(2013/12/20)

「芸術活動]0 point /Art town in Misato 2013 風と土の芸術祭/会津美里町本郷地区(2013/09/14)

[芸術活動]Leveling―地ならし/島剛展―parallel World―/ギャラリーしえる/水戸市(2013/04/23)

[芸術活動]生命の総体の器 I / sculptures × drawings展/六本木画廊/東京(2013/04/17)[芸術活動]0 point 5/島剛の陶―生命と自然のあいだに―展/アカデミア・プラトニカ/那珂市(2013/02/16)

[芸術活動]0 point 3/茨城大学教員三人展/ギャラリーESPACE/茨城(2013/01/25)

[芸術活動]暖/デッサン展/アートスペース エリコーナ/いわき市(2013/01/12)

[芸術活動]0 point 4/天の果実 島剛展/ギャルリー志門/銀座(2012/10/01)

[芸術活動]Lay point 3/現代茨城の陶芸展/茨城県陶芸美術館(2012/04)

「芸術活動]Lav point-2/茨城大学教員三人展/ギャラリーESPACE/茨城(2011/12/23)

「芸術活動]象-0901-1/現代茨城の陶芸展-Lavered/茨城県陶芸美術館(2011/10)

[芸術活動]切株更新-転生の歴/Art session TSUKUBA 2011/研究学園駅前公園、他/つくば (2011/10/08)

「芸術活動]Mother Earth 5/島剛展/E・A ギャラリー/茨城(2011/07/02)

[芸術活動]象-0901-1/現代茨城の陶芸展-形と象/茨城県陶芸美術館(2010/12)

[芸術活動]象-1010 Twin peaks/五島記念文化財団設立 20 周年記念展/Bunkamura ザ・ミュージアム/渋谷(2010/11)

「芸術活動]象-1909/茨城県芸術祭美術展覧会/茨城県近代美術館(2010/10)

「芸術活動] 刈り入れ/THE KASAMA ルーツと展開/茨城県陶芸美術館(2010/04/17)

[芸術活動]象-0901-1/現代茨城の陶芸展-モノトーン・グラデーション/茨城県陶芸美術館 (2009/12/09)

[芸術活動]繋がる記憶 I /はじめる視点―博物館から覚醒するアーティストたち/福島県立博物館 (2009/10/10)

[芸術活動]The Holy Spirit of Grand Cedar/世界現代陶磁展―火の冒険/利川世界陶磁センター (韓国)(2009/04/25)

[芸術活動]A continuous line of "Firework"/国際陶磁ワークショップ/利川世界陶磁センター広場 (韓国)(2009/04/25)

[芸術活動]象-0810/島剛新作素描・彫刻展―生命の総体の器―/ギャラリーESPACE/茨城 (2009/01/1)

[芸術活動]ホンゴウシード 0808-1/福島現代美術ビエンナーレ/福島市街地、福島県文化センター(2008/10/06)

[芸術活動]ホンゴウシード 0808/Art town in Misato 2008 風と土の芸術祭/会津美里町本郷地区 (2008/08)

「芸術活動〕いはばしる-0709/茨城県芸術祭美術展覧会/茨城県近代美術館(2007/10/06)

[芸術活動]伝説-ベーグルリング/現代茨城の陶芸展 作品/解題―土のメッセージを読みとる―/ 茨城県陶芸美術館(2007/08) [芸術活動]いはばしる 0705/第8回風の芸術展受賞作家作品展/枕崎市文化資料センター南溟館 /鹿児島(2007/07)

[芸術活動]たまきはる'07,1/島剛新作素描・彫刻展―生命の総体の器―/ギャラリーESPACE(個展)/茨城(2007/02)

[芸術活動]ノアの島―青い空/現代陶芸の粋―東日本の作家を中心に―/茨城県陶芸美術館 (2006 年)

[芸術活動]たまきはる NO, 2/茨城県芸術祭美術展覧会/茨城県近代美術館(2005 年)

[芸術活動] Tamakiharu05-1/五島記念文化財団設立 15 周年記念グループ展/Bunkamura Galley/ 渋谷(2005 年)

[芸術活動]たまきはる―光の雨降る/第9回日本現代陶彫展2004/セラテクノ土岐/岐阜 ※陶彫展優秀賞(2004年)

[芸術活動]RangeIV/茨城県芸術祭美術展覧会/茨城県近代美術館(2003年)

[芸術活動]聖老人/第3回現代茨城作家美術展/茨城県近代美術館(2003年)

[芸術活動]たまきはる/島剛展、村松画廊(個展)/銀座(2003年)

[芸術活動]ノアの島―南の光/JAPANSE KERAMIEK/Culuurcentrum Scharpoord/クノックへイスト・ベルギー(2002 年)

[芸術活動]切株更新2002/第6回国際陶磁器展美濃/セラミックパーク美濃/多治見・岐阜(2002年) [芸術活動]たまきはる一ひとつの空/第7回風の芸術展トリエンナーレまくらざき/枕崎市文化資料センター南溟館/鹿児島(2002年)

[芸術活動]ノアの島/島剛彫刻展―ノアの島―/ギャラリーESPACE(個展)/茨城(2002年)

「芸術活動] 切株更新 No.9/茨城県芸術祭美術展覧会/茨城県近代美術館(2001 年)

[芸術活動]Sky the Blue/第2回印旛村野外芸術展 in いには野/印旛村中央公民館/千葉 ※佳作賞(2001年)

[芸術活動] 切株更新/現代陶芸の精鋭―21 世紀を開くやきものの手法とかたち―展/茨城県陶芸美術館(2001年)

[芸術活動] 切株更新 2000/夢みどりいしかわ 2001 現代野外アートコンペティション/金沢城公園/石川(2001年)

[芸術活動]万象―誕生/五島記念文化財団設立10周年記念展/Bunkamura Galley/渋谷(2000年) [芸術活動]万象-大地の王冠/21世紀アート大賞2000/熊本県立美術館分館(2000年)

[芸術活動]双生の壺/「茨城陶芸の現在―陶の魅力と可能性を求めて」展/茨城県陶芸美術館 (2000 年)

[芸術活動]伝説-夜明け前/第 28 回現代日本美術展/東京都美術館、京都市美術館(1999 年) [芸術活動]伝説-風の谷/第 6 回天理ビエンナーレ/天理市(1999 年)

[芸術活動] The Arch of East/第6回風の芸術展ビエンナーレまくらざき/枕崎市文化資料センター南溟館/鹿児島 ※佳作賞(1999年)

「芸術活動]倒木更新/第7回日本現代陶彫展'98/セラテクノ土岐/岐阜 ※大賞(1998年)

[芸術活動]倒木更新(Dolmen)/現代美術の磁場 1998/茨城県つくば美術館・中央公園(1998 年) [芸術活動]Firework-62/水戸市展/水戸芸術館現代美術センター/水戸市 ※アートディレクター賞(1996 年)

[芸術活動]日月山水春夏秋冬/いばらきバイアニュアル・ディアロゴス 1996「現代性の条件」展/水戸 芸術館現代美術センター/水戸市・茨城(1996 年)

[芸術活動]雲中のトーテム/21 世紀アート大賞'96/熊本県立美術館分館(1996年)

[芸術活動]木霊の壺/第2回朝来2001 野外彫刻展 in 多々良木'95/あさご芸術の森/兵庫 ※大賞(1995年)

[芸術活動]我は"泉"に立つ No.11/あかりとアート―島剛作品展―、プロックスギャラリー(個展)/茨城(1994年)

[芸術活動]Stretched Body in the pool/21 世紀アート大賞'94/熊本県立美術館分館(1994 年)

[芸術活動]Firework-65/美和村野外現代彫刻展/美和村工芸ふれあいセンター/茨城(1994年)

[芸術活動]二枚岩/第1回五島記念文化賞海外研修記念 島剛展―我は"泉"に立―、佐賀町エキジビット・スペース(個展)/江東区・東京(1994年)

[芸術活動]我は"泉"に立つ No.3/島剛展―我は"泉"に立つ―、アートフォーラム谷中/台東区 (1992年)

[芸術活動]Chimney(煙突)/第2回足立区野外彫刻展/足立区立元淵江公園/東京(1991年)

「芸術活動]Firework-70/CONTENPORARY WORKS 1990/日本橋東急(1990年)

「芸術活動]モンスター―炎の記憶 1—/松戸駅市民ギャラリー(個展)/千葉(1990年)

[芸術活動]Firewok-64/「現代彫刻の歩みⅢ 1970 年以降の表現―物質と空間の表現」展/神奈川県民ホール・ギャラリー/横浜(1990 年)

[芸術活動]モンスターScene No.1~No.17/第 10 回ハラアニュアル/ハラ美術館、品川(1990 年)

「芸術活動]モンスター38/第1回TAMON賞全国公募展/柏高島屋/千葉(1990年)

[芸術活動] モンスター7—森林の怒り—/島剛展—森林の怒り—、ギャラリー現(個展)/銀座(1990年)

[芸術活動]モンスター3-森林の怒り-/第 17 回日本国際美術展/東京都美術館、京都市美術館他 (1990年)

[芸術活動]Firework-61/INAX ギャラリー2(個展)/京橋(1990年)

[芸術活動]Firework-68/GALLEY21(個展)/北九州市(1989年)

[芸術活動]Firework-66/第3回東京野外現代彫刻展/世田谷区砧公園、東京(1989年)

[芸術活動]Firework-63/第 18 回現代日本美術展/東京都美術館、京都市美術館他 ※大賞(1989 年)

[芸術活動]Firework'87.6─四角から○へ─/オブジェ東京展'88/渋谷パルコ/東京 ※佳作賞 (1988年)

「芸術活動]Firework-38/Galley NAF(個展)/名古屋(1988年)

[芸術活動]Firework'87.6─四角から○へ─/第17回日本国際美術展/東京都美術館、京都市美術

館他(1988年)

[芸術活動]Firework'88.4-樹木へ-(1988 年)

[芸術活動]Firework-15/フジヤマゲイシャ展/東京・大阪(1987年)

[芸術活動]Firework-16/中村画廊(個展)/京橋(1987年)

[芸術活動]Firework-8/中村画廊(個展)/京橋(1987年)

[芸術活動] Firework '87.1―四角から〇へ―/第 18 回現代日本美術展/東京都美術館、京都市美術館他 ※いわき市立美術館賞(1987年)

[芸術活動]Firework—樹木へ—/「私のミニミニ美術館-空間を造形しよう」展/練馬区美術館(1987年)

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. [兼業] 茨城県教育研修センター・講師, 3(時間/月)(2009年08月~)
- 2. [兼業] 茨城県教育研修センター・講師(2007年07月~)
- 3. [兼業] 大阪教育大学•講師(2007年01月~)
- 4. [兼業] 茨城県教育研修センター・講師(2006年07月~)
- 5. 「出前授業] 光洋高校・講師(2006年05月~)
- 6. [兼業] 桜の牧高校・講師(2005年11月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領		

学校教育教員養成課程 教科教育コース 美術教育教室

氏名 片口 直樹

教員履歴など

4月~2006 ~2009年3
~2009年3
~2009年3
月~2009年3
·
去を模索す
の関係に着
る。 また、こ
必要となる。
をたどれば
上のような研
絵画特別演
立),美術館ワ
一知の往還

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書·論文等

- 1. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著] 「スケッチ学習の現在 筑波山をフィールドとした多面的 学習プログラムの実践 - 」、 茨城大学教育学部紀要, 67, 853-870(2017 年)
- 2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]「図画工作科・美術科における指導内容・指導方法の研究-アクティブ・ラーニングの潮流の中で/流行と不易の観点から-」, 茨城大学教育学部紀要, 67,635-638 (2017年)
- 3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著] 「沈黙交易・贈与交換の概念による, 美術教育実践の解釈と構想」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), 23,89-103(2016 年)
- 4. [著書 共著]「楽しく遊んで、子どもを伸ばす-子育て・保育の悩みに教育研究者が答える Q&A」, 福村出版株式会社, 38-41 (2016 年)
- 5. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]「富士山をフィールドとした多面的学習プログラムの実践1-地学と美術編-」, 茨城大学教育実践研究, 34,211-224(2015 年)
- 6. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]「美術科と特別支援学校による連携の試みー絵画を軸と した芸術体験「レインボーミラクル for チャレンジド」の実践を通して」, 茨城大学教育実践研究, 34,25-39(2015年)
- 7. [著書 共著] 「gallerism2008 画廊の視点」, gallerism2008 実行委員会, 28-29(2008 年)

研究業績(2)学会発表など

- 1. [学会発表] 「沈黙交易・贈与交換の概念による美術教育実践の解釈と構想-特別支援学校と大学生の交流事例の分析を踏まえて-」, 第 38 回美術科教育学会大阪大会(2016 年)
- 2. [学会発表]「富士山をフィールドとした多面的学習プログラムの提案と実践-美術と地学編-」, 日本理科教育学会第 54 回関東支部会(2015 年)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[芸術活動(単独)]ワークショップ「東海村アート2018~駅から街へ飛び出そう~」/JR 東海駅前 JR 待合室・東海村産業情報プラザ・東海村立図書館/東海村(2017年)

[芸術活動(単独)]ワークショップ「空想すいぞくかん~イワシってすばらしい~」/アクアワールド茨城県大洗水族館/大洗(2017年)

[芸術活動(共同)]「茨城大学美術科教員展+M2017」/ギャラリーESPACE/ひたちなか(2017年12月)

[芸術活動(単独)]「片口直樹 聴くことの比喩展」/いわき市立美術館/いわき(2017年11月~2017年12月)

[芸術活動(単独)]ワークショップ「空想すいぞくかん~クジラってすばらしい~」/アクアワールド茨城県大洗水族館/大洗(2016年)

[芸術活動(単独)]ワークショップ「空想すいぞくかん〜お水ってすばらしい〜」/アクアワールド茨城県大洗水族館/大洗(2015年)

[芸術活動(共同)]「茨城大学美術科教員展」/ギャラリーESPACE/ひたちなか(2015年)

[芸術活動(単独)]ワークショップ「空想すいぞくかん〜お魚ってすばらしい〜」/アクアワールド茨城県大洗水族館/大洗(2014年)

[芸術活動(単独)]ワークショップ「にじのたね in キタトク」/ 茨城県立北茨城特別支援学校/北茨城(2014年)

[芸術活動(単独)]ワークショップ「グループで絵を描く」/ 茨城大学教育学部附属幼稚園/水戸(2014年)

「芸術活動(共同)]「茨城大学美術科教員展|/ギャラリーESPACE/ひたちなか(2014年)

[芸術活動(単独)]ワークショップ「にじのたね in 大生小学校」/常総市立大生小学校/常総(2014年)

[芸術活動(単独)] 「光彩」/INFORM gallery/金沢(2013年)

[芸術活動(単独)]「信濃橋画廊コレクション」/兵庫県立美術館/神戸(2013年)

「芸術活動(単独)]「茨城大学美術科教員展|/ギャラリーESPACE/ひたちなか(2013年)

[芸術活動(単独)]ワークショップ「空想どうぶつえん〜創造ってすばらしい〜」/かみね動物園/日立(2013年)

[芸術活動(単独)]ワークショップ「目指せ!!石炭アーティスト~石炭で自分の絵具を作り表現しよう~」/リーベロ高萩/高萩(2013年)

「芸術活動(共同)]「茨城大学教員三人展」/Gallery ESPACE/ひたちなか(2013年)

「芸術活動(単独) 「Station | / 日立駅情報交流プラザ/日立(2013 年)

[芸術活動(単独)]「黒ノ美学」/雅景錐/京都(2012年)

「芸術活動(単独)]アートフェア「ART OSAKA 2012」/ホテルグランヴィア大阪/大阪(2012年)

[芸術活動(共同)]「茨城大学教員作品展」/Gallery ESPACE/ひたちなか(2011年)

[芸術活動(単独)]ワークショップ「ひろげよう、リリーのわ!!」/学校法人リリー文化学園 リリー幼稚園 /水戸(2011年)

「芸術活動(単独)]「Soil2」/INFORM gallery/金沢(2011年)

[芸術活動(単独)]ワークショップ「大きなリリーの木の下で」/学校法人リリー文化学園 リリー幼稚園 /水戸(2010年)

[芸術活動(単独)]公開制作「片口直樹のアートワーク」/茨城県近代美術館/水戸(2010年)

[芸術活動(単独)]「Soil」/INFORM gallery/金沢(2010年)

[芸術活動(単独)]「外には優しい雨の音」/信濃橋画廊/大阪(2010年)

[芸術活動(単独)]ワークショップ「親子でつくる不思議な世界-マグリットの世界を感じて」/茨城県近代美術館/水戸(2010年)

「芸術活動(単独)]「Sync」/INFORM gallery/金沢(2009年)

「芸術活動(単独)]「言葉は遠くの方にある」/信濃橋画廊/大阪(2009年)

「芸術活動(単独)]ワークショップ「にじのたね」/大阪市立鷺洲小学校/大阪(2009年)

「芸術活動]「gallerism2008」/大阪府立現代美術センター/大阪(2008年)

[芸術活動(共同)]「森ニュートン幸峰・片口直樹・吉田千春」/INFORM gallery/金沢(2008年)

[芸術活動(単独)]「Sweet & Bitter」/信濃橋画廊/大阪(2008 年)

[芸術活動(共同)] [thing matter time 2008] / 信濃橋画廊/大阪(2008 年)

[芸術活動(共同)]「百花繚乱展」/兵庫県立美術館/神戸(2007年)

[芸術活動(単独)]「微のあいだ」/INFORM gallery/金沢(2007年)

[芸術活動(単独)]「つもりつもれば」/信濃橋画廊/大阪(2007年)

[芸術活動(単独)]「Distance」/信濃橋画廊/大阪(2006年)

[芸術活動(単独)]「Diary」/INFORM gallery/金沢(2006年)

[芸術活動(単独)]「Happy End」/信濃橋画廊/大阪(2006年)

「芸術活動(単独) 「第22回天展天理ビエンナーレ2005」/天理教本部・特設会場/天理(2005年)

[芸術活動(共同)]「Premonition-I- 片口直樹/中西信洋」/大阪成蹊大学芸術学部 spaceB/長岡 天神(2005 年)

[芸術活動(共同)] [LA VOZ 2005 | / 京都市立美術館別館/京都(2005 年)

「芸術活動(単独)]「suzuka」/信濃橋画廊/大阪(2005 年)

[芸術活動(単独)]「River」/INFORM gallery/金沢(2005年)

[芸術活動(共同)]「remo_showcase」/remo/大阪(2005年)

「芸術活動(共同)]「remo video loungage[wallstream]」/remo/大阪(2005年)

「芸術活動(単独)]「ぼくのもの」/信濃橋画廊/大阪(2005年)

「芸術活動]「第13回吉原治良賞美術コンクール展」/大阪府立現代美術センター/大阪(2005年)

[芸術活動(単独)]「ここにしあわせがある」/やわたメディカルセンター/石川(2004年)

[芸術活動(単独)]「そこにしあわせがある」/信濃橋画廊/大阪(2004年)

[芸術活動(共同)]「thing matter time」/信濃橋画廊/大阪(2004年)

[芸術活動(単独)]「awake and aware」/INFORM gallery/金沢(2002年)

[芸術活動(単独)]「片口直樹展」/ やわたメディカルセンター/小松(2002年)

社会的活動、地域貢献など

「社会貢献活動(単独)]高校生対象公開講座講師/茨城県教育委員会/(2017年)

「社会貢献活動(単独)]高校生対象公開講座講師/茨城県教育委員会/(2016年)

[地域貢献活動(単独)]夏期講習会油絵講師/茨城県立笠間高等学校/(2014年)

「地域貢献活動(単独)]図工美術研究部研修会講師/常総市/(2013年)

「地域貢献活動(単独)]夏期講習会油絵講師/茨城県立笠間高等学校/(2013年)

「社会貢献活動(単独)]高校生対象公開講座講師/茨城県教育委員会/(2013年)

[地域貢献活動(単独)]夏期講習会油絵講師/茨城県立笠間高等学校/(2012年)

[地域貢献活動(単独)]夏期講習会油絵講師/茨城県立笠間高等学校/(2011年)

[社会貢献活動(単独)]高校生対象公開講座講師/茨城県教育委員会/(2011年)

「社会貢献活動(単独)」高校生対象公開講座講師/茨城県教育委員会/(2010年)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

1. [日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C、課題番号 26381251)]「富士山をフィールドとした多面的実践学習プログラムの開発とそれによる教科間相互作用」,研究代表者:伊藤孝(2014-2017年)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 美術教育教室

氏名 小口 あや

教員履歴など

現 職	助 教
学歴•職歴	茨城大学 教育学部学校教育教員養成課程美術コース[2001 年 03 月卒業] 茨城大学大学院 教育学研究科 教科教育専攻美術教育専修[2003 年 03 月修 了] 茨城県公立小学校(2003 年 4 月~2018 年 3 月) 茨城大学教育学部 美術教育教室(2018 年 3 月~)
学位	修士(教育学)[茨城大学]
受賞歴	なし
所属学会	美術科教育学会 大学美術教育学会
専門分野	教科教育学(美術科教育)
教育研究概要	(キーワード)美術科教育
担当科目	大学入門ゼミ,美術教育特別演習 A I,美術教育特別演習 A II,図画工作科内容研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

(共:小口あや・鈴木敦子・中川知子・金子一夫)「美術教育における方法論的前提としての言語―児 童生徒と教師、それぞれの位相での言葉」『茨城大学教育実践研究』第 30 号,51-65 頁, 2011 年.

(共:金子一夫・小口あや・角谷由美・鈴木敦子)「美術教育における言語的方法の展開―表現内容に関わる言語の機能」『茨城大学教育実践研究』第31号,75-89頁,2012年.

(単)「児童の鑑賞行為に見られる内なる視点と外なる視点 - 感情移入的視点と批評的視点 - 」『美術教育学』(美術科教育学会)第34巻,191-203頁,2013年.

(単)「児童の発達に伴う視点の上昇に基礎を置く鑑賞指導-内の視点的段階から批評的段階-」『美術教育学』(美術科教育学会)第36巻,165-178頁,2015年.

(共:小口あや・中川知子・髙橋文子・金子一夫)「美術科教育における表現の独自性尊重―教育現場での知見から―」『茨城大学教育実践研究』第 37 号, 103-118 頁, 2018 年.

(単)表現の独自性が表れる絵画指導法―活動主体の区別から生まれる独自性―」『茨城大学教育実践研究』第37号,77-86頁,2018年.

研究業績(2)学会発表など

(単)「二つの視点で見る鑑賞指導」第70回全国造形教育研究大会,口頭発表,2017年. (単)「写真で行う彫刻鑑賞指導ーサモトラケのニケの場合ー」第39回美術科教育学会静岡大会,口頭発表,2017年.

研究業績(3)芸術・体育系の活動

「芸術活動〕

2018 年 Art Cocktail 2018/ステップスギャラリー/東京都中央区銀座, 2017 年 Art Cocktail 2017/ステップスギャラリー/東京都中央区銀座, 2016 年 Art Cocktail 2016/ステップスギャラリー/東京都中央区銀座, 2015 年 個展/Galerie Ciel/茨城県水戸市, 2014 年 On the Steps 2014/ステップスギャラリー/東京都中央区銀座, 2013 年 個展/ステップスギャラリー/東京都中央区銀座, 2013 年 On the Steps 2013/ステップスギャラリー/東京都中央区銀座, 2013 年 On the Steps 2013/ステップスギャラリー/東京都中央区銀座, 2012 年 Re:ゼミ 100 万倍になって還ってくるぜい/東海ステーションギャラリー/茨城県那珂郡東海村, 2012 年 個展/ステップスギャラリー/東京都中央区銀座, 2011 年 Re:ゼミ 2011 この世界を見つめて/藝文プラザ/茨城県水戸市, 2010 年 Sprout VI 展/ART WORKS GALLERY/茨城県水戸市, 2010 年 初花展/ART WORKS GALLERY/茨城県水戸市, 2007 年 個展/時コレクション/東京都中央区銀座, 2006 年 開廊5周年記念展「情念のようなもの」/ART WORKS GALLERY/茨城県水戸市, 2006 年 個展/ギャラリーサザ/茨城県水戸市, 2006 年 ダイアローグ 2006 展 23 人による現代美術の「対話」/茨城県民文化センター/茨城県水戸市, 2004 年 Sprout 展/ART WORKS GALLERY/茨城県水戸市, 2002 年 個展/ギャラリーオープンセサミ

社会的活動、地域貢献など

授業づくり研究会茶話会,水戸芸術館あーとバス2018スタッフ研修

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

平成30年度科学研究費助成事業 研究活動スタート支援「美術作品の内容と表現に関する思考の発達を基礎とした鑑賞教育方法と教材の開発研究」(課題番号18H057810005)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 美術教育教室

氏名 金子 一夫

教員履歴など

現 職	特任教授
	茨城大学 教育学部 中学校教員養成課程美術専攻[1973年卒業]
	東京芸術大学大学院 美術研究科 美術教育学[1975年修了]
	東京芸術大学美術学部非常勤講師(1976年4月~1978年3月)
	茨城大学教育学部講師(1978年4月~1985年6月)
学歴•職歴	茨城大学教育学部助教授(1985年7月~1987年7月)
	茨城大学大学院教育学研究科助教授(1987年8月~1996年9月)
	茨城大学大学院教育学研究科教授(1996年10月~2016年3月)
	茨城大学教育学部付属中学校長併任(2008年4月~2011年3月)
	茨城大学教育学部特任教授(2016年4月~2018年3月)
学位	博士(美術)[東京芸術大学] 芸術学修士[東京芸術大学]
受賞歴	なし
所属学会	明治美術学会 美術科教育学会 大学美術教育学会 美術史学会 美学会 日本美術教育連合 日本美術教育学会
専門分野	美術教育学 近代日本美術史
教育研究概要	(教員からのメッセージ) 研究を始めてみると、この世には解明されていないことだらけであることに気づきます。それを一つ一つ解明していくことに意義があると思います。焦らず、怠けずやっていくことが大事かと思います。 日本美術教育史研究。美術教育方法論研究—鑑賞教育方法を中心に 日本絵画の研究 古代から近代までほとんどの日本絵画は画面に構図決定格子を設定し、それに則って画面構成をしたことを実証する 様々な研究を発展させるような、近代日本の美術教育に関する基礎調査をする。
	(キーワード)美術教育 美術科教育 美術教育史
担当科目	(専門科目)美術教育特別演習AI,美術科教科論,図画工作科教育法研究,美術科教育法研究,図画工作科教育法研究,美術教育特別演習AII,卒業研究(教育:4 単位),図画工作科内容研究 (大学院科目)美術教育研究I,美術文化総合研究,美術教育演習I,美術教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[その他]小山正太郎の風景写生地の調査(2005年)

[その他]小山正太郎及び不同舎の資料的研究(1991年)

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 明治美術学会, 理事(2006年10月~)
- 2. 明治美術学会, 論文査読委員(2006年12月~2018年03月)
- 3. 美術科教育学会, 理事(1982年03月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

人間環境教育課程	氏名 勝本 真
----------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	筑波大学 体育専門学群[1981 年卒業] 筑波大学大学院 体育研究科 コーチ学[1984 年修了] 大学教育センター・副センター長(教育点検支援部)(2008 年 4 月~2013 年 3 月) 茨城大学教育学部附属小学校校長(2015 年 4 月~2018 年 3 月)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本体育学会 日本スポーツ方法学会 日本バレーボール学会 日本教育工学会 日本バイオメカニクス学会
専門分野	身体教育学 教育工学 バイオメカニクス
教育研究概要	(研究経歴) パソコンや IT 機器用いた使ったバレーボールのゲーム分析を進める中、分析用の専門ソフトを開発して研究を進めた。また小中高のバレーボール授業の教材研究も進め、副読本や指導書を執筆した。バレーボールの指導法に関する研究 研究は、1) バレーボールの技術指導に関する研究、2) バレーボールのゲーム分析に関する研究、3) 小中学校におけるバレーボール教材としての教科教育的研究の三つに大別することができる。1)は、画像分析を用いてオーバーハンドパスやスパイク動作の分析し、バレーボールの基本技術を解明してきた。その情報をもとにして斬新な連続的イラストを用いた指導書を作成している。指導書は、様々なレベルに合わせて作成しており、中学校授業向けの本では技術レベルに合わせた練習課題を紹介している。2)は、DLT法画像分析によりフォーメーションの分析を行い、競技レベルによる違いを明らかにした。チームの得点力を構成する要因を解明し、ゲーム分析項目の決定に貴重な資料を提供し、その要因をもとにして BASIC 言語を用いてゲーム分析ソフトを開発している。3)は、中学校バレーボール技術指導のための学校体育実技指導者講習会の講師を務め、その経験をもとに、中学校のバレーボールにワンバウンドでの3人制ルールを導入した授業研究や3人制から正規ルールへの移行をスムーズに行うための教材研究を行っている。近年、小学校にソフトバレーボールが導入され、バレーボール教材の再検討が求められており、中学年の「基本の運動」にバレーボールの動きを入れた教材を開発して実践している。
担当科目	(教養科目)身体活動(チームスポーツ)

(専門科目)ボールゲーム方法論 II,体育科教育法研究(2単位),バレーボール 指導法/バレーボール(人間環境),バレーボール指導法/バレーボール(中教科: 保体),運動学概論,卒業研究(教育:4単位),コーチング論 II,スポーツ特別演習 I・II,卒業研究(教育:4単位)

(大学院科目)運動方法学特講,運動方法学演習,保健体育科学総合研究,特別 課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

中学校体育におけるバレーボールのドリル教材に関する研究: 男子のアンダーハンドパスに着目して / 山中愛美,竹内洋人,勝本真, 茨城大学教育学部紀要(教育総合) no.増刊号 pp.495-503, 2014

オーバーハンドスローの動作習得における両側性転移の可能性に関する研究 / 星野千恵,勝本真, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学 Vol.64 pp.341-351, 2015

小学生の投能力向上のための練習プログラムの研究: リリース時の上肢の動きに着目して / 佐藤天馬,勝本真, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学 Vol.66 pp.197-208, 2017

小学校教員養成における体育科教育法の授業設計/吉野聡,中嶋哲也,大津展子,渡邊將司,篠田明音,上地勝,加藤敏弘,勝本真,富樫泰一,松坂晃,日下裕弘, 茨城大学教育学部紀要.教育科学Vol.67 p.299-312 2018

研究業績(2)学会発表など

バレーボールにおける得失点の流れをリアルタイム処理するゲーム分析の試みーICT を活用したゲーム分析プログラムの開発ー,第 21 回バレーボール学会(2016)

3 次元 DLT 法におけるスナップ動作に関する研究(1)—コントロールを重視したスパイクスイングとフルスイングの差に着目して—, 第 21 回バレーボール学会(2016)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. 「兼業」第74回国民体育大会茨城県競技力向上対策本部・強化普及委員(2012年04月~)
- 2. [非常勤講師]「保健体育」・独立行政法人国立病院機構水戸医療センター附属桜の郷看護学
- 校•講師(2011年04月~~2015年03月))
- 地域協力活動
- 1. 「地域貢献事業」「茨城県バレーボール協会理事」(2012年04月~)
- 2. NPO 法人 スマイルクラブ (2000 年 04 月~)
- 学協会での役職
- 1. 全国国立大学附属連盟, 理事(2015年06月~2016年06月)

- 2. 日本教育大学協会関東地区,理事(2017年04月~2018年03月))
- 講演会・シンポジウム
- 1. 「平成 28 年度運動部活動指導者研修会(国内)」, 茨城県教育委員会(茨城県水戸市)[その他] (2016 年 11 月)
- 2. 「平成28年度学校体育担当教員実技指導者研修会(国内)」, 茨城県高等学校教育研究会(茨城県土浦市)[その他](2016年11月)
- 3. 「平成 28 年度那珂市中学校運動部活動競技力向上事業(バレーボール)(国内)」, 那珂市教育研究会(茨城県那珂市)[その他](2016 年 08 月)
- 4.「第55回茨城県教育研究総会(国内)」, 茨城県教育研究会(茨城県水戸市)[招待講演](2016年05月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領		

人間環境教育課程 氏名 渡邊 將司

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 学校教育教員養成課程 保健体育コース[2001年03月卒業] 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 体育科学専攻[2006年03月修了] 浅井学園大学 短期大学部 人間総合学科スポーツ科学系 (2006年4月~2007年3月) 北翔大学 短期大学部 こども学科(2007年4月~2009年3月) 茨城大学 教育学部 保健体育教室(2009年4月~)
学位	博士(体育科学)[筑波大学]
受賞歴	日本成長学会 若手優秀演題賞(2008) Roy Acuff ACSM Abstract Award(2005)
所属学会	日本陸上競技学会 American College of Sports Medicine National Strength and Conditioning Association 日本トレーニング科学会 日本成長学会 日本体力医学会 日本発育発達学会
専門分野	スポーツ科学 身体教育学
教育研究概要	からだの成長・成熟や体力・運動能力の発達に関して研究しています。最近は早生まれの子どもの運動能力、子どもの運動習慣化、子ども期の運動習慣と成人期の体力・健康などに関心があります。 (キーワード)発育発達学、形態学、トレーニング科学
担当科目	(教養科目)身体活動,スポーツ文化 (専門科目)体育科教育法研究(2 単位),形態学,保育内容の研究(健康),陸上競技方法論,陸上競技方法論(健康コース)/陸上競技方法論,陸上競技/陸上競技 指導法,陸上競技指導法/陸上競技/陸上競技(健康コース),トレーニング法,測 定評価,子どもの体力と健康,スキー,スポーツ特別演習 I,総合演習[人環用],スポーツ特別演習 II,卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)形態学特論,体育授業設計,形態学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. []上地勝,加藤敏弘,松坂晃,篠田明音,大津展子,中嶋哲也,渡邊將司,吉野聡,勝本真,富樫泰一,日下裕弘「茨城大学学生の体力・運動能力の現状と課題 ―第2報 学部間の比較および

経年変化一」, 茨城大学全学教育機構論集大学教育研究, 1, 43-51 (2018 年 03 月)

- 2. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著] 松坂晃, 上地勝, 加藤敏弘, 篠田明音, 大津展子, 中嶋哲也, 渡邊將司, 吉野聡, 勝本真, 富樫泰一, 日下裕弘「茨城大学学生の体力・運動能力の現状と課題 一第1報 20年間の変化および全国平均値との比較一」, 茨城大学全学教育機構論集大学教育研究, 1, 33-43(2018年03月)
- 3. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]川勝佐希,國土将平,笠次良爾,長野真弓,森田憲輝, 鈴木和弘,渡邊將司,上地広昭,山津幸司,堤 公一,辻 延浩,久米大祐,石井好二郎「思春期前 の子どもにおける身体活動,抑うつ,首尾一貫感覚(SOC)の実態調査」,発育発達研究,78,78-60 (2018年03月)
- 4. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)単著【依頼/招待】]渡邊將司「若年競技者育成と相対年齢効果」,陸上競技研究紀要,13,74-83(2018年03月)
- 5. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]小林柊次郎, 渡邊將司, 森丘保典, 岩瀧一生「陸上競技日本代表選手の競技ヒストリー研究 -男子短距離選手を対象にした複線径路・等至性モデルー」, 陸上競技研究紀要, 13, 4-10(2018 年 03 月)
- 6. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著]茨城大学教育学部幼児教育実践研究会「身体の発育と運動発達」, 保育内容研究と指導法の実践的課題, 5-7(2018 年 01 月)
- 7. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著] 宮部恵里香, 渡邊將司, 塚田友萌美, 青栁直子「幼児の鬼遊びに関する研究 運動強度, 体力, 介入効果, 月齢差, 性差に着目して-」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 689-704(2018 年 01 月)
- 8. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]宮本秀斗, 渡邊將司, 上地勝「短距離走における速度逓減と SSC 能力および無気的能力の持続力との関係」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 705-714(2018 年 01 月)
- 9. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]吉野聡, 中嶋哲也, 大津展子, 渡邊將司, 篠田明音, 上地勝, 加藤敏弘, 勝本真, 富樫泰一, 松坂晃, 日下裕弘「小学校教員養成における体育科教育法の授業設計」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 299-312 (2018 年 01 月 30 日)
- 10. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]餌取秀才典, 渡邊將司「高校生における剣道の継続・非継続に関係する要因」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 679-687(2018 年 01 月 30 日)
- 11. [(MISC)総説・解説(学術雑誌)共著【査読あり】]引原有輝,渡邊將司,川勝佐希,石井好二郎「子どもにおける運動・スポーツ活動と運動遊びの意義とは ーヘルスアウトカムとの関連から探るー」,体力科学,67,1,83-98(2018年01月19日)
- 12. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】【依頼/招待】]渡邊將司,宮部恵里香,塚田友萌美,青柳直子「鬼遊びの継続実施が幼児の持久的能力に及ぼす効果」,発育発達研究,77,1-9(2017年11月01日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・国内会議(単独)] 渡邊將司「スポーツタレントの発掘・育成の可能性」日本発育発達学会(東京(明治大学駿河台キャンパス))[2018年03月10日] 2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 青山友子, 引原有輝, 渡邊將司, 若林斉, 塙智史, 麻見直美, 田中茂穂, 瀧本秀美「出生体重、乳児期の体重増加ならびに運動発達と小児期の体脂肪率との関係」第6回日本 DOHaD 学会学術集会()[2017年08月21日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. 「出前授業] 埼玉県立川口北高等学校・講師, 2(時間/月)(2016年10月~)
- 2. [兼業] 日本陸上競技連盟·普及育成委員(2011年04月~)
- 3. 「兼業」体育学習アドバイザー・講師(2011年 04月~)
- 4. [兼業] 茨城陸上競技協会・理事(2010年04月~)
- 5. 「非常勤講師」 筑波大学・非常勤講師(臨海実習・からだの成長)(2010年04月~)
- 学協会での役職
- 1. 日本陸上競技学会, 企画委員(2014年11月~)
- 2. 日本陸上競技連盟, 普及育成委員(2011年04月~)
- 講演会・シンポジウム
- 1. 「日立第一高等学校附属中学校 健康教育講座(国内)」, [その他](2017年11月)
- 2. 「平成29年度公認空手道上級指導員養成講習会」, 「その他」(2017年10月)
- 3.「ひたちなか市民大学「スポーツ医学概論」(国内)」, [その他](2017年07月)
- 4. 「平成 29 年度すぎなみスポーツアカデミーA1 指導者養成講習会(国内)」, [その他](2017 年 06 月)
- 地域協力活動
- 1. [地域貢献事業] 「国営ひたち海浜公園 ジョグング・ウォーキング教室」 (2011 年 04 月~)
- 2. 「地域貢献事業」「スマイル TOKAI 陸上教室」(2009 年 04 月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費] 若手研究(B) 「どのような要因で幼少期から思春期にかけて体力・身体組成・身体活動が変化するのか」, 390 万円(2017年04月~2019年03月)
- 2. [科研費]基盤研究(B)(分担)「運動の「ぎこちなさ」を要因とする書字困難児に対する早期支援プログラムの開発」, 952 万円 (2016 年 04 月~2020 年 03 月)

3. [科研費]基盤研究(C)(分担)「子どもの外遊びを促進するための公園環境の提案」,468 万円 (2016 年 04 月~2019 年 03 月)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 保健体育教室

氏名 中嶋 哲也

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	埼玉大学 教育学部 生涯学習課程健康スポーツコース[2005 年 03 月卒業] 早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科 スポーツ科学専攻[2011 年 03 月修了] 横浜 YMCA スポーツ専門学校 非常勤講師(2006 年 4 月~2011 年 3 月) 埼玉大学 非常勤講師(2008 年 4 月~2013 年 3 月) 早稲田大学スポーツ科学学術院 助手(2011 年 4 月~2013 年 3 月) 鹿児島大学教育学部 講師(2013 年 4 月~2015 年 4 月) 鹿児島県立短期大学 非常勤講師(2014 年 4 月~2015 年 3 月) 専修大学 兼業講師(2016 年 4 月~) 埼玉大学 非常勤講師(2018 年 4 月~)
学位	博士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本体育学会 スポーツ史学会 早稲田文化人類学会 日本武道学会 日本スポーツ人類学会
専門分野	スポーツ人類学 武道論 文化人類学 社会史
教育研究概要	(キーワード)柔道の歴史、古武道の近現代史、古流武術の民族誌
担当科目	(教養科目)身体活動,身体活動 (専門科目)体育科教育法研究(2単位),柔道指導法/柔道,体育学概論,武道方 法論 (大学院科目)体育史特論,保健体育科学総合研究,研究と教育―知の往還をめ ぐって―

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
- 1. [単行本(学術書)・単著]中嶋哲也「近代日本の武道論:〈武道のスポーツ化〉問題の誕生」,国書刊行会,(2017年07月24日)

研究業績(2)学会発表など

- 著書・論文等
- 1. 中嶋哲也「源了圓の『型』論再考一新陰流の稽古法を事例にして一」, 日本スポーツ人類学会第19回大会(2018年3月27日)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

海外出張・海外研修・内地研修など

イギリス バース BathRoyalLiteraryandSeientificInstitution[研究会参加のため] (2017 年 4 月~5 月: 4 日間)

ブラジル リオデジャネイロ リオデジャネイロ市内ブラジリアン柔術道場他[資料収集](2017年12月:5日間)

ベルギー ヘント ゲント大学[国際学会出席及び研究成果発表](2018年2月:3日間)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 保健体育教室

氏名 大津 展子

教員履歴など

現 職	講師
学歴•職歴	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 学校教育学専攻[2009年03月中退] 筑波大学附属坂戸高等学校(2006年4月~2011年3月) 尚美学園大学 総合政策学部 ライフマネジメント学科(2011年4月~2014年3月) 茨城大学 教育学部(2014年4月~)
学位	修士(体育学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本スポーツ教育学会 体育授業研究会 筑波大学教育学会 日本体育学会
専門分野	身体教育学
教育研究概要	(キーワード)体育科教育学 体育授業 教材研究
担当科目	(教養科目)身体活動,身体活動 (専門科目)保健体育科教育法研究 II,体育科教育法研究(2単位),ソフトボール (スポーツコース)/ソフトボール指導法(スポーツコース)/ソフトボール(健康コース) /ソフトボール(保健体育選修)/ソフトボール指導法/ソフトボール(保健体育選 修),体育科内容研究,保健体育総合演習,保健体育特別演習 II,卒業研究(教育:4単位),保健体育特別演習 I (大学院科目)体育授業設計,体育科教育学特論,保健体育科教育学特論,体育 科教育学演習,保健体育科教育学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. [非常勤講師] 白?大学・(2015年04月~)
- 地域協力活動
- 1. [学外審議会•委員会等]「(公社)日本女子体育連盟「女子体育」編集委員会副委員長」(2013年

04月~)	
海外出張・海外研修・内地研修など	
科学研究費補助金などの受領	

学校教育教員養成課程 教科教育コース 技術教育教室

氏名 工藤 雄司

教員履歴など

************************************	tr/. 145
現 職	教 授
学歴・職歴	広島大学 学校教育学部 中学校教員養成課程 技術専攻[1984年03月卒業] 東京学芸大学大学院 教育学研究科 技術教育専攻(電気講座)[1987年03月修了] 学校法人科学技術学園高等学校・教諭(1987年4月~1991年3月) 筑波大学附属坂戸高等学校・文部教官教諭(1991年4月~2012年3月) 埼玉大学・非常勤講師(教育学部)「情報コミュニケーション技術」(2000年4月~2004年9月) 筑波大学・非常勤講師(教育学部)「情報システム技術」(2004年4月~) 埼玉大学・非常勤講師(教育学部)「情報システム技術」(2005年4月~2005年9月) 愛知教育大学・非常勤講師(教育学部)「工業科教育 CII」(2007年12月~2008年3月) 茨城大学・非常勤講師(教育学部)「家庭電気・機械・情報処理」(2009年10月~) 茨城大学・非常勤講師(教育学部)「家庭電気・機械・情報処理」(2009年10月~) 茨城大学・非常勤講師(教育学部)「情報と職業」「職業指導原論」(2010年4月~2012年3月) 茨城大学・非常勤講師(教育学部)「情報と職業」「職業指導原論」(2010年4月~2012年3月) 茨城大学・教授(教育学部 技術教育教室)(2012年4月~)
学位	教育学修士[東京学芸大学]
受賞歴	日本教育情報学会論文賞(2013)
所属学会	日本産業技術教育学会 日本工業技術教育学会 日本教科教育学会 日本教育情報学会 筑波大学教育学会 日本情報科教育学会
専門分野	教科教育学 情報教育
教育研究概要	(キーワード)各教科の教育(技術,情報),専門教科の教育(工業),情報教育,教 材開発
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ(教育学部)/主題別ゼミナール,情報リテラシー (専門科目)情報科教育法 II,情報システム,技術科教科論,工業科教育法,技術 科教育演習,基礎情報処理(情報文化)/基礎情報処理(高教科:工業)/情報通信 ネットワーク演習,情報教育入門,技術科教育法特講 II,技術科教育法特講 I,情 報教育研究法(技術)/情報教育研究法(家庭),情報と職業,卒業研究(教育:4単位)

(大学院科目)技術科教育特論 I, 技術と生活総合研究, 技術科授業設計, 技術科教育演習 I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]工藤雄司,本村猛能,村上綾香,森山潤,山本利一,角和博「Proposal of Teaching Materials about Information Technology Education based on International Comparison of Students' Information Literacy」,Technology Environmental Mathematics and Science (TEMS) Education Research Centre, University of Waikato, New Zealand, 121-133 (2017年10月9日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

- 1. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)] 工藤雄司,本村猛能,山本利一,森山潤「中学校・高等学校における情報教育の体系化に向けた提案ー「情報の科学的な理解」のための論理回路教材の実践ー」日本産業技術教育学会第60回全国大会(弘前)(弘前大学教育学部)[2017年08月26日] 2. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)] 工藤雄司,本村猛能,山本利一,本郷健,森山潤「情報教育の体系化に向けた「情報の科学的な理解」のための論理回路教材の実践提案」日本教育情報学会第33回年会(芦屋)(芦屋大学六麓荘キャンパス)[2017年08月27日]
- 3. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)] 工藤雄司,本村猛能,山本利一,森山潤「中学校・高等学校における情報教育の体系化に向けた提案ープログラミングにおける論理回路教材の影響ー」日本産業技術教育学会第29回関東支部大会(群馬)(前橋プラザ元気21)「2017年12月10日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業·兼職
- 1. [非常勤講師] 埼玉大学教育学部・非常勤講師(2012年04月~)
- 2. [非常勤講師] 筑波大学人間学群・非常勤講師(2012年04月~)
- 3. [非常勤講師] 筑波技術大学・非常勤講師(2012年04月~)
- 学協会での役職
- 1. 日本産業技術教育学会, 評議員(2016年08月~)
- 2. 日本教育情報学会, 評議員(2016年08月~)
- 3. 日本工業技術教育学会, 事務局(1998年07月~)
- 4. 日本工業技術教育学会,編集委員(1998年07月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

ニュージーランド クライストチャーチ セントマルガレト大学[国際学会出席及び研究成果発表] (2017年 10月:3日間)

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費]基盤研究(C)(一般)(研究分担者)「情報教育固有の目標「情報活用能力」を踏まえたカリキュラム体系化と国際比較研究」,20万円(2016年04月01日~2019年03月31日)
- 2. [科研費]挑戦的研究(萌芽)(研究分担者)「専門高校卒業生の継続的な学びの支援に関する研究」,25万円(2017年04月01日~2020年03月31日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 技術教育教室

氏名 榊 守

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	釧路工業高等専門学校大学院[1983 年卒業] 豊橋技術科学大学 工学部 電気・電子工学課程[1985 年卒業] 豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 電気・電子工学[1987 年修了] 釧路工業高等専門学校 電気工学科 助手(1987 年 4 月~1989 年 3 月) 豊橋技術科学大学 電気・電子工学系 講師(1994 年 4 月~1996 年 3 月)
学位	博士(工学)[豊橋技術科学大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本産業技術教育学会 表面技術協会 日本視覚障害理科教育研究会 日本生活支援工学会
専門分野	放電応用 福祉機器
教育研究概要	教育学部で基礎電気などの電気・電子関連科目の講義・実習を担当。 研究分野: アークやグロー放電の基礎研究および視覚障害者用学習支援装置の研究
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ(教育学部)/主題別ゼミナール (専門科目)電気工学演習,電気の基礎技術,電気工学,基礎電気/電気技術概論,家庭電気・機械,卒業研究(教育:4単位),電気の応用技術(1単位) (大学院科目)技術と生活総合研究,技術科授業設計,特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
- 1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】] Yuki Matsumoto, Kei Sakaki, Mamoru Sakaki"Development of a New Method for Development of a New Method for Assembling a Bipolar DC Motor as a Teaching Material", THE PHYSICS TEACHER, 55, 293-297(2017 年 05 月)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 地域協力活動1. 茨城県立盲学校(2009 年 11 月~)海外出張・海外研修・内地研修など

学校教育教員養成課程 教科教育コース 技術教育教室

氏名 大西 有

教員履歴など

現 職	准教授
	北海道教育大学 教育学部 技術科[1988年03月卒業]
	東京学芸大学大学院 教育学研究科 技術教育専攻[2018年03月修了]
	根室市立厚床中学校(1988年4月~1994年3月)
学展. 啦 展	上富良野町立上富良野中学校(1994年4月~2000年3月)
学歴・職歴	旭川市立啓北中学校(2000年4月~2001年3月)
	北海道教育大学教育学部附属旭川中学校(2001年4月~2009年3月)
	北海道立教育研究所(2009年4月~2013年12月)
	北海道教育庁上川教育局(2014年1月~2015年12月)
学位	修士(教育学)[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本産業技術教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	(1)中学校技術科教育に関する指導方法の研究(2)中学校技術科 生物育成の技術に関わる指導方法の研究(3)小学校プログラミング教育に関する指導方法の研究
	(キーワード) 技術科教育 小学校プログラミング教育
担当科目	技術科教育関係,生物育成の技術関係,幼稚園・小学校生活科関係,小学校プログラミング教育関係

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [調査報告書・共著]安藤明伸他 15 名のうち 4 番目 (50 音順) 「平成 25 年度中学校学習指導要領 実施状況調査報告書 結果のポイント及び教科等別分析と改善点 」,国立教育政策研究所, (2018 年 03 月)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

茨城大学教育学部附属小学校 小学校プログラミング教育必修化向けた授業化 プロジェクト 第9回公開授業研究会 助言者

茨城県教育研究会 家庭、技術・家庭教育研究部 県東ブロック中学校技術・ 家庭科(技術分野)授業研究会 助言者

平成30年度茨城県小学校プログラミング教育推進事業委員及び講師

平成 30 年度 福井県中学校技術・家庭科研究会 研修会講演講師

第 57 回 関東甲信越地区中学校技術·家庭科研究大会 長野大会 第 2 分科会 指導·助言者

神奈川県秦野市 中学校教育研究会 技術科研究部会「教育講演会」講演講師

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領			

学校教育教員養成課程 教科教育コース 技術教育教室

氏名 臼坂 高司

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	広島大学大学院 教育学研究科[2007年03月修了] 広島大学大学院 教育学研究科[2011年03月修了]
学位	修士(教育学)[広島大学] 博士(学術)[広島大学]
受賞歴	茨城大学 学長表彰(推奨授業)(2014)
所属学会	日本産業技術教育学会 日本教科教育学会 日本科学教育学会 日本教育工学会 電気学会
専門分野	木材加工教育, 教科教育学
教育研究概要	
	(キーワード)中学校技術科,木材加工,ものづくり教育,技術教育,教育システム
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ(教育学部)/主題別ゼミナール,情報リテラシー (専門科目)技術科指導法(木材加工実習)/木材加工の基礎技術,技術科教科 論,基礎木材加工/木材加工概論,木材加工演習,木材加工の応用技術,木材加 工学,情報教育入門,教職実践演習,卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)技術と生活総合研究,木材加工学特論,木材加工学演習,技術科 授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書·論文等
- 1. [研究論文(国際会議プロシーディングス)共著【査読あり】]Katsuyama, S., Usuzaka, T. & Shoji,
- H."Frontal Cortex Activation Measured by Near-Infrared Spectroscopy while Cutting Wood According to Different Teaching Methods", Proceedings of Society for Information Technology & Teacher Education International Conference2018, 1576-1581 (2018 年 03 月)
- 2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]保坂和樹, 臼坂高司「クラスター分析と自己組織化マップを用いた技術科教科書の比較研究」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, Vol.66, 237-248 (2017年)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [その他・国際会議(共同)] Katsuyama, S., Usuzaka, T. & Shoji, H. "Frontal Cortex Activation Measured by Near-Infrared Spectroscopy while Cutting Wood According to Different Teaching Methods" Society for Information Technology & Teacher Education International Conference, () [2018]

年03月]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 電気学会,制御工学・制御技術教育に関する調査専門委員会(2015 年 10 月 1 日~2017 年 9 月 30 日)
- 地域協力活動
- 1. 平成 29 年度 いばらきものづくり教育フェア 木工チャレンジコンテスト 審査員(2017 年 08 月 9 日)
- 2. 平成29年いばらきものづくり教育フェア「児童・生徒作品コンクール」審査委員(2017年11月9日)
- 3. 第 18 回全国中学生創造ものづくり教育フェア 木工チャレンジコンテスト アイデア部門】審査委員 (2017 年 12 月 3 日)

海外出張・海外研修・内地研修など

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費] 若手研究(B)(代表)「ものづくり学習における神経教育学的アプローチを取り入れたカリキュラム開発」,234 万円 (2015 年 04 月~2018 年 03 月)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 技術教育教室

氏名 堤 一郎

教員履歴など

現 職	特任教授
学歴・職歴	
学位	
受賞歴	日本機械学会創立 120 周年記念事業功労者表彰(新企画·事業)(機械遺産委員会)(2017) 第 43 回(2017 年度)交通図書賞(2017) 日本技術史教育学会創立 20 周年記念特別表彰(2016) 「新幹線 50 年史」刊行感謝状(2015)
所属学会	日本交通協会 日本機械学会 日本技術史教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	(キーワード)技術教育、機械工学、教材・教具開発、技術史教育、産業技術史、産業遺産
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ(教育学部)/主題別ゼミナール,技術と社会 (専門科目)技術科指導法(機械実習)/機械の基礎技術,機械工学演習,ものづく り体験,製図 I,機械工学,機械技術概論,家庭電気・機械,卒業研究(教育:4単位),機械の応用技術(1単位) (大学院科目)機械工学特論,技術と生活総合研究,技術科授業設計,機械工学 演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- 1. [単行本(学術書)・共著] 堤 一郎, 松岡茂樹, 岩見健太郎, 大久保英敏, 福澤清和(日本機械学会「機械遺産」小委員会)「機械遺産 2007-2017-機械遺産でたどる機械技術史ー(日本機械学会創立 120 周年記念誌)」, (一社)日本機械学会, 01-209(2017 年 11 月 17 日)
- 2. [単行本(一般書)・共著] 石田正治, 山田俊明, 池森 寛, 大島一朗, 緒方正則, 菅 和彦, 堤 一郎「図説 鉄道の博物誌-ものづくり技術遺産(鉄道の革新)-」, (株)秀和システム, 24-30(2017 年 04 月 10 日)
- 3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]堤 一郎, 安田健一, 櫻井洸弥「空気圧式自 走車モデルの設計・製作とエネルギー変換技術教育での応用」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 841-851(2018 年 03 月 31 日)

- 4. [(MISC)総説・解説(学術雑誌)共著【査読あり】【依頼/招待】]堤 一郎, 松岡茂樹, 岩見健太郎, 大久保英敏、福澤清和(日本機械学会「機械遺産」小委員会)「日本機械学会創立 120 周年記念事業の記録」, 日本機械学会誌, 121, 1192, 56-56(2018 年 03 月 05 日)
- 5. [(MISC)総説・解説(学術雑誌)単著【査読あり】【依頼/招待】]堤 一郎「3. 機械遺産, 創立 120 周年記念「日本機械学会最近 10 年のあゆみ」(2007-2016)第2部 最近 10 年のトピックス」, 日本機械学会誌, 1-6(2017 年 11 月 16 日)
- 6. [研究論文(国際会議プロシーディングス)共著【査読あり】]堤 一郎,城市孝志,和田昇司,小川千春「島根県に現存する鉄道遺産の産業技術史的意義」,Proceedings of the ICMDHMT-2017, 27-32(2017年08月27日)
- 7. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】【依頼/招待】]堤 一郎「文化財としての鉄道車両がもつ 近現代史的意義」,月刊文化財,644,8-12(2017年05月01日)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 日本機械学会,学会創立 120 周年記念事業委員会機械遺産小委員会委員長 (2015 年 10 月~ 2017 年 11 月)
- 講演会・シンポジウム
- 1. 「「ナデ 6141 号電車の重要文化財指定」記念講演会(国内)」,東日本著客鉄道・東日本鉄道文化 財団・鉄道博物館(埼玉県さいたま市) [基調講演] (2017 年 10 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

中国 北京 北京航空航天大学[研究発表のため](2017年8月:2日間)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 家政教育教室

氏名 木村 美智子

教員履歴など

現 職	教 授
	お茶の水女子大学 家政学部 被服学科[1981年03月卒業]
	お茶の水女子大学大学院 家政学研究科 被服学[1983年03月修了]
	お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科 人間環境学[1989年03月修了]
	お茶の水女子大学家政学部被服学科・文部技官(1983年4月~1984年3月)
	放送大学•非常勤講師(1987年8月~1988年3月)
	桜の聖母短期大学・非常勤講師(1988年4月~1989年3月)
	桜の聖母短期大学・講師(1989年4月~1993年3月)
学歴・職歴	太田看護専門学校・非常勤講師(1990年4月~)
	桜の聖母短期大学・助教授(1993年4月~1999年3月)
	お茶の水女子大学生活科学部・非常勤講師(1995年10月~1999年3月)
	東北文化学園大学科学技術学部・講師(1999年4月~2004年3月)
	東北文化学園大学·助教授(2004年4月~2009年3月)
	茨城大学教育学部·准教授(2009 年 4 月~2012 年 3 月)
	お茶の水女子大学生活科学部・非常勤講師(2010年10月~)
	茨城大学教育学部・教授(2012年4月~)
学位	学術博士[お茶の水女子大学]
	日本環境共生学会発表論文賞(2006)
受賞歴	お茶の水女子大学大学院人間文化研究科奨学金(1995)
	お茶の水女子大学家政学部被服学奨学金(1989)
W. A	日本繊維製品消費科学会 日本家庭科教育学会 日本環境共生学会 日本油化
所属学会	学会 繊維学会 日本家政学会
専門分野	家政·生活学一般 衣·住生活学 科学教育
	(教員からのメッセージ) 私たちの身体を取り巻き、最も身近な環境を形成している
	「衣服」。長寿社会・循環型社会の中にあって、健康・快適性・環境共生をキーワー
	ドにした衣生活の実現が求められています。このような視点に立ち、環境負荷の少
	ない、環境と共生する衣生活のあり方や教育について研究しています。
教育研究概要	環境に配慮したライフスタイルを構築するための研究を展開しています。その1つは
	環境負荷を低減する洗濯方式に関する研究、2つ目は天然資源を有効に活用する
	染色方法に関する研究、3つ目に環境教育の視点に立った家庭科教育の研究を
	進めています。

	(キーワード)洗浄科学,被服学,生活環境学,環境教育
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ(教育学部), 環境と人間/自然科学の概観
	(専門科目)初等家庭科内容研究,アパレル科学,被服構成学基礎,衣生活論,
	被服学概論,被服環境学,被服学演習(1 単位),卒業研究(教育:4 単位)
	(大学院科目)被服学特論,初等生活科学総合研究,特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書·論文等

- 1. [単行本(学術書)・分担執筆]杉山久仁子ほか10名「中学校 新学習指導要領の展開」,明治図書,(2017年12月)
- 2. [単行本(学術書)・分担執筆]古川稔・杉山久仁子編著「平成29年度改訂 中学校教育課程実践講座 技術・家庭」, ぎょうせい, (2017年12月15日)
- 3. [単行本(学術書)・分担執筆]長澤由喜子・木村美智子・鈴木真由子・田中宏子・永田晴子・中村 恵子・横山真貴子「早わかり&実践 新学習指導要領解説 中学校技術・家庭 家庭分野」, 開隆堂, (2017年10月10日)
- 4. [単行本(学術書)・分担執筆]長澤由喜子・木村美智子・鈴木真由子・永田晴子・中村恵子「早わかり&実践 新学習指導要領解説 小学校家庭」、開隆堂、(2017年10月10日)
- 5. [研究論文(大学, 研究機関紀要)]佐藤 裕紀子・木村 美智子・石島 恵美子・齋藤 芳徳「小学 校新学習指導要領家庭科における記述内容の特徴と指導上の課題」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 349-361 (2018 年 03 月 31 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

- 1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 小林祥子・木村美智子・「洗濯への理解を深める教材の開発と 有効性について」第 49 回洗浄に関するシンポジウム(東京)[2017 年 10 月 26 日]
- 2. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・国内会議(単独)] 木村 美智子「家庭科教育の現状と課題」平成29年度家庭科授業づくり研修講座()[2017年08月21日]
- 3. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・国内会議(単独)] 木村 美智子「消費者は学校で何を学んでくるのか~洗濯に関する学習~」油化学会洗浄・洗剤部会オープンセミナー(東京) [2017 年 07 月 10 日]
- 4. [ポスター発表・国内会議(共同)] 木村美智子・小林祥子「大学生の洗濯行動と被服教育の課題」 日本繊維製品消費科学会 2017 年度年次大会(Kyoto)「2017 年 06 月 24 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業·兼職
- 1. [非常勤講師] 常磐短期大学・(2016年04月~)
- 2. [非常勤講師] お茶の水女子大学・(2010年10月~)
- 3. [非常勤講師] 太田西ノ内病院附属看護学校・(1990年 04月~)
- 学協会での役職
- 1. 日本環境共生学会, 理事(2007年05月~)
- 2. 日本油化学会, 洗剤·洗浄部会幹事(2007 年 04 月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費]基盤研究(C)(代表)「消費者市民社会の持続可能性を支える環境意識の形成過程に関する研究」, 455 万円 (2017 年 04 月 01 日~2021 年 03 月 31 日)
- 2. [科研費]基盤研究(A)(分担)「ファインバブル水を活用した次世代型繊維製品処理システムの開発」, 2249 万円 (2017 年 04 月 01 日~2020 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 家政教育教室

氏名 野中 美津枝

教員履歴など

現 職	教 授
学歴•職歴	千葉大学大学院 教育学研究科 家政教育専攻[2001年03月修了] 日本女子大学大学院 人間社会研究科 教育学専攻[2017年03月修了] 山口県立徳佐高等学校・家庭科教諭(1984年4月~1987年3月) 山口県立久賀高等学校・家庭科教諭(1987年4月~1987年8月) 三基商事株式会社お客様相談室・消費生活アドバイザー相談員(1992年4月~1993年3月) 千葉商科大学付属高等学校・家庭科教諭(1994年4月~2008年3月) 九州女子大学家政学部人間生活学科・准教授(2008年4月~2009年3月) 愛媛大学教育学部・講師(2009年4月~2010年11月) 愛媛大学教育学部・准教授(2010年12月~2013年3月) 茨城大学教育学部・准教授(2013年4月~2017年3月) 茨城大学教育学部・教授(2017年4月~)
学位	教育学修士[千葉大学] 博士(教育学)[日本女子大学]
賞歴	なし
所属学会	日本教科教育学会 日本教育工学会 日本消費者教育学会 日本家政学会 日本家庭科教育学会
専門分野	教科教育学 生活科学一般
教育研究概要	(教員からのメッセージ) 家庭科は、生涯を通してよりよく生きるために学びます。 家庭科授業では、自分のこととして捉え、実生活で生かせる生活課題解決能力を 育成しなければなりません。そのための教材開発、学習方法、カリキュラムについて 研究しています。
	(キーワード)家庭科、消費者教育、食教育、授業研究
担当科目	(教養科目)公共社会 (専門科目)中等家庭科教育法Ⅱ,生活科内容研究,中等家庭科教育法Ⅳ,中等 家庭科教育法Ⅰ,初等家庭科教育法研究,中等家庭科教育法Ⅲ,卒業研究(教 育:4 単位),家庭科教育学演習Ⅱ(1 単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
- 1. [【依頼/招待】]野中美津枝「「消費者市民」を育成するための教材開発と授業設計」,中学校技

術·家庭版機関誌「技家 Navi」, 2, 12-13(2017年)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)] 野中美津枝、髙崎昌己「消費者市民を育成する「すごろく」の開発と授業実践」日本消費者教育学会第 37 回全国大会(岡山) [2017 年 10 月 15 日]
- 2. [ポスター発表・国際会議(共同)] "Issues Related to the Current Situation and Study of Cooking in Home Economics Education in Japan" ARAHE Congress 2017()[2017 年 08 月 07 日]
- 3. [ロ頭発表(一般)・(共同)] 野中美津枝, 亀井佑子, 新山みつ枝「家庭科における調理実習の現状と学びからみる課題 | 日本家政学会第69回大会(奈良) 「2017年05月27日]
- 4. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)]「家庭科における調理実習の現状と学びからみる課題」日本家政学会第69回大会(奈良)[2017年05月27日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 日本家庭科教育学会関東地区会,会長(2017年08月~2018年07月)
- 2. 日本家庭科教育学会関東地区会, 副会長(2016年07月~2017年07月)
- 4. 日本教育大学協会全国家庭科部門, 庶務、会計監査(2016 年 04 月~2017 年 03 月)
- 5. 日本教育大学協会全国家庭科部門関東地区会,会長(2016年04月~2017年03月)
- 6. 日本家庭科教育学会, 理事(2015年06月~)
- 8. 日本家庭科教育学会,日本家庭科教育学会誌編集委員(2014年07月~)
- 講演会・シンポジウム
- 1.「第30回日本教育大学協会全国家庭科部門大会(国内)」,日本教育大学協会全国家庭科部門 (愛媛)[司会・議長・コンビーナ・コーディネータ](2017年08月)

海外出張・海外研修・内地研修など

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費] 基盤研究(C)一般(代表)「生活課題解決能力を育成する授業デザインと授業評価」,160万円 (2014年04月~2018年03月)
- 共同研究•受託研究
- 1. 「国内共同研究] 「家庭科未来プロジェクト(分担)」, 未詳(2015 年 12 月~2018 年 07 月)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 家政教育教室

氏名 数井 みゆき

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	ノーザンミシガン大学 文理学部 心理(アメリカ)[1985 年卒業] ユタ大学院 心理学科 Developmental Psychology(アメリカ)[1988 年修了] メリーランド大学院 Dept. of Psychology, Graduate Program 応用発達心理学(アメリカ)[1991 年修了] 日本学術振興会 特別研究員(お茶の水女子大学)(1994 年 4 月~1996 年 3 月) 茨城大学 教育学部 家政教育講座 助教授(1996 年 4 月~2005 年) 茨城大学教育学部家政教育教室 教授(2006 年 4 月~)
学位	心理学博士 (Ph.D. in Psychology)[メリーランド大学(アメリカ合衆国)] 心理学修士 (M.S. in Psychology)[ユタ大学(アメリカ合衆国)]
受賞歴	日本発達心理学会論文賞(1998)
所属学会	日本発達心理学会 児童発達研究学会(society of Research in child Development) 日本教育心理学会 アメリカ心理学会(American Psychological Association) 日本 心理臨床学会 日本保育学会 日本心理学会
専門分野	教育心理学
教育研究概要	(研究経歴) 博士論文では、幼児のアタッチメントの状態を、夫婦関係、社会的サポート、ストレスなどの心理社会的変数との関係で検討した。その後、成人愛着面接(Adult Attachment Interview)を行う資格を取り、アタッチメントの日本人母子での世代間伝達の状態について検証した。そのとき、心理社会的な変数も検討したが、母親の現在のアタッチメント表象の個人差が、子どものアタッチメント安定性得点を決めるもっとも重要な要因として見出された。その後、日本でよく言われる「密室育児」についての実態についての研究にも従事した。説明変数として、「密室育児」という言葉が当たり前のように使われるが、その本質は何なのかを定義したものはなかったためである。同じ「密室育児」といっても、ある母親は30分子どもといることがそのように思え、他の母親は1日子どもと二人だけでいる状態をそのように感じていた。過去数年は、被虐待児にかかわる研究を行っていた。1つには、アタッチメント障害とトラウマ反応について、保育士や看護師など、現場でかかわる人たちが使えるわかりやすい尺度を作成することが目的であった。その後、この作成された尺度をもとに、妥当性の検討を行った。現在は男性(父親)のアタッチメントに関して、研究を始めている。

	状、家族関係などについて、保育園などでの実習も含めて、教えている。 専門は
	領域としては発達心理学で、研究として乳幼児のアタッチメントの発達、さらに、アタ
	ッチメントの生涯発達として、養育者側についても分析している。現在は、アタッチメ
	ントの世代間関連について、男性(父親)の実態の調査を進めている。
	(キーワード)アタッチメント(の世代間連鎖)、男性の養育、アタッチメントと喪失
	(専門科目)親子関係学,中等家庭科教育法Ⅱ,保育学概論,卒業研究(教育:4
担当科目	単位), 学校における子ども虐待の予防と防止, 保育学演習(1 単位)
	(大学院科目)児童学特論,児童学演習,特別課題研究
	・ ・文・著書・翻訳など
研究業績(2) 学	
研究業績(3)芸	術・体育系の活動
社会的活動、地	- 1域貢献など
○ 兼業・兼職	
1. [非常勤講師]	慶応義塾大学大学院 社会学研究科・(2017年09月~2018年03月)
海外出張・海外研修・内地研修など	
科学研究費補助	

学校教育教員養成課程 教科教育コース 家政教育教室

氏名 西川 陽子

教員履歴など

教貝履座なる	
現 職	教 授
学歴・職歴	お茶の水女子大学 家政学部 食物学科[1993 年卒業] お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科 人間環境学専攻 (食物科学)[1998 年修了] お茶の水女子大学大学院人間環境学(1998 年 4 月~2001 年 3 月) ケースウェスタンリサーフ・大学, Dr. Monnier 研究室(アメリカ合衆国,オハイオ州, クリーフ・ラント・) (2001 年 4 月~2002 年 3 月) 茨城大学 教育学部 家政教育(2002 年 4 月~2007 年 3 月) 茨城大学 教育学部 家政教育(2007 年 4 月~2018 年 3 月) 茨城大学 教育学部 家政教育(2018 年 4 月~)
学位	学術博士[お茶の水女子大学]
受賞歴	Award for Excellence to Authors Publishing in Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry in 2000 (2001)
所属学会	(社)日本ビタミン学会(社)日本家政学会(社)日本調理科学会 日本食品化学学会
専門分野	食品科学 科学教育 食生活学
教育研究概要	(研究経歴) 学位論文の研究テーマとなったアスコルビン酸(ビタミン C) が関与する様々な反応,アスコルビン酸の酸化分解経路の解明やアスコルビン酸が関与する生体内メイラード反応などをメインテーマとし,現在も研究活動を続けている。現在はこれらの研究に加えて,茨城県の食教育のあり方や高齢者に対する食教育の可能性など食教育関連の研究も手がけている。 ・アスコルビン酸のin vitro における分解反応機構の解明・生体内メイラード反応におけるアスコルビン酸の作用機序の解明・糖尿病時におけるアスコルビン酸の代謝について・食習慣が及ぼす健康への影響と食教育のあり方 (キーワード)アスコルビン酸,食品化学,食教育
担当科目	(教養科目)環境と人間 (専門科目)食物学概論,初等家庭科内容研究,保育内容の研究(健康),食生活 論,食生活と健康(健康コース)/食生活と健康【全教科】,初等家庭科内容研究,栄 養学《生理学(運生含)》/栄養学/栄養学《食物学》/栄養学《生理学(運生含)》/栄 養学《栄養学》,食品衛生管理学,卒業研究(教育:4単位),食物学演習(1単位) (大学院科目)食物学特論,食物学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
- 1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]西川陽子・向井彩「家庭科食分野における米粉を用いたサステナビリティ教育」, 茨城大学教育学部紀要 教育科学, 67, 363-372(2018 年 01 月 30 日)
- 2. [(MISC)総説・解説(その他)単著]西川陽子「乳幼児期の栄養と健康」,保育内容研究と指導法の 実践的課題,19-22(2018 年 01 月 31 日)
- 3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)]矢嶋敬紘, 額賀沙弥香, 門馬綾, 曽田陽子, 沼田世里; 深谷佳子、中井川香梨, 西川陽子「茨大なんでも相談室及びバリアフリー推進室の利用状況と今後の課題」, 茨城大学全学教育機構論集 大学教育研究, 1, 141-156(2018 年 03 月 01 日)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. [非常勤講師] 茨城北西看護専門学校・講師(2010年04月~)
- 2. [社会活動] 地域活性化雇用創造プロジェクト協議会 委員(2017年04月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

○ 共同研究・受託研究

学校教育教員養成課程 教科教育コース 家政教育教室

氏名 石島 恵美子

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	東京学芸大学大学院連合学校 学校教育研究科
学位	修士
受賞歴	なし
所属学会	日本家庭科教育学会 日本調理科学会 日本教授学習心理学会 JAPTL 日本消費者教育学会
専門分野	家政·生活学一般 食生活学 教科教育学
教育研究概要	(教員からのメッセージ) 家庭科教育はすべての学びを生活と結びつけ、生きた学びとすることができます。総合的な応用学問である家庭科教育の可能性を語ることのできる教員を目指して、一緒に学びましょう。(研究経歴) 高校生が社会の中で有機的に結びついて家庭生活を送る資質を持つことができることを目標に研究を進めている。高校生の社会参画意識構造を明らかにし、それを基礎資料として高校家庭科の授業を再構築を行っている。高校生の社会参画意識を高める活動を主軸に研究しています。家庭科の授業内での教材や指導法の研究のほか、課外活動の中での可能性を提案しています。茨城県の郷土料理の研究調査を行い、地域活性システムの構築を研究しています。現在、常総市と連携をし、家庭内の食品ロス削減の調査を行っています。食品ロス削減行動を通した社会参画教育を行っています。
担当科目	(専門科目)中等家庭科教育法Ⅱ,初等家庭科内容研究,初等家庭科内容研究,初等家庭科教育法研究,卒業研究(教育:4 単位),調理学基礎[1 単位],家庭科教育学演習Ⅰ(1 単位) (大学院科目)初等生活科学総合研究,国内実践教育演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(一般書)・共著]香西みどり,石島恵美子,他76名「伝え継ぐ日本の家庭料理「すし」,農山漁村文化協会,(2017年11月)

- 2. [単行本(一般書)・共著]香西かおり、石島恵美子、他 76 名「伝え継ぐ日本の家庭料理「肉・豆腐・ 麩のおかず」」, 農山漁村文化協会, (2018 年 03 月 01 日)
- 3. [単行本(学術書)・共著]「生活科内容と指導に関する実践的課題」, 茨城大学教育学部生活科教育実践研究会, (2017 年 12 月)
- 4. [単行本(一般書)・]香西みどり,石島恵美子,他 76 名「伝え継ぐ日本の家庭料理「野菜のおかず」, 農山漁村文化協会,(2018 年 01 月 29 日)
- 5. [共著【査読あり】] 石島恵美子 橋長真紀子「高校家庭科における消費者市民教育の授業研究 社会参画を視点として-」, 日本消費者教育学会学会誌, 36, 193-202(2017 年 10 月)
- 6. [単著]石島 恵美子, ISHIJIMA Emiko「大学生の食に関する消費者市民行動の関連要因: 児童期における調理頻度と調理実習に着目して」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 67, 335-347 (2018年01月30日)
- 7. [共著]佐藤 裕紀子,木村 美智子,石島 恵美子,齋藤 芳徳,SATO Yukiko,KIMURA Michiko,ISHIJIMA Emiko,SAITO Yoshinori「小学校新学習指導要領家庭科における記述内容の特徴と指導上の課題」,茨城大学教育学部紀要.教育科学,67,349-361(2018年01月30日)
- 8.[共著【査読有り】] 石島恵美子, 安島清武, 田口眞一, 櫻井輔, 田村誠, 阿部信一郎「茨城町の郷 土料理"つと豆腐"に対する消費者意識」, 日本調理科学会, 51, 1, 37-41, (2018 年 1 月)
- 9. [単著] 石島 恵美子「家庭科教員養成系学部における調理実習のシラバス分析〜消費者市民教育との関連で〜」 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 66, 217-270 (2017 年)
- 10. [共著【査読あり】]野中美津枝, 亀井佑子, 新山みつ枝, 荒井きよみ, 荒井智子, 石島恵美子, 真田知恵子, 高橋礼子, 吉野淳子「東京都立高等学校家庭科における判別学習(少人数編成授業)の経緯と実態調査」日本家庭科教育学会誌, 61, 1, 12-22, (2018 年 5 月)
- 11.[単著【査読あり】] 石島恵美子「大人数授業における模擬授業を取り入れた指導法の検討―もご授業実施に全員が関わることによる教育効果に注目して―」教授学習心理学会,14,1,24-39,(2018年6月)
- 12. [共著【査読あり】]橋長真紀子, 石島恵美子「高大比較の経済的幸福度と金融知識の関係」日本消費者教育学会, 37, 123-135(2017 年 9 月)

研究業績(2)学会発表など

学会発表等

- 1. [ポスター発表] 渡辺 敦子, 荒田 玲子, 石島 恵美子, 飯村 裕子「茨城県の調査地域における おやつの特徴 | 大会研究発表要旨集() [2017 年 08 月 31 日]
- 2. [ロ頭発表(一般)・国内会議(単独)]「高校生の社会参画意識向上を目指した講演会の手立ての検討~講演会で話を聞くことが好きではない生徒の学びに注目して~」日本教授学習心理学会第12回年会(山梨大学)[2017年07月01日]
- 3. [ポスター発表] 渡辺 敦子, 荒田 玲子, 石島 恵美子, 飯村 裕子「茨城県の調査地域における主菜の特徴」大会研究発表要旨集「2018 年 08 月]

4. [ロ頭発表(一般)・国内会議(単独)]「調理実習で育む消費者教育~食品ロスに注目して~」日本消費者教育学会, 大阪教育大学(2018年10月14日)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. [出前授業] 葵陵高等学校·講師(2017 年 09 月~)
- 2. [公開講座] 茨城大学附属幼稚園•講師(2017年06月~)
- 3. 「兼業」 竜ケ崎第二高等学校・学力向上委員(2017年 04月~2019年 03月)
- 4. [公開講座] 鎌ケ谷市北部公民館・講師(2017年02月~)
- 5. [兼業] 文部科学省・文部科学省 学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業等協力者(高校 家庭)(2017年01月~)
- 6. 「公開講座」茨城県立茨城東高等学校・講師(2016年11月~)
- 7. 「その他」全国家庭クラブ連盟全国研究発表会・来賓(2016年08月~)
- 8. [兼業] 茨城大学・「おとなの食育」講師(2016年06月~)
- 9. [兼業] 茨城県竜ケ崎第二高等学校・いばらき高等学校学力向上推進総合事業に関わる学力向 上運営指導委員(2016 年 06 月~)
- 10. [兼業] 公益社団法人茨城県青少年育成協会・若者チャレンジ社会参画審査員(2016 年 01 月 ~)
- 11. [兼業] 文部科学省·学習指導要領実施状況調査 分析委員(2016年01月~)
- 12. [兼業] 全国高等学校家庭クラブ連盟・全国高校生ホームプロジェクトコンクール審査員(2015年11月~)
- 13. [兼業] 茨城町・茨城町まち・ひと・しごと創生有識者(2015年04月~)
- 14. [公開講座] 茨城大学附属図書館•講師(2015 年 01 月~)
- 15. 「その他] 茨城大学附属小学校・指導助言者(2014年01月~)
- 学協会での役職
- 1. 茨城県教育委員会, 学力向上委員(2017年04月~2019年03月)
- 3. 全国高等学校家庭クラブ連盟、ホームプロジェクトコンクール審査員(2016 年 11 月~)
- 4. 茨城町, まち・ひと・しごと創生有識者会議(2015年04月~)
- 講演会・シンポジウム
- 1. 「茨城県立茨城東高等学校「道徳」および「道徳プラス」(国内)」, 「招待講演](2017年11月)
- 2. 「水戸葵陵高等学校 I からみつめよ(国内)」, 水戸葵陵高等学校(水戸葵陵高等学校)[基調講演,招待講演](2017年10月)
- 3.ヨーグルトサミット(ビジネスサミット)「次世代社会参画交流会」企画運営「招待講演](2018年10月

20 日)

- 4. 「茨城県立茨城東高等学校「道徳」および「道徳プラス」(国内)」, [招待講演](2018年11月)
- 5. 「水戸葵陵高等学校 I からみつめよ(国内)」, 水戸葵陵高等学校(水戸葵陵高等学校)[基調講演,招待講演](2018 年 10 月)
- 地域協力活動
- 1. [学外審議会・委員会等]「まち・ひと・しごと創生有識者会議」(2015 年 07 月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費] (代表) 「高校家庭科における社会参画教育に関する教師教育プログラムの構築」, 455 万円 (2016 年 04 月 01 日~2019 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 家政教育教室

氏名 佐藤 裕紀子

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	お茶の水女子大学 家政 家庭経営[1991年03月卒業] お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科 人間発達学[2004年03月単位取得 満期退学]
学位	博士(学術)[お茶の水女子大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本家政学会 日本家政学会家族関係学部会 日本家政学会生活経営学部会 日本家族社会学会 日本家庭科教育学会 大学家庭科教育研究会 日本家政学会家政学原論部会
専門分野	家政•生活学一般
教育研究概要	(キーワード)家族関係、家政教育、家庭科教育、ライフスタイル、生活時間
担当科目	(専門科目)家族とジェンダー,家庭経営学概論,初等家庭科内容研究,家事労働論,現代家族論,卒業研究(教育:4単位),家庭経営学演習(1単位) (大学院科目)初等生活科学総合研究,家族関係学特論,家族関係学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書·論文等

- 1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]佐藤裕紀子、木村美智子、石島恵美子、齋藤芳徳「小学校新学習指導要領家庭科における記述内容の特徴と指導上の課題」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 349-361(2018 年 01 月 31 日)
- 2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]佐藤裕紀子「大学生の子育て関与意識と家庭科教育の課題」, 茨城大学教育実践研究, 36, 147-157(2017 年 11 月 30 日)
- 3. [(MISC)書評,文献紹介等単著【依賴/招待】]佐藤裕紀子「書評『常見育男遺稿集』」,家政学原論研究,51,60-60(2017年08月)
- 4. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]西原直枝・井元りえ・妹尾理子・志村結美・佐藤裕紀子・ 大矢英世・加賀恵子・佐藤典子・楢府暢子「家庭科における ESD の構成概念および学習内容の明確 化」,日本家庭科教育学会誌,60,2,76-86(2017年08月01日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・国内会議(単独)] 佐藤裕紀子「家政学における生活主体としての主婦―その歴史的変遷と課題―」日本家政学会家政学原論部会 2017 年夏期セミナ

- 一(東京)[2017年08月20日]
- 2. [ポスター発表・国際会議(単独)] Yukiko SATO "Realities of working conditions of female teachers in managerial positions indicated a time-use survey" The 19th Asian Regional Association for Home Economics Congress (Tokyo) [2017 年 08 月 08 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 行政機関等での委員就任
- 1. 「潮来市男女共同参画基本計画の見直しに伴う審議会等会議」[アドバイザー]
- 2. 「結城市男女共同参画基本計画推進委員会」「特別委員]
- 3. 「水戸市子ども・子育て会議」水戸市長[委員]
- 学協会での役職
- 1. 日本家政学会家族関係学部会,会誌編集委員(2016年10月~2020年10月)
- 2. 大学家庭科教育研究会, 庶務担当委員(2016年10月~2018年09月)
- 3. 日本家政学会生活経営学部会、常任委員(2016年08月~2017年09月)
- 4. 日本家政学会生活経営学部会関東地区会,委員(2016年08月~2017年07月)
- 5. 日本家庭科教育学会, 学会誌編集委員(2015年07月~2019年07月)
- 地域協力活動
- 1. 水戸市[学外審議会・委員会等]「水戸市子ども・子育て会議 委員」『水戸市子ども・子育て会議』 (2014年 04月~現在)

海外出張・海外研修・内地研修など

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費] (分担) 「消費者市民社会の持続可能性を支える環境意識の形成過程に関する研究」, 455 万円 (2017 年 04 月 01 日~2021 年 03 月 31 日)
- 2. [科研費] (代表) 「教育資源の活用を志向した女性教員の就業継続とキャリア形成の支援方策に関する研究」, 286 万円 (2015 年 04 月 01 日~2018 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 英語教育教室

氏名 猪井 新一

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	東北大学大学院 情報科学研究科 人間社会情報科学(後期博士課程)[2008年 09月修了] 福島大学大学院 教育学研究科 教科教育(英語)専攻修士課程[1991年03月修
	了] 千葉県及び福島県公立高等学校教諭(1979 年 4 月~1993 年 3 月) 奥羽大学文学部英語英文学科・専任講師(1993 年 4 月~2001 年 9 月)
	北海道教育大学教育学部旭川校・助教授(2001 年 10 月~2004 年 3 月) 北海道教育大学教育学部旭川校・教授(2004 年 4 月~2005 年 3 月) 会津大学短期大学部・教授(2005 年 4 月~2007 年 3 月) 茨城大学教育学部・教授(2007 年 4 月~)
学位	博士(学術)[東北大学大学院] 教育学修士[福島大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	東北英語教育学会 全国英語教育学会 全国語学教育学会(JALT) 大学英語教育学会(JACET) 小学校英語教育学会 関東甲信越英語教育学会
専門分野	外国語教育
教育研究概要	(キーワード)談話分析,学習方略,コミュニケーション方略 小学校英語教育 外国語教育
担当科目	(教養科目)総合英語(レベル3) (専門科目)英語科教育法研究 I, 英語科教科論 I/英語科教育法 I (教育学部), 英語科内容研究, 小学校英語 I B/小学校英語 I A, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)英語科授業設計, 英語教育学特論I, 英語教育学演習 I, 特別課 題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 単著] INOI, Shin'ichi" Determining a Relationship Between HRT and Student Attitudes Toward Primary School English Lessons in Japan", , 67, 373-384(2018年01月30日)

- 2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]猪井 新一「小学校英語における読み書き導入および中学校英語科との連結」, 茨城大学教育実践研究, 36, 159-171(2017 年 11 月 30 日)
- 3. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】] SAITO, Hidetoshi & INOI, Shin'ichi"Junior and Senior High School EFL Teachers' Use of Formative Assessment: A Mixed-Methods Study", Language Assessment Quarterly, 14, 3, 213-233(2017 年 10 月 18 日)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 「望ましい小学校英語授業とはどのような特徴をもつのか」 言語教育エキスポ2018(早稲田大学)[2018 年 03 月 04 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 小学校英語教育学会, JES 查読委員(2013 年 04 月~)
- 2. JACET 教育問題研究会 会誌「Language Teacher Education」査読委員(2015~)

海外出張・海外研修・内地研修など

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費]基盤研究(C)(代表)「小学校児童の好む英語の授業と嫌いな英語授業の質的分析」, 182 万円 (2016 年 04 月 01 日~)
- 2. [科研費]基盤研究(c)(分担)「Assessing Foreign Language Activity Assistants' perspectives on primary Foreign Language Activities」, 338 万円(2016 年 04 月 01 日~2020 年 03 月 31 日)
- 共同研究・受託研究
- 1. [出資金による受託研究]「小学校英語教科化に向けた専門性向上のための講習の開発・実施(代表)」, 未詳(2016 年 06 月~2019 年 03 月)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 英語教育教室 氏名 君塚 淳一

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	中国短期大学英語英文科専任講師(1993年4月~1997年3月) 中国短期大学英語英文科助教授(1997年4月~1999年9月)
	茨城大学教育学部助教授(1999年10月~2006年3月)
	茨城大学教育学部教授(2006年4月~)
学位	
必染 居	推奨授業(茨城大学)(2004)
受賞歴	第1回日本マラマッド協会賞 学術部門(1998)
-c = v.c A	英文学会 黒人研究の会 英米文化学会 日本マラマッド協会 アメリカ学会 アメ
所属学会	リカ文学会 ポップカルチャー学会 多民族研究学会
専門分野	アメリカ文学・アメリカ文化
教育研究概要	アメリカ文学(ユダヤ系、アフリカ系作家)、アメリカ文化(1920年代文化、1960年代文化、アメリカ映画、大衆文化)、人種問題など。 ユダヤ系作家では、現代ユダヤ系小説家 Bernard Malamud や Paul Auster などを中心に、19世紀末から20世紀初頭の移民文学としての Abraham Cahan, Michael Gold などを同化の問題やユダヤ人としてのアイデンティティの問題、また二次大戦後はホロコーストの問題などを作家がどう扱い描いているのかをテーマに研究している。一方、アフリカ系作家ではWASPが中心とされる白人アメリカでいかに人種問題と向き合うかをRichard Wright の作品を通して、また黒人で女性という立場、アフリカをどうアメリカ黒人が自身の中で認識するかを Alice Walker の作品を通して研究している。1920年代ではハリウッド映画産業の勃興とユダヤ系社会の関係、ハーレムルネッサンスのアフリカ系アメリカ人に対し、黒人民族主義と分離主義を標榜したマーカス・ガーヴェイを比較し研究している。1960年代論は、対抗文化の中で起きた様々な若者文化を比較研究、人種問題からニューシネマ、ロック、など幅広く文化論を展開している。また映画では文学と同様な研究方法を用いての映画分析を研究し、論文、著書のほか映画評なども執筆している。
	(キーワード)アメリカ文学・文化、人種問題、1920年代60年代論、映画分析
担当科目	(教養科目)総合英語(学術), コミュニケーションと芸術文化, コミュニケーションと芸術文化 芸術文化
	(専門科目)アメリカ社会論,英米文学演習 III,英米文学概論 II/アメリカ文学史,英 米文学・文化から教える英語テキスト,映像作品と時代そして文化的背景,英語コミ

ュニケーション VIII, 卒業研究(教育:4 単位), 言語と文化の諸相, 異文化間コミュニケーション, 英米文学演習Ⅳ, 英米文学特講Ⅲ

(大学院科目)英米文学特論 I, 地域教育資源フィールドスタディ, 小学校英語演習, 英米文学演習 I, 言語と文化総合研究, 授業展開ケーススタディ, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書·論文等

1.【ミュージカルプログラムの執筆】約3000字の内容

「マディソン郡の橋」(2018年3月)東宝演劇「1960年代が舞台、イタリア系戦争花嫁」

「ブロードウェイと銃弾」(2018年2月)東宝演劇「1920年代背景文化」

「グレート・ギャッビー」(2017年5月)東宝演劇「1920年代背景文化とフィッツジェラルド夫妻」

「お気に召すまま」(2017年1月)東宝演劇「舞台となる1960年代の文化とヒッピー」

「ドッグファイト」(2017年12月)東宝演劇「1960年代とヴァとナム戦争とヒッピー」

「ジャージーボーイズ」(2016年7月)東宝演劇「1960年代と音楽」

「もっと泣いてよフラッパー」(2014年2月)東宝演劇「「1920年代背景文化」

- 2.【研究論文】アメリカ文学・英米文学概論における文学史・文化研究・アメリカ研究を導入した講義」 『教職実践研究』常磐大学教職センターpp53-60。
- 3.【研究論文】「異文化と自文化を考えるシンポジウム:異文化と自文化のせめぎあい」『異文化研究』 茨城大学異文化研究の会・(2017 年 3 月)
- 4.【研究論文】「MESA シンポジウム特集:自伝・日記・体験記「Booker T Washington 再評価に見る教育・産業・人種一闘うより相手の懐に入り込み、油断させておずれは天下を取れ」『多民族研究』2016年3月
- 2. [単行本(学術書)・共著] 君塚淳一「「1920年代ハーレムルネッサンスのアフリカ系アメリカ人作家たちと出版事情」『読者ネットワークの拡大と文学環境の変化』」,音羽書房鶴見書店,pp281-289 (2017年05月31日)
- 3.『衣装が語るアメリカ文学』共著 pp36-47(2017年03月31日)金星堂
- 4. 『ジョン・ブラウンの屍を超えて』pp231-252(2016 年 03 月 25 日)金星堂
- 5.『エスニック研究のフロンティア』pp82-93(2014年93月31日)金星堂
- 6.『バード・イメージ鳥のアメリカ文学』pp59-72(2010年4月30日)金星堂
- 7. 『1960 年代アメリカの群像』pp29-39(2009 年 12 月 20 日)大学教育出版
- 8. 『越境・周縁・ディアスポラ―三つのアメリカ文学』pp132-148(2005 年 4 月 28 日)金星堂
- 9. 『アメリカ 1920 年代の光と影』pp28-41, pp120-135(2004 年 5 月 1 日)金星堂
- 10. 『ホロコーストとユダヤ系文学』pp57-71, pp227-241(2005 年 4 月 1 日)大阪教育図書

研究業績(2)学会発表など

[その他]「ガーヴェイとワシントンにとっての大衆・教育・自立」(英米文化学会 142 回例会発表)2013

年11月9日

「その他」『ホロコーストとトラウマ』シンポジウム(2001年)

[その他]シンポジウム・ロロ頭発表 ►DBPicture Fidelman(/)- DB におけるパロディと入れ替えの仕組み(1999年)

[その他] 風と共に去りぬ(英文テキスト)(1996年)

[その他]地球ってこんなにおもしろい(1994年)

[その他]現代アメリカ文学のアンチ・ドリーマたち(1994年)

[その他]アンチヒーロー・民族性・笑い (シンポジウム)(1993年)

[その他]B.Malamud における生(性)・老い・死-S.Levin から W.Dubin へ(1993 年)

[その他]アンジア・イージアスカ: 『パンをくれる人』論 (口頭発表)(1993年)

[その他]ホロコーストの子供たち(大学英語教材)北星堂出版(1993年)

[その他]ユダヤ系アメリカ文学傑作選 (大学テキスト)(1992年)

「その他]アイデンティティ喪失への危機感-Paul Auster 論(1991年)

「その他]日本文学の中の黒人(口頭発表)(1991年)

[その他]ユダヤ系アメリカ作家選集(大学テキスト)(1990年)

「その他]Bernard Malamud 論-後期作品に見られるペシミズム (口頭発表)(1989 年)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. [非常勤講師]
- 学協会での役職
- 1. 英米文化学会, 理事長(2017年04月~)
- 2. 英米文化学会, 副会長(2015年04月~2017年03月)
- 3. 多民族研究学会, 副会長(2012年04月~)
- 地域協力活動
- 1.茨城県総和南中学講演「異文化理解ってナニ?」(生徒・教員全員と保護者対象)(2018年11月15日)
- 2. 公演ゲスト出演『たかとりじゅんのミュージックカフェ』茨城県民文化センター(2018年3月25日)
- 3. 茨城県立取手第一高校(連携協定あり)(2009年06月~)
- 4. 茨城県立水戸桜の牧高校(連携協定あり)(2007年11月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

1「マーカス・ガーヴェイとハーレム・ルネッサンスの黒人たち」2012-2016 研究代表者君塚淳一本人 2「ジョン・ブラウンの屍を超えて・南北戦争とその時代」基盤研究 C 204-2007 研究だ表松本昇 3「もの・ひと・文化・技術の流動性をふまえた都市の倫理学の構築」萌芽研究 2001-2002 研究代表 木村競

学校教育教員養成課程 教科教育コース 英語教育教室

氏名 小林 英美

教員履歴など

現 職	教 授
	早稲田大学 教育学部 英語英文学科[1990年卒業]
	早稲田大学大学院 教育学研究科 教科教育専攻[2001年修了]
	法政大学付属第一高等学校・非常勤講師(1990年4月~1991年3月)
	国士舘大学・非常勤講師(1993年4月~1995年3月)
	早稲田大学教育学部助手(1994年4月~1996年3月)
	茨城県立医療大学·非常勤講師(1995年4月~2003年3月)
	東邦大学・非常勤講師(1996年4月~1997年3月)
学歴・職歴	日本学術振興会特別研究員(1997年4月~1999年3月)
	学習院大学·非常勤講師(1999 年 4 月~2003 年 3 月)
	東京国際大学·非常勤講師(2000 年 4 月~2003 年 3 月)
	早稲田大学教育学部·非常勤講師(2000 年 4 月~)
	茨城大学教育学部·准教授(2003 年 4 月~2015 年 3 月)
	放送大学•非常勤講師(面接授業)(2014年4月~2015年3月)
	茨城大学教育学部教授(2015年4月~)
	早稲田大学エクステンションセンター・中野校・非常勤講師(2015年4月~)
学位	文学士[早稲田大学] 教育学修士[早稲田大学] 学術博士[早稲田大学]
受賞歴	なし
	イギリス・ロマン派学会 欧米言語文化学会 日本ジョンソン協会 早稲田大学英語
所属学会	英文学会 日本英文学会 イギリス児童文学会 日本イギリス児童文学会 日本カ
	レドニア学会
専門分野	英米·英語圏文学
教育研究概要	(教員からのメッセージ) 研究分野においては、主に18-19世紀英国の文学と文化
	を専門としている。特に当時の読者の文学受容の歴史的実態と文学への影響を、
	予約購読者一覧を利用して明らかにしようしている。教育分野においては、英文学
	特に英詩への関心を、音読の実習や、入門としての童謡・童話の授業、映像・音声
	教材を利用することによって、増幅させようとしている。
	18-19 世紀イギリス文学における読者と作家・詩人の相互影響関係、英詩への関
	心を音読実践と童謡から引き出す。 研究においては、18-19 世紀イギリス文学に
	おける読者と作家・詩人の相互影響関係を、現存するデータを発掘・分析して、実

力を、①音読を実践することで導く。音読は語学教育の重要な基礎の一つであり、音読して初めて英詩の本当の魅力が明らかになるからである。②伝承童謡や有名 児童文学を入門に用いることで関心を持たせ、最終的には文学史的に重要な英詩 へと導く工夫をしいている。また作品に関連する映像・音声教材も利用することによって、学生の理解が深まるようにしている。

(キーワード)イギリス文学、18世紀、19世紀、ロマン主義文学、ワーズワス、キーツ、オースティン、女性詩人、読者層研究、文学作品の18-19世紀英国作曲家による音楽受容、18-19世紀出版事情、予約購読出版、貸本屋、定期刊行物、岡倉覚三(天心)

担当科目

(教養科目)総合英語(プレレベル3), 人間・文化系科目, コミュニケーションと芸術文化, コミュニケーションと芸術文化

(専門科目)英米文学概論 I, 英米文学特講 II, 英米文学特講 I, 英米文学・文化から教える英語テキスト, 英米文学演習 I, 異文化理解/異文化理解実習, 卒業研究(教育:4単位), 言語と文化の諸相, 英米文学演習 II

(大学院科目)英米文学特論 II, 地域教育資源フィールドスタディ, 英米文学演習 II, 言語と文化総合研究, 研究と教育―知の往還をめぐって―, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書·論文等

- 1. [単行本(学術書)・共著]小林英美、中垣恒太郎「読者ネットワークの拡大と文学環境の変化:19世紀以降にみる英米出版事情」,音羽書房鶴見書店,(2017年05月31日)
- 2. [共著] 君塚淳一、小林英美、安原正貴「小学校英語教育における異文化理解教育と文法教育の 実践と課題「シェイクスピア作品を利用した事例の提言」」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 385-397(2018 年 03 月 31 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ロ頭発表(一般)・国内会議(単独)] 小林英美「国際化する文芸批評と読者網―予約購読出版と読書施設の役割」欧米言語文化学会 第 136 回例会(日本大学文理学部 7 号館 3 階英文学研究室) [2018 年 03 月 11 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. [非常勤講師] 早稲田大学エクステンションセンター中野校・非常勤講師, 6(時間/月)(2015 年

04月~)

- 2. [非常勤講師] 早稲田大学教育学部・(2007年04月~)
- 学協会での役職
- 1. 茨城大学教育学部 異文化研究の会,編集委員(2016年04月~)
- 2. イギリス・ロマン派学会, 理事(2014年04月~)
- 3. 欧米言語文化学会, 監査役(2001年04月~)
- 講演会・シンポジウム
- 1. 「イギリス・ロマン派講座・名詩の解釈と鑑賞(国内)」、イギリス・ロマン派学会(日本女子大学)[司
- 会・議長・コンビーナ・コーディネータ] (2017年07月)

海外出張・海外研修・内地研修など

イギリス オックスフォード オックスフォード大学[資料収集のため](2017年9月:7日間)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 英語教育教室 氏名 齋藤 英敏

教員履歴など

准教授
茨城大学 教育学部 中学校教員養成課程英文科[1989年03月卒業]
Colorado State University Department of English Teaching English as a
Foreign/Second Language (Fort Collins, CO, USA) [1994年05月修了]
The Ohio State University Department of Educational Studies, College of Education
Foreign and Second Language Education (Columbus, OH, USA) [2000年06月修
7]
立教大学ランゲージセンター 嘱託講師(英語)(1999年4月~2000年3月)
北星学園大学経済学部 専任講師(2000年4月~2003年3月)
北星学園大学経済学部 助教授(2003年4月~2004年3月)
茨城大学教育学部英語教育講座 助教授(2004年4月~2006年3月)
茨城大学教育学部英語教育教室 准教授(2006年4月~)
Master of Arts (TESOL)[Colorado State University, Department of English,
Teaching English as a Foreign/Second Language Program] PhD[The Ohio State
University, Department of Educational Studies, Foreign and Second Language
Education Program]
なし
全国英語教育学会 National Council on Measurement in Education 全国語学教
育学会 大学英語教育学会 日本言語テスト学会 日英・英語教育学会
外国語評価, テスト 外国語学習、習得 外国語指導 外国語教師教育
外国語教育での評価、テスト、外国語学習
(キーワード)外国語学習の評価、テスト、外国語学習、指導、教師教育
(教養科目)総合英語(レベル4)
(専門科目)英語科教科論 II, 英語コミュニケーション IX/英語コミュニケーションD,
英語コミュニケーション XII, 英語コミュニケーション VII, 英語科教育法研究 II, 英語
科教育法特講, 卒業研究(教育:4 単位)
(大学院科目)英語科授業設計,英語教育学特論 II,英語教育学演習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書·論文等
- 1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]平野紀英子・齋藤英敏「どのような気づきが, 英語教師を

成長させるのか: 自律的な教師への道」, 茨城大学教育実践研究, 36, 173-188 (2017年11月)

- 2. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】] Saito, H. & Inoi, S. "Junior and Senior High School EFL Teachers' Use of Formative Assessment: A Mixed-Methods Study", Language Assessment Quarterly (Routledge), 13, 3, 213-233 (2017年10月)
- 3. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり]] "Effects of preparation and use of keyword lists on a classroom story-retelling test", JALT Journal (全国語学教育学会), 39, 1, 5-28(2017年05月)
- 4. [(MISC)総説・解説(商業誌)]日本テスト学会提言作成委員会「日本言語テスト学会「大学入試希望者学力テスト(仮称)における英語テストの扱いに対する提言」と解説」, 英語教育(大修館書店), 66, 2, 73-75(2017年05月)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [口頭発表(招待·特別)·(単独)] Saito, H. "Junior and senior high school teachers' formative assessment practice in Japan" 2017 Korea English Language Testing Association Conference (KELTA) (Seoul, Korea) [2017 年 12 月 02 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 茨城県立玉造工業高等学校,いばらき高等学校学力向上推進総合事業に係る学力向上運営指導委員会外部評価者(2016 年 04 月~)
- 2. 日本言語テスト学会 理事
- 〇 地域協力活動
- 1. 「教員免許更新講習講師」(2009年08月~)
- 2. [地域貢献事業]「教員免許認定講習講師・運営委員」(2016年04月~)
- 3. 「地域貢献事業」「第62回茨城教育研究連盟研究集会助言者」(2017年10月)
- 4. [地域貢献事業]「平成29年度茨城県英語インタラクティブフォーラム審査委員長」(2017年08月)

海外出張・海外研修・内地研修など

学校教育教員養成課程 教科教育コース 英語教育教室

氏名 安原 正貴

教員履歴など

現 職	講師
学歴•職歴	
学位	博士 (言語学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	近代英語協会 英米文化学会 英語語法文法学会 筑波英語学会 日本英語学会
専門分野	英語学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)Integrated English IIA, 大学入門ゼミ(教育学部) (専門科目)英語学概論 II, 英文法/学校英文法, 英語学演習 I, 英語学概論 I/英語学概論A, 卒業研究(教育:4 単位), 英語学演習 II (大学院科目)英語学特論 I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書·論文等

- 1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】] 君塚, 淳一 小林, 英美 安原, 正貴「小学校 英語教育における異文化理解教育と文法教育の実践と課題」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 67, 385-397(2018 年 01 月 30 日)
- 2. [研究論文(国際会議プロシーディングス)単著【査読あり】] "SYNTACTICALLY TRANSITIVE BUT SEMANTICALLY ANTI-CAUSATIVE: AN EXPLETIVE VOICE ACCOUNT OF ADVERSITY CAUSATIVES IN JAPANESE", MIT Working Papers in Linguistics, 88, 457-463 (2018 年 01 月 01 日)
- 3. [研究論文(国際会議プロシーディングス)単著] Masaki Yasuhara "Secondary Agent Constructions from the Perspective of the Motion Inherent to Manner-of-Action", Data Science in Collaboration, Vol. 1, 180-188 (2017 年 12 月 31 日)
- 4. [研究論文(国際会議プロシーディングス)単著]"Transitive Sentences Denoting an Anti-causative Eventuality in Japanese", Proceedings of the 19th Seoul International Conference on Generative Grammar, (2017年08月01日)
- 5. [研究論文(国際会議プロシーディングス)共著] Masaki Yasuhara, Kazuya Nishimaki"A Unified Account of Directed Motion Constructions in English and Japanese", MIT Working Papers in Linguistics, 83(2017年08月01日)
- 6. [研究論文(国際会議プロシーディングス)単著]"Anti-causatives of Externally Caused Event: A

Comparative Study", MIT Working Papers in Linguistics, 83(2017年08月01日)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [口頭発表(一般)·国際会議(単独)] "Secondary Agent Constructions from the Perspective of the Motion Inherent to Manner-of-Action" Tsukuba Global Science Week 2017()[2017 年 09 月 27 日]
- 2. [•国際会議(単独)] "Transitive Sentences Denoting an Anti-causative Eventuality in Japanese"" 19th Seoul International Conference on Generative Grammar (Seoul National University) [2017 年 08 月 09 日]
- 3. [•国際会議(単独)] "Syntactically Transitive but Semantically Anti- causative: An Expletive Voice Account of Adversity Causatives in Japanese" The 13th Workshop on Altaic Formal Linguistics ()[2017年05月27日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 地域協力活動
- 1. [その他公的社会活動] 「英語の動詞と構文の理解を深めよう」『茨城大学教員免許状更新講習』 (2017年 08月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

韓国 ソウル ソウル大学校[学会参加及び意見交換のため](2017年8月:3日間)

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費]若手研究(B)(代表)「修飾要素を用いた自他交替の対照言語学的研究」,351万円(2016年04月01日~2019年03月31日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 英語教育教室

氏名 小林 翔

教員履歴など

現 職	助 教
学歴・職歴	関西大学大学院 外国語教育学研究科 授業実践学専攻[2007 年 03 月修了] 東京都公立高等学校教諭(2007 年 4 月~2018 年 2 月) 明星大学(2014 年 4 月~2015 年 3 月) 茨城大学(2018 年 3 月~)
学位	修士(外国語教育学)[関西大学大学院外国語教育学研究科]
受賞歴	読売教育賞·外国語異文化理解部門·優秀賞(2016) 東京書籍教育賞入選(2017)
所属学会	小学校英語教育学会 全国英語教育学会 外国語教育メディア学会 関東甲信越 英語教育学会
専門分野	外国語教育
教育研究概要	外国語教育 英語授業実践学
	(キーワード)外国語教育 発音指導 ルーブリック SCMC
担当科目	2018年3月1日に着任したため、2017年4月1日から2018年3月31日までの 授業は担当していない。

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書·論文等

- 1. [単行本(一般書)・単著]小林翔「高校英語のアクティブ・ラーニング-生徒のやる気を引き出すモチベーションマネジメント 50-」,明治図書,(2018 年 03 月)
- 2. [その他・単著] 小林翔 「スマホとインデックスカードを活用して語彙力を増強」, TOEFL Web Magazine, (2018 年 03 月 20 日)
- 3. [その他・単著]小林翔「一人でできる音読方法-レベル別音読を習慣化して英語表現を定着させる-」, TOEFL Web Magazine, (2018 年 02 月 20 日)
- 4. [映像・単著]小林翔「英語教育達人セミナー 2017 冬 in 大阪 授業実践ビデオ」, ジャパンライム, (2017 年 12 月)
- 5. [映像・単著]小林翔「英語授業の達人セミナー 『高校英語のアクティブラーニング』授業実践ビデオ」, ジャパンライム, (2017 年 10 月)
- 6. [その他・単著]小林翔「即興的なスピーキング力を育成するには『英語教育』」, 開隆堂, 69 巻 2 号 12 頁(2017 年 08 月)
- 7. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]小林翔「小学校英語教科化に向けた英語発音指導の取り

組み ―スピーキング不安を軽減する手立て一」, 異文化研究, 2(2018年 03月 20日)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [教育方法・教育実践に関する発表、講演等]eラーニングアワード2017フォーラム講演「4技能統合型 高校英語のアクティブラーニング 成功する指導技術&活動アイデア50」2017年10月27日2. [教育方法・教育実践に関する発表、講演等]大東文化大学外国語学部主催 英語教員志望者対象特別講演「趣味は授業。夢は日本一の英語教師を養成することに魅せられて」2017年10月26日3. [教育方法・教育実践に関する発表、講演等]英語授業の達人セミナー講師「高校英語のアクティブラーニング」2017年06月04日

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 行政機関等での委員就任
- 1.「文部科学省委託英語教育推進リーダー中央研修還元研修講師」「英語教育推進リーダー」

海外出張・海外研修・内地研修など

「カナダブリティッシュコロンビア大学 海外研修」 [2017年 06月~08月]

学校教育教員養成課程 特別支援教育コース 障害児教育教室

氏名 荒川 智

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	東京学芸大学 教育学部 障害児教育[1980年卒業] 筑波大学大学院 教育学研究科 教育学[1988年修了] 日本学術振興会特別研究員(1988年4月~1989年3月) 神奈川県立衛生短期大学講師(1989年4月~1994年3月) 茨城大学教育学部助教授(1994年4月~2002年3月) 茨城大学教育学部教授(2002年4月~)
学位	教育学博士[筑波大学]
受賞歴	日本特殊教育学会研究奨励賞(1996)
所属学会	日本特殊教育学会 日本教育学会 教育史学会 日本特別ニーズ教育教育学会 (SNE 学会)
専門分野	障害児教育、特別支援教育
教育研究概要	特別支援教育 障害児教育、特別支援教育の歴史、制度、行政、理念、方法 特別ニーズ教育、インクルーシブ教育の国際動向
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)グローバルスタディーズ (専門科目)特別支援教育原論(専攻科)/特別支援教育原論,障害児教育総論 (専攻科1単位),特別支援教育基礎演習(専攻科),障害児教育演習 I(専攻科), 障害児教育学演習 I,修了研究(専攻科),卒業研究(教育:4単位),障害児教育 総論(1単位),特別な支援を必要とする子どもの教育/特別なニーズをもつ子どもの 教育(1単位) (大学院科目)障害児教育学特論 I,障害児教育学演習 I,障害学総合研究,特別 課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- 1. [単行本(学術書)・分担執筆]荒川 智「柘植他編『特別支援教育の到達点と可能性』「特別支援教育政策の論点とインクルーシブ教育システムー歴史的経緯も含めてー」」,金剛出版,180-183 (2017年09月30日)
- 2. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]「特別支援教育10年を検証する」,障害者問題研究,45,
- 4,242-249(2018年02月25日)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 学協会での役職
- 1. 日本特殊教育学会, 代議員、常任編集委員(2013年06月~)
- 2. 日本特別ニーズ教育学会理事(2017年10月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費]基盤研究(B)(一般)(分担)「戦後における重度重複障害児教育実践の創成に関する歴史研究とアーカイブ化」,962万円(2016年04月01日~2021年03月31日)

学校教育教員養成課程 特別支援教育コース 障害児教育教室

氏名 勝二 博亮

教員履歴など

TH Wh	和 松
現職	教 授
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 養護学校教員養成課程[1994年]
	東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究科 発達支援[1999年]
	日本学術振興会 特別研究員(1998年4月~1998年6月)
	茨城大学助手教育学部(1998年7月~2000年3月)
	茨城大学講師教育学部(2000年4月~2005年9月)
	ドイツ連邦共和国ユスタス・リービッヒ(ギーセン)大学 客員研究員(2004年2月~
	2005年2月)
	茨城大学助教授教育学部(2005年10月~2007年3月)
	茨城大学准教授教育学部(2007年4月~2015年3月)
	茨城大学教授教育学部(2015年4月~)
学位	教育学修士[茨城大学] 教育学博士[東京学芸大学]
受賞歴	日本臨床神経生理学会 第 14 回奨励論文賞(2012)
所属学会	日本LD学会 International Society for Brain Electromagnetic Topography 認知神
	経科学会 日本脳電磁図トポグラフィー研究会 日本生理心理学会 日本臨床神
	経生理学会 日本特殊教育学会
専門分野	実験系心理学 特別支援教育 認知神経科学
tel — ha rive min limit — ret	
教育研究概要	(キーワード)脳科学 特別支援教育
担当科目	(教養科目)人間科学
	(専門科目)病弱児の心理・生理・病理/病弱児の生理,知的障害児の生理・病理/
	知的障害児の生理, 障害児生理演習 Ⅱ(専攻科), 障害児生理心理学/障害児生
	理機能評価法,障害児生理学演習 II,修了研究(専攻科),卒業研究(教育:4 単
	位), 重度重複障害児教育実践論, 重度重複障害児教育論(1 単位), 知的障害児
	の生理機能評価法
	(大学院科目)障害児生理学特論 I, 障害児生理学演習 I, 特別課題研究
I .	I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
- 1. [単行本(学術書)・単著]尾崎康子「知っておきたい 気になる子どもの手先の器用さのアセスメント:PWT 描線テストの手引きと検査用紙」, ミネルヴァ出版, 35-50(2018 年 03 月 30 日)

- 2. [単行本(学術書)・単訳] 尾崎久記・平田幸一・木下利彦「脳電場ニューロイメージング」, 西村出版, 119-135(2017年05月26日)
- 3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著] 勝二 博亮, 加納 茜音, 田原 敬「ダウン症児の運筆能力」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 67, 399-407 (2018 年 01 月 30 日)
- 4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]小田 哲平, 田原 敬, 勝二 博亮「水戸駅における視覚障害者誘導用ブロックの敷設状況とその課題」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 67, 435-447 (2018年01月30日)
- 5. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]久保愛恵・平野晋吾・田原敬・勝二博亮「集団活動に困難を示す幼児の指示従事行動」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 449-459(2018 年 01 月 30 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

- 1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 田原敬・平山太市・関口貴之・勝二博亮「環境音を用いたオドボール課題遂行時の事象関連電位」第34回日本生理心理学会大会(江戸川大学)[2017年5月27-28日]
- 2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 小野寺藍・久保愛恵・田原敬・勝二博亮「読み聞かせ場面における幼児の視線探索パターン」第34回日本生理心理学会大会(江戸川大学)[2017年5月27-28日]
- 3. [ポスター発表・国内会議(共同)] 古屋友希・久保愛恵・勝二博亮・田原敬「幼児期における協調 運動チェックリストの開発」日本特殊教育学会第55回大会(名古屋国際会議場)[2017年9月16-18 日]
- 4. [ポスター発表・国内会議(共同)] 加納茜音・勝二博亮・田原敬「筆記プロセスからみたダウン症児の書字行動評価」日本特殊教育学会第55回大会(名古屋国際会議場)[2017年9月16-18日] 5. [ポスター発表・国内会議(共同)] 久保愛恵・平野晋吾・田原敬・勝二博亮集団活動に困難を示す幼児における指示従事場面の観察」日本特殊教育学会第55回大会(名古屋国際会議場)[2017年9月16-18日]
- 6. [ポスター発表・国内会議(共同)] 倉持光・勝二博亮「知的障害児における紙芝居視聴時の視覚探索パターン」日本特殊教育学会第 55 回大会(名古屋国際会議場)[2017 年 9 月 16-18 日] 7. [ポスター発表・国内会議(共同)] 佐藤楓佳・田原敬・勝二博亮「重度・重複障害児の聴覚評価に関する事例的検討―語音を用いた聴覚評価について―」日本特殊教育学会第 55 回大会(名古屋国際会議場)[2017 年 9 月 16-18 日]
- 8. [ポスター発表・国内会議(共同)] 高橋ひかり・小林亜由美・勝二博亮・田原敬「重度・重複障害児における応答行動の形成に関する事例的研究」日本特殊教育学会第55回大会(名古屋国際会議場)「2017年9月16-18日〕
- 9. [口頭発表・国内会議(単独)]勝二博亮「運筆過程からみた幼児期の書字指導(自主シンポジウム

- 7-17 幼児期における手先の不器用さのアセスメントと支援の開発)」日本特殊教育学会第 55 回大会 (名古屋国際会議場)[2017 年 9 月 16-18 日]
- 10. [ロ頭発表・国内会議(単独)]勝二博亮「指定討論(国際化シンポジウム): 台湾および日本における特別支援教育教員養成の現状と課題)」日本特殊教育学会第55回大会(名古屋国際会議場) [2017年9月16-18日]
- 11. [ポスター発表・国内会議(単独)] 勝二博亮「幼児における協調運動の困難さと他の行動特徴との関連」日本 LD 学会(宇都宮大学)第 26 回大会[2017 年 10 月 7-9 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. 「非常勤講師」聖学院大学・非常勤講師
- 2. [非常勤講師] 茨城キリスト教大学・非常勤講師
- 3. 「兼業」 茨城県立盲学校・教科用図書選定委員
- 4. 「兼業〕茨城県立盲学校・学校評議員
- 5. [兼業] 茨城県立勝田特別支援学校·教科用図書選定委員
- 6. 「兼業」茨城県立勝田特別支援学校・学校評議員
- 7. 「兼業] 茨城県専門家派遣事業
- 8. [兼業] 茨城県教育委員会・講師(教育教員免許法認定講習)肢体不自由児の心理・生理・病理
- 9. 「兼業」茨城大学·講師(教員免許更新制)·発達相談
- 10. [兼業] 茨城県教育研修センター・十年次研修講師
- 11. 「兼業] 茨城県教育研修センター・ICT 活用推進運営協議会助言者
- 12. [兼業]第40回全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会分科会助言者
- 13. [兼業] 第54回関東甲信越地区肢体不自由教育研究協議会分科会助言者
- 14. [兼業]那珂市こども発達相談センター
- 15. 「兼業]水戸ブロック保育協議会全体講演会の講師
- 16. 「兼業] 茨城県保育技術協議会の助言および講師
- 17. 「兼業]水戸市教科書用図書審議会委員
- 18. [兼業]科学研究費助成事業(基盤研究等)第2段審査委員
- 学協会での役職
- 1. 日本特殊教育学会,国際化委員会委員(2016年09月~)
- 2. 日本特殊教育学会, 代議員(2016年09月~)
- 3. 日本発達障害学会, 編集委員(2015年09月~)
- 4. 日本特殊教育学会,編集委員(2014年09月~)
- 5. 日本臨床神経生理学会, 代議員(2009年10月~)

○ 講演会・シンポジウム

- 1. 「幼児期における不器用さの支援を考える一幼小連携に向けて-(国内)」, (茨城大学(水戸)) [司会・議長・コンビーナ・コーディネータ,パネリスト,企画・運営](2017年03月)
- 2. 「Skrandies 教授特別講演「Words in the human brain semantic meaning, development, learning」」, 茨城大学教育学部障害児生理学研究室(茨城大学教育学部 A534) [司会・議長・コンビーナ・コーディネータ,企画・運営] (2017 年 02 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

- 科学研究費補助金
- 1. [科学研究費]「運動の「ぎこちなさ」を要因とする書字困難児に対する早期支援プログラムの開発」、代表者(2016年度~2019年度)
- 2. [科学研究費] 「読み書き指導に関する幼・小連携カリキュラムの開発」,分担者(2016年度~2018年度)
- 3. [科学研究費] 「神経教育学的アプローチに基づく知的障害児の自己決定過程の解明」,代表者 (2016 年度~2018 年度)

学校教育教員養成課程 特別支援教育コース 障害児教育教室

氏名 新井 英靖

教員履歴など

教具腹腔など	T
現 職	准教授
学歴·職歴	東京学芸大学大学院 教育学研究科 障害児教育専攻[1998年修了] 東京都立久留米養護学校(教諭)(1998年4月~2000年9月) 茨城大学教育学部(講師)(2000年10月~) 茨城大学教育学部(准教授)(2007年10月~)
学位	博士[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校ソーシャルワーク学会 日本発達障害学会 日本教育方法学会 日本特殊教育学会 日本特別ニーズ教育学会
専門分野	障害児教育学 特別支援教育 障害児教育方法学
教育研究概要	(研究経歴) 1)英国の特別な教育的ニーズ概念に関する歴史的研究 この研究では、第二次世界大戦前後から英国が通常学校の学習困難児に対する特別な支援をどのように整備して生きたのかを歴史的に検討する中で、英国において特別な教育的ニーズ概念が提起された背景を追究する。 2)日本の通常学校における学習困難児に対する実態調査研究および支援方法に関する研究 英国の研究を基盤として、日本の通常学校における学習困難児(不登校児・被虐待児・LD児などを含む)の実態を調査し、今後整備すべき支援方法について検討する。近年、日本においても通常学校で特別な支援を提供しようとする枠組みが提起されたこともあり、日本の特別支援教育体制整備との関連についても言及している。 3)養護学校の教育課程および教授・学習過程の研究 養護学校(主として知的障害児)の授業づくりに関する全般を扱っている。障害児の教育課程論、教授学習論・教材/教具論・授業評価論・教育内容論などを体系的に研究している。
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ(教育学部),人間とコミュニケーション,生活・福祉系科目/人間とコミュニケーション (専門科目)病弱児の教育方法(専攻科)/病弱児の教育方法,特別支援教育研究法,重度重複障害児教育論(専攻科1単位),肢体不自由児の教育方法/肢体不自由児の教育方法(専攻科)/肢体不自由児の教育方法,障害児教育演習II(専攻科),修了研究(専攻科),卒業研究(教育:4単位),重度重複障害児教育実践論,知的障害児の教育方法(専攻科)/知的障害児の教育方法,重度重複障害児教育論(1単位),知的障害児教育実践論/知的障害児教育実践論(専攻科),特別な支

援を必要とする子どもの教育/特別なニーズをもつ子どもの教育(1 単位), 学校における子ども虐待の予防と防止

(大学院科目)特別支援教育総合研究,障害児教育学特論 II,特別支援教育の理論と実践,障害児教育学演習 II,特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書·論文等

- 1. [単行本(学術書)・単著]新井英靖「特別ニーズのある子どもの授業づくりと学校福祉論の視座ー「合理的配慮」と「補償」的アプローチを超えて一」、ミネルヴァ書房、(2018年03月20日)
- 2. [単行本(学術書)・共著]新井英靖「内面や意識の変化を描くエピソード記述の方法」,福村出版,(2017年09月15日)
- 3. [単行本(学術書)・単著]新井英靖「アクティブ・ラーニング時代の看護教育」, ミネルヴァ書房, (2017 年 04 月 20 日)
- 4. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]新井英靖「特別支援学校教員養成課程で学ぶ学生の学修ニーズと学修カリキュラムに関する検討」,日本教育大学協会研究年報,**36**,73-83(2018年03月30日)
- 5. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]新井英靖・三浦佳苗「身体活動に制限のある子どもに対する教科学習の方法」、茨城大学教育実践研究、36,197-205(2017年11月)
- 6. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]高橋結・新井英靖「肢体不自由特別支援学校における音楽の活用に関する考察一重度・重複障害児を担当する教師に対するインタビュー調査からー」, 茨城大学教育実践研究, 36, 207-217(2017 年 11 月)
- 7. [(MISC)総説・解説(商業誌)単著【依頼/招待】]新井英靖「アクティブ・ラーニングとインクルーシブ教育」,授業づくりネットワーク,**25**,22-27(2017年04月17日)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 鹿嶋市教育委員会, 鹿嶋市特別支援教育推進会議委員(2016年04月~2018年03月)
- 2. 日本学校ソーシャルワーク学会, 査読委員(2013年04月~2018年03月)
- 3. 日本特殊教育学会, 編集委員(2013年01月~2020年08月)
- 4. 日本発達障害学会,編集委員(2012年04月~2020年03月)

海外出張・海外研修・内地研修など

ドイツ ブレーメン ブレーメン教育省[インタビュー調査のため](2017年4月~5月:3日間)

科学研究費補助金などの受領

科学研究費補助金(16K04452)読み書き指導に関する幼・小連携カリキュラムの開発 科学研究費補助金(16K04503)多職種協働によるインクルーシブ教育の推進に関する国際比較研究 科学研究費補助金(16K13514)質的研究法を用いた若手教師の授業力向上プログラムの開発

学校教育教員養成課程 特別支援教育コース 障害児教育教室

氏名 細川 美由紀

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 養護学校教員養成課程[1996年03月卒業] 茨城大学 特殊教育特別専攻科[1997年03月卒業] 筑波大学大学院 心身障害学研究科 心身障害学専攻[2004年03月修了] 富士常葉大学 保育学部 講師(2006年4月~2008年3月) 茨城キリスト教大学 文学部 講師(2008年4月~2011年3月) 茨城キリスト教大学 文学部 准教授(2011年4月~2015年3月)
学位	心身障害学[筑波大学]
受賞歴	日本脳波・筋電図学会(現;日本臨床神経生理学会)第1回奨励論文賞(1999)
所属学会	日本 LD 学会 日本特殊教育学会 日本脳波·筋電図学会(現;日本臨床神経生理学会) 日本生理心理学会
専門分野	特別支援教育 実験心理学 教育心理学
教育研究概要	(キーワード)発達障害/学習障害/読み書き障害/認知心理学/学習支援
担当科目	(教養科目)人間科学 (専門科目)知的障害児の心理/知的障害児の心理(専攻科),障害児心理診断法 /障害児のアセスメント,障害児心理演習 I(専攻科),発達障害児教育概論(専攻 科)/発達障害児教育概論/発達障害児教育概論,障害児心理学演習 I,修了研究 (専攻科),卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)障害児心理学特論 I,障害児心理学演習 I,障害学総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- 1. [共著] 石澤香織・細川美由紀「一般大学生における ASD 傾向と不安感に関する検討」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 67, 409-422 (2018 年 01 月 30 日)
- 2. [共著] 松澤緑・細川美由紀「大学生の英単語読みと音韻処理能力に関する基礎的研究」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 67, 423-434(2018 年 01 月 30 日)
- 3. [共著]豊田崇仁・細川美由紀「水頭症事例における漢字書字習得に関する実践研究」, 茨城大学教育実践研究, 36, 219-230(2017 年 11 月 30 日)
- 4. [共著] 稲葉愛・細川美由紀・正保春彦「特別支援学校における人間関係形成を目的としたグループワークの実践」, 茨城大学教育実践研究, 36, 231-245(2017 年 11 月 30 日)

5. [研究論文(学術雑誌)共著] Naoko Muroya, Tomohiro Inoue, Miyuki Hosokawa, George K. Georgiou, Hisao Maekawa & Rauno Parrila"The Role of Morphological Awareness in Word Reading Skills in Japanese: A Within-Language Cross-Orthographic Perspective", Scientific Studies of Reading, 1-14(2017年06月08日)

研究業績(2)学会発表など

学会発表等

- 1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 豊田崇仁・細川美由紀「水頭症事例における漢字書字習得に関する実践研究」日本特殊教育学会第 55 回大会(名古屋国際会議場)[2017 年 09 月 17 日]
- 2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 室谷直子・井上知洋・細川美由紀・前川久男「小学2年生における読み書き習得の影響因:音韻意識と形態素意識の比較から」日本特殊教育学会第55回大会(名古屋国際会議場)[2017年09月17日]
- 3. [ポスター発表・国際会議(共同)] Muroya, N., Inoue, T., Hosokawa, M., Georgiou, G. K., Maekawa, H., & Parrila, R. "The role of morphological awareness in word reading skills in Japanese" 24th Annual Meeting Society for the Scientific Study of Reading() [2017 年 07 月]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 〇 地域協力活動
- 1. 茨城県教育研修センター[その他公的社会活動]「平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座(特別支援学校)」(2017年11月~)
- 2. 茨城県教育研究連盟[その他公的社会活動] 「第 62 回茨城県教育研究連盟研究集会」(2017 年 10 月~)
- 3. 茨城県立友部東特別支援学校[その他公的社会活動]「平成29年度特別支援教育専充実事業 (茨城県立友部東特別支援学校)」(2017年09月~2018年02月)
- 4. 鹿嶋市特別支援教育研究部[その他公的社会活動]「平成29年度県東ブロック特別支援教育研究部研修会」(2017年08月~)
- 5. 茨城県教育委員会[その他公的社会活動]「平成 29 年度新規採用教員研修(幼児教育)第5回園 外研修」(2017 年 08 月~)
- 6. 茨城県立伊奈特別支援学校[その他公的社会活動]「平成 29 年度茨城県特別支援学校教育研究会研修会」(2017 年 07 月~)
- 7. 茨城県立大子特別支援学校[その他公的社会活動]「平成 29 年度特別支援教育専門家派遣事業(常陸大宮市立大宮中学校)」(2017 年 07 月~2018 年 01 月)
- 8. 茨城県立水戸飯富特別支援学校[その他公的社会活動]「平成 29 年度特別支援教育専門家派 遺事業(水戸市立酒門小学校)」(2017 年 07 月~2018 年 02 月)

9. 笠間市立かさまこども園[その他公的社会活動]「かさまこども園家庭教育学級」(2017年05月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

- 2.[科学研究費(挑戦的萌芽研究):分担]「読み書き発達と形態素意識との関連性に関する基礎的検討(代表者:室谷直子)」(2016年5月~)

学校教育教員養成課程 特別支援教育コース 障害児教育教室

氏名 田原 敬

教員履歴など

現 職	講師
学歴・職歴	筑波大学 第二学群人間学類 心身障害学専攻[2007 年 03 月卒業] 筑波大学大学院 修士課程教育研究科 障害児教育専攻[2009 年 03 月修了] 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 博士後期課程障害科学専攻[2014 年 03 月修了] 筑波大学(2014 年 4 月~2015 年 3 月) 筑波大学(2015 年 4 月~2016 年 3 月) 茨城大学(2016 年 4 月~)
学位	修士(教育学)[筑波大学] 博士(障害科学)[筑波大学]
受賞歴	第 15 回一般社団法人日本聴覚医学会奨励賞(2017) 筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科障害科学専攻長賞(2014)
所属学会	日本特殊教育学会 日本聴覚言語障害学会 日本聴覚医学会 日本心理学会 日本生理心理学会 日本臨床神経生理学会
専門分野	特別支援教育 実験心理学
教育研究概要	(キーワード)特別支援教育/聴覚障害児教育/聴覚活用/オーディオロジー
担当科目	(専門科目)障害児生理演習 I(専攻科), 聴覚障害児の心理・生理・病理/聴覚言語病理, 障害児生理学演習 I, 修了研究(専攻科), 卒業研究(教育:4単位), 感覚障害児の教育/感覚障害児の教育(専攻科)/感覚障害児の教育, 感覚障害児の生理機能評価法(大学院科目)障害児生理学特論 II, 障害児生理学演習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 1. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著]勝二 博亮,加納 茜音,田原 敬「ダウン症児の運 筆能力」,茨城大学教育学部紀要.教育科学,67,399-407(2018年01月)
- 2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著] 久保 愛恵, 平野 晋吾, 田原 敬, 勝二 博亮, KUBO Manae, HIRANO Shingo, TABARU Kei, SHOJI Hiroaki「集団活動に困難を示す幼児の指示従事行動」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 67, 449-459 (2018 年 01 月)
- 3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]小田 哲平, 田原 敬, 勝二 博亮, ODA Teppei, TABARU Kei, SHOJI Hiroaki「水戸駅における視覚障害者誘導用ブロックの敷設状況とその課題」,

茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 67, 435-447(2018年01月)

4. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]真名瀬陽平,佐々木銀河,田原敬,五味洋一,青木真純,竹田一則「障害者差別解消法施行に伴う日本の国立大学におけるアドミッション・ポリシーの課題」,大学教育学会誌,39,95-104(2017年11月)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

- 1. [シンポジウム・ワークショップ パネル(公募)・国内会議(単独)] 田原 敬「聴覚障害者の環境音認知」第47回日本臨床神経生理学会学術大会()[2017年11月]
- 2. [ロ頭発表(招待・特別)・国内会議(単独)] 田原 敬「聴覚障害者における環境音の聴覚イメージ に関する研究― 聴取経験と聴覚イメージとの関係に着目して―」第 62 回日本聴覚医学会総会・学 術講演会()[2017 年 10 月]
- 3. [ポスター発表・国内会議(共同)] 髙橋ひかり, 小林亜由美, 勝二博亮, 田原 敬, 「重度・重複障害児における応答行動の形成に関する事例的研究」日本特殊教育学会第55回大会()[2017年09月]
- 4. [ポスター発表・国内会議(共同)] 佐藤楓佳, 田原 敬, 勝二博亮「重度・重複障害児の聴覚評価 に関する事例的検討―語音を用いた聴覚評価について―」日本特殊教育学会第 55 回大会()[2017年 09 月]
- 5. [ポスター発表・国内会議(共同)] 古屋友希, 久保愛恵, 勝二博亮, 田原 敬「幼児期における協調運動チェックリストの開発」日本特殊教育学会第55回大会()[2017年09月]
- 6. [ポスター発表・国内会議(共同)] 加納 茜, 勝二博亮, 田原 敬「筆記プロセスからみたダウン症 児の書字行動評価」日本特殊教育学会第55回大会()[2017年09月]
- 7. [ポスター発表・国内会議(共同)] 久保愛恵, 平野晋吾, 田原 敬, 勝二博亮「集団活動に困難を示す幼児における指示従事場面の観察」日本特殊教育学会第55回大会()[2017年09月]
- 8. [ポスター発表・国内会議(共同)] 小林優子, 永井美帆, 田原 敬「FM 補聴システムの効果的活用に影響する要因」日本特殊教育学会第55回大会()[2017年09月]
- 9. [ポスター発表・国内会議(共同)] 井口亜希子, 原島恒夫, 田原 敬, 堅田明義「特別支援学校 (聴覚障害)幼稚部の指導場面における手指の活用に関する研究—教員による聴覚口話を基盤とした手指の使用意図」日本特殊教育学会第 55 回大会()[2017 年 09 月]
- 10. [ポスター発表・国内会議(共同)] 田原 敬, 小林優子, 茂木成友「聴覚障害児の環境音認知における聴力と聴取成績との関係一周波数ごとの聴力に着目して―」日本特殊教育学会第 55 回大会()[2017 年 09 月]
- 11. [ポスター発表・国内会議(共同)] 小林亜由美, 髙橋ひかり, 田原 敬, 勝二博亮「重度・重複障害児の応答行動に関する生理心理学的評価」第35回日本生理心理学会大会()[2017年05月]
- 12. [ポスター発表・国内会議(共同)] 小野寺 藍, 久保愛恵, 田原 敬, 勝二博亮「読み聞かせ場面における幼児の視線探索パターン | 第35回日本生理心理学会大会() 「2017年05月]

13. [ポスター発表・国内会議(共同)] 田原 敬,平山太一,関口貴之,勝二博亮「環境音を用いたオドボール課題遂行時の事象関連電位」第35回日本生理心理学会大会()[2017年05月]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 地域協力活動
- 1. [学外審議会・委員会等]「目黒区 聴覚・言語障害のある児童の難聴・言語障害学級入級選考委員」(2015 年 09 月~2018 年 03 月)
- 2. [その他公的社会活動]「目黒区東根小学校きこえとことばの教室 顧問」(2015 年 09 月~2018 年 03 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領	

学校教育教員養成課程 特別支援教育コース 障害児教育教室

氏名 東條 吉邦

教員履歴など

現職	特任教授
	 東京学芸大学 教育学部[1975 年卒業]
	東京教育大学大学院 教育学研究科 実験心理学専攻[1978年修了]
	 国立特殊教育総合研究所分室研究員(1979 年 10 月~1992 年 9 月)
	国立特殊教育総合研究所分室主任研究官(1992年10月~1999年3月)
学歴・職歴	国立特殊教育総合研究所分室長(1999年4月~2004年3月)
	茨城大学教育学部教授(2004年4月~2017年3月)
	放送大学客員教授(2006年4月~2011年3月)
	茨城大学名誉教授(2017年4月~)
	茨城大学教育学部特任教授(2017年4月~)
学位	教育学修士[東京教育大学] 博士(心理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本心理学会 日本発達心理学会 日本自閉症スペクトラム学会 日本特殊教育学会 日本教育心理学会
専門分野	発達心理学 臨床心理学 実験心理学 教育心理学 特別支援教育
教育研究概要	私は、大学院生の頃から現在までの 40 年間、自閉症(現在は、自閉スペクトラム症と呼ばれている)の基礎研究と臨床実践・臨床研究を続けている。 最近、特に関心をもっている研究課題は、自閉スペクトラム症やADHD(注意欠如・多動症)などの発達障害のある幼児・児童・生徒が急増している現象の実態について分析し、急増の原因を解明するとともに、発達障害の発症率を低下させる方策と症状改善のための方策を確立するという課題である。 さらに、「繰り返しや規則的な要素が強いと同時に社会的随伴性のない情報過剰環境に対応(適応)しようとする乳幼児の自発的な行動が、自閉スペクトラム症の発症の原因となっている可能性がある」という私の仮説(JSPS 科研費 JP26590250 の研究成果報告書 (https://kaken.nii.ac.jp/ja/file/KAKENHI-PROJECT-26590250/26590250seika.pdf)および編著書『自閉スペクトラムの発達科学、日本発達心理学会編、新曜社、2018 年刊』を参照いただきたい)の検証を目的とした研究の推進である。 この仮説(試論)を実証することができれば、自閉スペクトラム症の発症の敏感期(好発期)と考えられる早期幼児期(0歳から3歳頃まで)の乳幼児には、繰り返しや規則的な要素が強いと同時に社会的随伴性のない情報過剰環境に適応しようとする自発的な行動を惹起させやすいタブレットやスマホ(これらは、乳幼児でも簡単に操作ができ、満足感を手軽に

得やすい機器)に見入らせない・聴き入らせない・没頭させないという対処が有効であると提言することができると考えている。また、ADHDや学習障害(限局性学習症:SLD)の好発期と考えられる幼児期(6~7歳頃まで)においても、上記とは若干異なる理由から、タブレットやスマホ(スマートフォン)には見入らせない・さわらせないという対処が有効であると提言することができると考えている。 しかしながら、このような対処は、現実的にはかなり難しいので、こうした試みは、医療機関や大学などの専門家の助言をもとに、自治体が主導して地域を定めて実施し、その効果や問題点などを検証することが必要であろうと考えており、共同研究を計画したいと考えている。

教育活動としては、教育学部学校教員養成課程の特別支援教育コース、特別支援教育特別専攻科、大学院教育学研究科障害児教育専攻にかかわる心理学の分野の教員として、「発達障害児教育概論」、「特別支援教育特論」、「障害児発達臨床学」、「障害児心理学特論 II」、「障害児心理学演習 II」、「知的障害児の病理」、「障害児心理学研究法」などの授業を担当し、これらのコース・専攻科の学生・院生の論文指導にあたっている。 研究活動としては、発達心理学・臨床心理学・認知神経科学を中心に、生物一心理ー社会の統合的アプローチから、自閉スペクトラムの探究に取り組むとともに、特別支援教育の在り方・内容・方法について研究している。 具体的には、1)自閉スペクトラムにおける社会性の発達、2)自閉スペクトラム症の発症メカニズムと環境要因、3)アセスメント技法の開発、4)大脳における言語・認知機能発達の研究、5)自閉症児教育に関する研究などを展開している。

(キーワード)自閉症、自閉スペクトラム症、発達障害、発達環境、社会性の発達、生物-心理-社会アプローチ、臨床発達心理学、認知神経科学

担当科目

(専門科目)知的障害児の病理/障害児の病理,障害児発達臨床学 (大学院科目)障害児心理学特論 II,障害児心理学演習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書·論文等

- 1. [研究論文(学術雑誌)・共著]藤野博・松井智子・東條吉邦・計野浩一郎「言語的命題化は自閉スペクトラム症児の誤信念理解を促進するか?:介入実験による検証」,発達心理学研究,28 巻,2 号,106-114(2017 年 06 月 20 日)
- 2. [研究論文(学術雑誌)·共著]Asada, K., Tojo, Y., Hakarino, K., Saito, A., Hasegawa, T., & Kumagaya, S. 「Brief Report: Body image in autism: evidence from body size estimation.」, Journal of Autism and Developmental Disorders, 48, 611-618. (2018年02月)
- 3. [単行本(学術書)・共編者]藤野博・東條吉邦(編著)「自閉スペクトラムの発達科学」,新曜社,77-90(2018 年 03 月 28 日)等

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

- 1. [ポスター発表・国際会議(共同)] Miura, Y., Matsui, T., Fujino, H., Tojo, Y., & Hakarino, K.
- 「Pragmatic inferences in children with autism spectrum disorder: using prosodic and contextual clues.」, 14th International Congress for the Study of Child Language(Lyon). [2017年07月17日]
- 2. [ポスター発表・国内会議(共同)]明地洋典・菊池由葵子・安田哲也・東條吉邦・計野浩一郎・長谷川寿一「自閉症者による社会的評価」日本発達心理学会第29回大会(東北大学(宮城県仙台市)) 「2018年03月23日〕
- 3.[ポスター発表・国内会議(共同)]浅田晃佑・東條吉邦・計野浩一郎・大神田麻子・森口佑介・板倉昭二・長谷川寿一「自閉スペクトラム症児における会話のルール違反への反応」日本発達心理学会第29回大会(東北大学(宮城県仙台市))「2018年03月23日]
- 4.[ポスター発表・国内会議(共同)]川村早織・藤野博・東條吉邦・計野浩一郎「ASD 児における心の理論と読解力の関連」日本発達心理学会第29回大会(東北大学(宮城県仙台市))[2018年03月23日]
- 5.[ポスター発表・国内会議(共同)] 菊池由葵子・明地洋典・計野浩一郎・東條吉邦・齋藤慈子・長谷川寿一「ASD 青年におけるアイコンタクトに対する注意の高まり―ライブ呈示 vs モニタ呈示による検討―」日本発達心理学会第29回大会(東北大学(宮城県仙台市))[2018年03月24日]
- 6.[ポスター発表・国内会議(共同)]髙木望帆・藤野博・松井智子・東條吉邦・計野浩一郎「ASD 児のフィクショナル・ナラティブー抽象度の異なる 2 つのアニメーション課題からの検討ー」日本発達心理学会第 29 回大会(東北大学(宮城県仙台市))[2018 年 03 月 24 日]
- 7.[ポスター発表・国内会議(共同)] 機舘尚武・松井智子・藤野博・東條吉邦・計野浩一郎「標準語・方言による声かけが ASD 児の信頼に及ぼす影響」日本発達心理学会第29回大会(東北大学(宮城県仙台市))[2018年03月24日]
- 8.[ポスター発表・国内会議(共同)]藤野博・東條吉邦・計野浩一郎「自閉スペクトラム症児における読書の傾向と心の理論との関係」日本発達心理学会第29回大会(東北大学(宮城県仙台市))[2018年03月25日]
- 9.[ポスター発表・国内会議(共同)]三浦優生・松井智子・藤野博・東條吉邦・計野浩一郎「自閉スペクトラム症児における間接発話の理解(3)」日本発達心理学会第29回大会(東北大学(宮城県仙台市)) [2018年03月25日]
- 10.[ポスター発表・国内会議(共同)]八耳悠人・藤野博・東條吉邦・計野浩一郎「自閉スペクトラム症児における依頼表現の特徴ーポライトネスの観点からー」日本発達心理学会第 29 回大会(東北大学(宮城県仙台市))[2018 年 03 月 25 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. [兼業] 水戸市教育委員会・水戸市教育支援委員会委員(2015年05月~2019年05月)
- 学協会での役職
- 1. 日本自閉症スペクトラム学会, 理事(2017年09月~)
- 2. 日本自閉症スペクトラム学会, 常任編集委員(2015年08月~)
- 3. 日本自閉症スペクトラム学会, 評議員(2014年09月~2017年08月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領		

養護教諭養成課程 氏名 廣原 紀恵

教員履歴など

現 職	教 授
学歴•職歴	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門看護学講座(2008 年4月~2011年3月) 茨城大学教育学部教育保健教室(2011年4月~)
学位	教育学修士[茨城大学]
受賞歴	発育発達学会 優秀研究論文賞(2010) 日本公衆衛生学会 優秀演題賞(2009)
所属学会	日本成長学会 日本健康学会 日本健康相談活動学会 日本学校健康相談学会 日本発育発達学会 日本人類学会 日本小児保健学会 中国・四国学校保健学会 日本公衆衛生学会 日本養護教諭教育学会 日本看護研究学会 日本教育 カウンセリング学会 日本思春期学会 日本学校保健学会
専門分野	地域看護学
教育研究概要	(キーワード)身長 体重 下肢長 発育発達 学校看護
担当科目	(教養科目)健康の科学 (専門科目)学校救急看護,学校看護学実習,学校看護学概論,学校救急看護実習,学校救急看護演習 I,臨床医学・看護学臨床実習,卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)学校救急看護学特論,養護学総合研究,学校救急看護学演習,特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 1. [単行本(学術書)・]津島ひろ江 荒木田美香子 池添志乃 岡本啓子 廣原紀恵 ら 16 名 「学校における養護活動の展開 改訂 4 版」, ふくろう出版, (2017 年 04 月 03 日)
- 2. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]山田玲子 葛西敦子 福田博美 佐藤伸子 秋月百合 廣原紀恵 竹鼻ゆかり 中下富子 三村由香里 松枝睦美 上村弘子 河田史宝 岡田加奈子「養護 教諭養成教育で教授する学校看護技術の提案」,日本養護教諭教育学会誌,21,2,61-72(2018 年 03月)
- 3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]郷木義子、桐山幸、廣原紀恵 「養護教諭が行う救急 処置の判断に関する現状と課題(1)-内科事例を中心に-」, 新見公立大学紀要, 38, 2, 147-154 (2018年03月)

- 4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]廣原紀恵 向山千鶴「看護師による養護教諭の看護技術 レベルと職務内容に対する認識」、茨城大学教育学部紀要, 67, 461-470(2018 年 01 月 30 日)
- 5. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]湯原裕子 斉藤ふくみ 松坂晃 廣原紀恵「保健室頻回 来室児童への養護教諭の対応(第1報) -成長を感じたエピソードの分析から一」,学校健康相談研究,14,1,62-70(2017年12月)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 上村弘子 廣原紀恵 河田ひとみ 竹鼻ゆかり 中下富子 松枝睦美 三村由香里「教育系養護教諭養成大学における「看護学(臨床実習及び救急処置を含む。)」の学修内容について」日本健康相談活動学会第14回学術集会(徳島)[2018年03月03日] 2. [ポスター発表・(共同)] 向山千鶴 廣原紀恵「大学生の歯科保健行動・意識・知識についての
- 2. [ポスター発表・(共同)] 向山千鶴 廣原紀恵「大学生の歯科保健行動・意識・知識についての 実態」日本学校保健学会第 64 回学術集会(仙台) [2017 年 11 月 04 日]
- 3. [ポスター発表・(共同)] 廣原紀恵 竹鼻ゆかり 上村弘子 河田ひとみ 中下富子 松枝睦美 三村由香里「教育系養護教諭養成大学の「看護学」領域の科目に関する検討」日本養護教諭教育学 会第 25 回学術集会(金沢)[2017 年 10 月 07 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業·兼職
- 1. [非常勤講師] 常磐短期大学・, 4(時間/月)(2012年 04月~2017年 9月)
- 学協会での役職
- 1. 日本小児保健学会, 代議員(2012年05月~)
- 地域協力活動
- 1. [その他公的社会活動]「平成 29 年度新規採用養護教諭研修講座」(2017 年 08 月~)
- 2. 「その他公的社会活動」「平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座」(2017年08月~)
- 3. 茨城県教育委員会[学外審議会・委員会等]「県立高等学校において実施するデュアルシステムにおける運営指導員」(2017年04月~)
- 4. 「その他公的社会活動]「高大連携 模擬授業」(2016年09月~)
- 5. 茨城県教育研修センター[その他公的社会活動]「平成28年度10年経験者研修講座(養護教諭)」(2016年07月~)
- 6. 茨城県教育研修センター[その他公的社会活動]「平成27年10年経験者研修講座(養護教諭)」 (2015年07月~)
- 7. [その他公的社会活動]「いはらき性教育研究会(全国性教育研究団体連合茨城県支部)」(2012年 03月~)

- 8. 「茨城小児保健協会 理事 事務局」(2011 年 08 月~)
- 9. 日本小児保健協会 評議員(2012年04月~)
- 10. 茨城県教育研究連盟(2011年10月~)
- 11. 日本教育大学協会全国養護教諭部門研究委員会 研究委員(2011年04月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「養護教諭養成における「学校看護」の教育プログラムの構築」, 468 万円 (2015 年 04 月~2018 年)

養	獲教諭養成課程	氏名	斉藤	ふくみ		
---	---------	----	----	-----	--	--

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	北海道教育大学 教育学部旭川分校 養護教諭養成課程[1981年03月卒業] 愛知教育大学大学院 教育学研究科 保健体育専攻学校保健学専修[1983年03月修了] 広島大学大学院 保健学研究科 保健学専攻[2006年03月修了] 熊本大学教育学部講師(2000年9月~2006年3月) 熊本大学教育学部助教授(2006年4月~2007年3月) 熊本大学教育学部准教授(2007年4月~2008年3月) 茨城大学教育学部准教授(2008年4月~2014年3月)
学位	茨城大学教育学部教授(2014 年 4 月~)
受賞歴	なし
所属学会	日本教師教育学会 日本学校健康相談学会 日本健康相談活動学会 日本養護教諭教育学会 日本学校保健学会
専門分野	教育学 教育学
教育研究概要	3大学の養護実習記録の内容分析による学生の学びの比較ーテキスト・マイニング手法を用いて一本研究は、平成17年度A大学学生29名、B大学学生29名、C大学学生10名の養護実習記録をテキスト・マイニング手法を用いて内容分析を行った結果、学生の学びの言語構成が明らかになり、各々の大学の養護実習での学生の学びの特徴を捉えることが出来た。それと同時に3大学に共通の語句が抽出され、養成機関が異なっていても養護実習での学生の学びは保証されていると考えられた。また3大学を総合してクラスター解析を行った結果、養護実習で学習する事項が語句として抽出され、学生の学びを客観的に捉えられたと思われる。このことから、本研究で得られた所見は養護実習評価項目を作成する際の参考資料になりうると思われる。また、各大学の学生の意識と特徴を集約することができたことにより、養護教諭養成機関の背景の違いによるカリキュラムの改善の指標として活用できると思われる。
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ(教育学部)/主題別ゼミナール,スポーツ文化 (専門科目)養護実践論,健康相談活動,養護活動演習 II,養護活動演習 I,養護

学概論, 卒業研究(教育:4 単位)

(大学院科目)養護教諭論特論,養護学総合研究,養護教諭論演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]飯嶋美里、斉藤ふくみ「島しょの自然災害から考察する被災地の養護教諭の役割(第1報)-2013年伊豆大島の土砂災害に関する養護教諭対象のインタビュー調査から-」,「日本養護教諭教育学会誌」, 21, 2, 29-37(2018年03月)
- 2. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著]木嶋葉子、斉藤ふくみ「心因性の保健室来室児童への健康相談活動のあり方: 心理教育的援助サービスを組織的に進めていくために」、「茨城大学教育学部紀要(教育科学)」、67、557-570(2018年01月)
- 3. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著]櫻井亜左美、斉藤ふくみ「発達障害が推測される児童生徒のパニック時における保健室の在り方」, 「茨城大学教育学部紀要(教育科学)」, 67, 545-555(2018 年 01 月)
- 4. [共著]内藤恵香、斉藤ふくみ「一次救命処置における養護教諭の不安と葛藤」,「茨城大学教育学部紀要(教育科学)」,67,539-544(2018年01月)
- 5. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著]木内仁美、斉藤ふくみ「学校における哲学対話を用いたケアリング効果: 安心と安全の共同体形成のために」,「茨城大学教育学部紀要(教育科学)」, 67, 527-533(2018年01月)
- 6. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著]大久保香梨、斉藤ふくみ、松坂晃、青栁直子「小学生のテクノ不安傾向の実態と学習意欲との関連に関する研究」,「茨城大学教育学部紀要(教育科学)」, 67, 511-525(2018年01月)
- 7. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著]内田清香、海老澤紫、片山美千恵、髙橋裕子、斉藤ふくみ「養護教諭がコーディネーターとしての役割を果たすために必要な要素の構造化: 心身の健康問題を持つ子どもへの支援における事例分析から(第1報)」,「茨城大学教育学部紀要(教育科学)」, 67, 499-510(2018年01月)
- 8. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著]小笠原葵、斉藤ふくみ「健康相談における児童生徒の充実感に関する調査研究:養護教諭の配置数に着目して」,「茨城大学教育学部紀要(教育科学)」, 67, 481-498(2018年01月)
- 9. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)]丸山郁美、斉藤ふくみ「心身症を持つ高校生の保健室利用の実態」,「茨城大学教育学部紀要(教育科学)」, 67, 471-479(2018 年 01 月) 10. [研究論文(学術雑誌)【査読あり】]湯原裕子、斉藤ふくみ、松坂晃・廣原紀恵「保健室頻回来室児童への養護教諭の対応(第1報)一成長を感じたエピソードの分析から一「(査読付き)」」,「学校健康相談研究」, 14, 1, 62-70(2017 年 12 月)
- 11. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)]木嶋葉子、斉藤ふくみ「保健室での健康相談ツール紹介-コラージュ体験からの気づき-」,「茨城大学教育実践研究」, 36, 255-267

(2017年11月)

12. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著]斉藤ふくみ、鈴木薫、山崎隆恵「養護概説」と「健康相談活動の理論及び方法」のシラバス調査 - 関連科目における養護教諭の複数配置に関する教育実態 - 」, 「茨城大学教育実践研究」, 36, 247-254(2017 年 11 月)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)] 三次章江、西野佳子、樫村紀子、白土道子、朝倉丹実江、櫻井亜左美、小川典子、檜山夏海、飯嶋美里、斉藤ふくみ「組織を活かす養護教諭の取り組みに関する一考察-熟年および若手養護教諭対象のフォーカスグループインタビューを通して一」日本養護教諭教育学会第25回学術集会(於金沢大学)(金沢大学)[2017年10月]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 日本養護教諭教育学会,編集委員会事務局(2012年04月~)
- 2. 日本養護教諭教育学会, 理事(2012年04月~)
- 地域協力活動
- 1. 茨城県立太田第一高等学校(連携協定あり)(2016年11月~)
- 2. 福島県立湯本高等学校(2015 年 10 月~)
- 3. 茨城県立牛久栄進高等学校(連携協定あり)(2015年08月~)
- 4. 茨城県立中央高等学校(2013年11月~)
- 5. 茨城県立水戸第三高等学校(2012年12月~)
- 6. 茨城県立水戸第二高等学校(2012 年 10 月~)
- 7. 福島県立いわき光洋高等学校(2012年10月~)
- 8. 茨城県立日立北高等学校(2012年07月~)
- 9. 茨城県立水戸第三高等学校(2011年12月~)
- 10. 福島県立いわき光洋高等学校(2011年11月~)
- 11. 大成女子高等学校(連携協定あり)(2011年06月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

- 共同研究・受託研究
- 1. [国内共同研究] 「養護教諭の複数配置に関する養成機関での授業モデル研究(分担)」, 10 万円 (2017 年 04 月~2018 年 03 月)

養護教諭養成課程	氏名 瀧澤 利行
----------	----------

教員履歴など

現職	教 授
学歴・職歴	東洋大学 文学部 教育学[1985年卒業] 東京大学大学院 教育学研究科 健康教育学[1992年修了] 日本学術振興会特別研究委員(1990年4月~1992年3月) 茨城大学教育学部助教授(1996年4月~2002年3月) 茨城大学教育学部教授(2002年4月~)
学位	博士(教育学)[東京大学] 博士(医学)[大阪大学] 教育学修士[東京大学]
受賞歴	第 12 回日本医史学会学術奨励賞(2006) 日本公衆衛生学会奨励賞(1999) 明治生命厚生事業団「健康文化」懸賞論文優秀賞(1994)
所属学会	日本医史学会 日本衛生学会 日本教育学会 日本公衆衛生学会 日本生活指 導学会 日本学校保健学会 日本健康教育学会 日本在宅ケア学会 日本教育 保健学会 日本高齢者虐待防止学会
専門分野	健康教育学 健康思想史 健康文化論
教育研究概要	(教員からのメッセージ)公衆衛生学、衛生学、学校保健概論などを担当しています。どちらかというと理論的、歴史的、政策論的アプローチを主体としています。ライフワークとしては、日本および関連諸文化における健康思想の変遷を課題としています。とりわけ、「養生論」を中心とした健康文化体系の理論的、実践的特質と、これを視座とした「ケア」の文化を探求しています。著書『健康文化論』『養生論の思想』は比較的引用もされており、現時点での主著と考えています。
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)コミュニケーション論 (専門科目)健康文化論,メンタルヘルス/精神保健,公衆衛生学,衛生学,保健福祉論,学校保健概論(養護教諭),卒業研究(教育:4単位),学校環境衛生,養護活動と関連法規 (大学院科目)養護学総合研究,教育保健経営演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】]瀧澤利行「近代日本の学校教育における福祉的機能と人間形成」, 國學院大學教育学研究室紀要, 52, 181-195(2018 年 02 月 20 日)

2. []石原 研治, 柴田 有沙, 鏑木 瞳, 瀧澤 利行, ISHIHARA Kenji, SHIBATA Arisa, KABURAKI Hitomi, TAKIZAWA Toshiyuki「再生医療に関する高校生の意識調査」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 67, 581-590(2018 年 01 月 30 日)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[その他(単独)]第28回東京都杖道大会7段の部優勝(2016年07月)

[その他(単独)]第24回東京都杖道大会7段の部準優勝(2012年07月)

[その他]第19回東京都杖道大会7段の部準優勝(2007年07月)

[その他]第18回東京都杖道大会7段の部優勝(2006年)

[その他]第12回東京都杖道大会7段の部優勝(2000年)

「その他(単独)]第17回東京都杖道大会7段の部準優勝(1999年07月)

[その他]全日本剣道連盟杖道教士7段(1998年)

[その他]第9回東京都杖道大会6段の部第二位(1997年)

「その他(単独)]第7回東京都杖道大会6段の部準優勝(1995年07月)

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. [兼業] 放送大学·客員教授, 2(時間/月)(2004年04月~)
- 2. 「兼業] 国立大学法人お茶の水女子大学非常勤講師・(2006年04月~)
- 3. [兼業] 東洋大学大学院非常勤講師・(2009 年 04 月~)
- 4. 「兼業] 慶応義塾大学非常勤講師·(1999 年 04 月~)
- 5. [兼業] 國學院大學非常勤講師・(1993年04月~)
- 6. [兼業] 東京都中央区協働推進会議会長・(2005年06月~)
- 7. [兼業] 茨城県高齢者権利擁護推進委員会委員長・(2005年04月~)
- 8. 「兼業」東京都練馬区協働推進会議副座長・(2010年04月~)
- 学協会での役職
- 1. 日本医史学会, 理事(2017年05月~)
- 2. 日本高齢者虐待防止学会, 理事(2011年07月~)
- 3. 日本医史学会, 代議員(2011年06月~)
- 4. 日本教育保健学会, 副理事長(2011年04月~)
- 5. 日本生活指導学会, 会計監査(2010年09月~)
- 6. 日本衛生学会, 倫理委員会委員(2008年04月~)
- 7. 日本在宅ケア学会, 倫理委員長(2007年03月~)
- 8. 日本教育保健学会, 常任理事(2002年03月~)

- 9. 日本在宅ケア学会, 理事(2001年03月~)
- 10. 日本衛生学会, 評議員(2000年 03月~)
- 11. 日本学校保健学会, 理事(1998年11月~)
- 12. 日本健康教育学会, 評議員(1996年06月~)

海外出張•	海タ	ト研修・	内眦	肝修かど
1447 I HI JJK	144/	1"#) 195	r januar	りゅって

科学研究費補助金などの受領	

養護教諭養成課程 氏名 古池 雄治

教員履歴など

現 職	教 授
学歴•職歴	防衛庁 防衛医科大学校 医学部 医学科[1990年03月卒業] 防衛庁 防衛医科大学校大学院 医学研究科 成長発達臨床医学[2001年10月修了] 防衛医科大学病院(1990年6月~1992年7月) 防衛医科大学病院(1994年8月~1996年7月) 防衛医科大学医学研究科(1997年10月~2001年9月) 陸上自衛隊第4師団(2001年10月~2003年9月) 自衛隊中央病院(2003年10月~2006年12月) 国立病院機構災害医療センター(2007年1月~2014年3月) 茨城大学教育学部(2014年4月~)
学位	医学博士[学位授与機構]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校保健学会 日本小児保健協会 日本小児内分泌学会 日本小児科学会
専門分野	小児科学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)健康の科学 (専門科目)母性・小児系臨床医学・看護学,感覚器系臨床医学・看護学,臨床医学概論,精神医学,外科系臨床医学・看護学,内科系臨床医学・看護学,臨床医学・看護学臨床実習,卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)養護学総合研究,教育保健医学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 1. [(MISC)総説・解説(学術雑誌)単著【査読あり】【依頼/招待】]古池雄治「医学教育モデル・コア・カリキュラムの理念」、日本養護教諭教育学会誌、21、1、13-17(2017年)
- 2. [(MISC)研究論文共著【査読あり】] Nasa Ikuta, Yuji Koike, Naoko Aoyagi, Akira Matsuzaka, Yasuko Fuse-Nagase, Kazuhiro Kogawa, Toshiyuki Takizawa" Prevalence of lesbian, gay, bisexual, and transgender among Japanese university students: a single institution survey", International Journal of Adolescent Medicine and Health, 29, 5, 20150013 (2017年)

- 3. [(MISC)総説・解説(学術雑誌)共著【査読あり】] Yuji Koike, Masaya Akibayashi, Yukako Yokouchi "Successful treatment of short stature with growth hormone replacement therapy in a patient with anorexia nervosa", International Journal of Adolescent Medicine and Health, 29, 4, 20150071 (2017年)
- 4. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]茂中瑞希、古池雄治、斉藤ふくみ、子川和宏「健康相談における学校医の職務の変遷」、学校保健研究、59、194-200(2017年08月)
- 5. [(MISC) その他記事単著] Yuji Koike"Thanks to our valued reviewers-2016", The Journal of Pediatrics, 186, A9-A12(2017 年 06 月)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・国内会議(単独)] 古池雄治「学校における 内科的症状に対するアセスメントと対応」2017年度 夏季ワークショップ(東京保健医療大学 五反田 キャンパス)[2017年08月20日]
- 2. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・] 古池雄治「医師の仕事と子どもの疾病」平成29年度茨城県学校保健主事会総会()[2017年06月02日]
- 3. [ポスター発表・] 茂中瑞希、古池雄治、子川和宏、山脇英範「学校医と養護教諭の連携に関する調査研究」第120回日本小児科学会学術集会(東京)[2017 年 04 月 14 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. [兼業] 国立病院機構災害医療センター・小児科非常勤医師(2014年04月~)
- 学協会での役職
- 1. 成長科学協会, 地区委員(成長障害の専門医)(2017年07月~)
- 2. 日本小児保健協会, 代議員(2016年~)
- 3. 茨城県小児保健協会, 会長(2014年~)
- 4. 日本小児内分泌学会, 評議員(2012年~)

海外出張・海外研修・内地研修など

養護教諭養成課程 氏名 石原 研治

教員履歴など

教 授
群馬大学 工学部[1994年03月卒業]
群馬大学大学院 工学研究科[1996年03月修了]
東北大学大学院 薬学研究科[2000年03月修了]
東北大学 大学院薬学研究科 助手(1999年4月~2007年3月)
東北大学 大学院薬学研究科 助教(2007年4月~2008年3月)
東北大学 大学院工学研究科 助教(2008年4月~2009年3月)
茨城大学 教育学部 養護教諭養成課程 准教授(2009年4月~)
茨城大学 教育学部 養護教諭養成課程 教授(2017年4月~)
博士 (薬学)[東北大学]
財団法人 東北開発記念財団 海外 (国際学会) 派遣(2005)
財団法人 薬学研究奨励財団 海外 (国際学会) 派遣(2005)
日本薬学会 東北支部 奨励賞(2004)
日本学校保健学会 International Eosinophil Society アレルギー・好酸球研究会
日本薬学会 日本アレルギー学会
膠原病・アレルギー・感染症内科学 耳鼻咽喉科学
(キーワード)アレルギー 好酸球 気管支喘息 ニッケル 聴覚 難聴
(教養科目)健康の科学
(専門科目)免疫学 II, 生化学, 解剖生理学概論 I, 薬理学, 免疫学 I, 解剖生理
学概論Ⅱ,卒業研究(教育:4単位)
(大学院科目)学校安全特論,養護学総合研究,学校安全演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】] Wataru Nabeyama. Kenji Ishihara. Hyun Seung Ban. Hiroshi Wadad. Hiroyuki Nakamura. "Discovery of (2-aminophenyl)methanol as a new molecular chaperone that rescues the localization of P123S mutant pendrin stably expressed in HEK293 cells", Bioorg Med Chem, 25, 9, 2601-2608(2017年05月01日)
- 2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)]和田濵 裕之, 中田 祐希, 石原 研治. 「新聞等を通じた研究成果の適切な情報発信に向けた表現の検討」『茨城大学教育学部紀要. 教育科学』67 巻

571-580. (2018年01月30日)

- 3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)]石原 研治, 柴田 有沙, 鏑木 瞳, 瀧澤 利行. 「再生医療に関する高校生の意識調査」『茨城大学教育学部紀要. 教育科学』67 巻 581-590. (2018 年 01 月 30 日)
- 4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)] 石原 研治, 柴田 有沙, 鏑木 瞳, 瀧澤 利行. 「小児の慢性疾患に対する養護教諭の役割」『茨城大学教育学部紀要. 教育科学』 67巻 591-594. (2018年01月30日)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業·兼職
- 1. [兼業] 江戸川学園取手高等学校・(2016年09月~2019年03月)
- 2. [兼業] 茨城県立緑岡高等学校・(2015年09月~2017年09月)
- 3. [非常勤講師] 東京学芸大学・非常勤講師(2011年10月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

養護教諭養成課程 氏名 青栁 直子

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	東京学芸大学 教育学部大学院[年] 東京大学大学院 教育学研究科[年] 東京大学大学院 教育学研究科[年] 公益財団法人 労働科学研究所(2005年~2007年) 浜松学院大学短期大学部幼児教育科 専任講師(2007年~2008年) 浜松学院大学短期大学部幼児教育科 准教授(2008年~2013年) 茨城大学教育学部養護教諭養成課程 准教授(2013年~)
学位	修士(教育学)[東京大学] 博士(教育学)[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本時間生物学会 日本学校保健学会 日本小児保健学会 日本健康教育学会 日本発育発達学会 日本公衆衛生学会 日本衛生学会 日本思春期学会 日本ストレス学会 茨城県小児保健協会
専門分野	時間生物学 応用健康科学
教育研究概要	(キーワード)生体リズム、心身機能評価
担当科目	(基盤科目)健康の科学 (専門科目)保健科教育法 I,保健科教育法 II,保健科教育法 II,保健科教育法 IV,保健体育科教育法研究 III,小児・思春期保健学,保健学演習,体育科内容研究,保育内容の研究(健康),教職実践演習(養護教諭),教職実践演習(教諭),卒業研究(教育:4 単位),(大学院科目)ヘルスプロモーション論特論,ヘルスプロモーション論演習,養護学総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 1. [単行本(学術書)]「保育内容研究と指導法の実践的課題」, 茨城大学教育学部幼児教育実践研究会, 5-7(第1章)(2018年01月)
- 2. [単行本(学術書)]「改訂新版 保育内容「健康」-生きる力を育む健やかな心とからだー」,大学 図書出 版,103-117(第7章)(2017年09月)
- 3. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著] 阿部萌々子, 青栁直子「高校生におけるがんの認識の現状とがん学習に関する研究 保健教育における学習内容と指導方法に着目して-」, 茨城大学教

育学部紀要(教育科学), 67, 595-604(2018年01月)

- 4. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著] 宮部恵里香, 渡邊將司, 塚田友萌美, 青栁直子「幼児の鬼遊びに関する研究 -運動強度, 体力, 介入効果, 月齢差, 性差に着目して-」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 689-704(2018年01月)
- 5. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]大久保香梨, 斉藤ふくみ, 松坂晃, 青栁直子「小学生のテクノ不安傾向の実態と学習意欲との関連に関する研究」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 511-525(2018年01月)
- 6. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]武藤七海, 青栁直子「放課後児童支援員における子どもの育成支援に関する研究」, 茨城大学教育実践研究, 36, 269-279(2017 年 11 月)
- 7. [研究論文(原著)共著]渡邊將司·宮部恵里香·塚田友萌美·青栁直子「鬼遊びの継続実施が幼児の持久的能力に及ぼす効果」」『発育発達研究』(日本発育発達学会), 77, 1-9(2017 年 11 月)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 荒井芽衣, 青栁直子「福島県の高等学校における自殺予防教育の実態に関する研究」第63回日本学校保健学会(福島)[2017年11月]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 茨城大学, 茨城大学科学研究費助成事業 申請助言者(2016年~)
- 2. 日本小児保健学会, 代議員(2014年~)
- 3. 日本教育大学協会全国養護部門研究委員会,委員(2013年~)
- 4. 茨城県小児保健協会, 理事・事務局(2013年~)
- 5. 日本時間生物学会, 評議員(2010年~)
- 地域協力活動
- 1.「教員免許状更新講習(幼稚園教諭)研修講師」(2016年~)
- 2. 「教員免許狀更新講習(養護教諭)研修講師」(2015年~)
- 3. 「茨城県新規採用研修講座(養護教諭)研修講師」(2014年~)

海外出張・海外研修・内地研修など

学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室

氏名 村野井 均

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	東京教育大学 教育学部 心理学科(東京都文京区)[1978 年卒業] 筑波大学大学院 心理学研究科(茨城県つくば市)[1984 年単位取得満期退学] 弘前学院大学一般教育部 講師(1984 年 4 月~1987 年 3 月) 弘前学院大学一般教育部 助教授(1987 年 4 月~1988 年 3 月) 福井大学教育学部 助教授(1988 年 4 月~1999 年 3 月) 福井大学教育地域科学部 助教授(1999 年 4 月~2004 年 3 月) 国立大学法人福井大学教育地域科学部 助教授(2004 年 4 月~2004 年 12 月) 国立大学法人福井大学教育地域科学部 教授(2005 年 1 月~2005 年 9 月) 国立大学法人茨城大学教育学部 教授(2005 年 10 月~) 茨城大学大学院(2006 年 4 月~2017 年 3 月) 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター長(2010 年 4 月~2012 年 3 月) 茨城大学教育学部附属小学校長(2012 年 4 月~2015 年 3 月) 放送大学学園 放送大学茨城学習センター 客員教授(2016 年 3 月~2020 年 3 月) 東日本国際大学 客員教授(2018 年 10 月~)
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	
所属学会	日本教育メディア学会 日本教育工学会 日本発達心理学会 日本教育心理学会 日本心理学会
専門分野	発達心理学 教育心理学 教育工学 社会心理学
教育研究概要	(教員からのメッセージ) テレビ理解の研究をしています。文字の読み書きと同じように、映像を理解し(読み)、制作する(書き)力を育てるべきだと思っています。理解研究だけでなく、児童・生徒・学生が制作した映像作品をみんなで見る場作り、つまり放送をしています。子どもの絵は、ショッピングセンターや郵便局に張り出して、みんなで見て楽しんでいます。映像作品もみんなで見て、子どもの発達を楽しむ文化を作りたいと思っています。子どものテレビ理解(ストーリー理解、映像文法の理解、放送技術の理解)児童・生徒による映像制作子どもの作った映像作品を学校と協力して放送する試みと学校への信頼感

	制作 学校と地域の連携 放送 高齢者のテレビ理解 ザッピング 映像文法 映像の時制表現 子どものテレビ視聴 音と映像の組み合わせ 催眠 暗示とコマーシャル 虚構と現実の区別
担当科目	(専門科目)現代社会の人間関係(人間・共通),発達心理学,子どもの発達を知る,メディア・リテラシーI,心理学文献講読Ⅱ,生涯学習とメディア,教育実践科学研究,発達の理解B/発達の理解Ⅱ,卒業研究(教育:4単位)(大学院科目)学校教育総合研究,子どもの発達と学習の過程,課題発見実習,学校適応アセスメント実習,学習指導・授業づくりの課題と実践,学校運営開発実習Ⅰ,教育方法開発実習Ⅰ,児童生徒支援実習,学校適応支援実習,学校運営開発実習Ⅱ,教育方法開発実習Ⅱ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書·論文等

- 1. [教科書・分担執筆] 茨城大学教育学部学校教育教室編「教育の最新事情と研究の最前線」,福 村出版,86-98(2018年02月28日)
- 2. [単行本(学術書)・分担執筆]村野井均「スタンダード 学習心理学」, サイエンス社, 169-188 (2018 年 02 月 10 日)
- 3. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 単著] 村野井均「催眠がかかる仕組みとその誘導法」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 619-631(2018 年 01 月 30 日)
- 4. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 単著] 村野井均「児童の時制理解に NHK 教育テレビが果たした 役割 - 「さわやか 3 組」の時制表現の分析 -」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 605-617 (2018 年 01 月 30 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

- 1. [ポスター発表・国内会議(単独)] 村野井均「さわやか3 組」の時制表現と段落分けの手がかり」 日本発達心理学会第30回総会(東京)[2019年03月17日]
- 2. [ポスター発表・国内会議(共)] 村野井均・藤井とし子「幼児教育番組における2次元と3次元の混合の実態」日本教育心理学会第60回総会(日吉市)[2018年09月15日]
- 3. [ポスター発表・国内会議(単独)] 村野井均「アニメ『サザエさん』における時制表現の一貫性とメディア・リテラシー」日本心理学会第81回大会(久留米市)[2017年09月21日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. [出前授業]茨城県立緑岡高等学校 模擬授業講師 (2018年10月)
- 2. [出前授業]学校法人田中学園水戸葵陵高等学校 模擬授業講師(2018年9月)
- 3. [出前授業] 茨城大学 オープンキャンパス講師 (2018年7月)
- 4. [出前授業]日大岩瀬高等学校 模擬授業講師 (2018年2月)
- 5. [出前授業] 県立伊奈高等学校 模擬授業講師(2017年12月)
- 6. [出前授業] 茨城県立土浦第二高等学校模擬授業(2017年11月)
- 7. [出前授業] 茨城県立藤代高校模擬授業(2017年10月)
- 8. 「出前授業〕 茨城大学・水戸葵陵高等学校模擬授業(2017年09月)
- 9. 「出前授業〕 茨城大学・福島県県立いわき総合高校講師(2017年09月)
- 10. [公開講座] 茨城大学·茨城大学公開講座講師(2017年07月)
- 11. 「出前授業」栃木県立烏山高等学校(2017年06月)
- 12. 「出前授業」 茨城県立佐竹高等学校 模擬授業(2017年06月)
- 13. [出前授業] 茨城県立 伊奈高等学校 (2009年11月)
- 14. 「出前授業」福島県立 白河高等学校 (2009 年 10 月)
- 15. [出前授業] 茨城県立 石岡高等学校 (2009年10月)
- 16. [出前授業] 学校法人尚志学園 尚志高等学校(福島県郡山市)(2009年10月)
- 17. 「出前授業〕青森県青森東高等学校・講師 (2007年11月~
- 18. [その他] 水戸市教育委員会・講師, (2007年03月)
- 学協会での役職
- 1. 日本教育メディア学会,編集委員(2010年~)
- 2. 日本教育メディア学会, 常任理事(2006年10月~)
- 3. 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員(2017年12月~2018年11月)
- 講演会・シンポジウム
- 1. 「シンポジウム『映像文化変容の中での子どものテレビ理解 教育テレビ60年を機に考える-』 (国内)」,日本発達心理学会第30回大会(東京)[企画者・パネリスト](2019年03月)
- 2. 「シンポジウム『映像理解を捉え直すー学習と教育をめぐってー』(国内)」, 日本教育心理学会第60回総会(日吉市)[企画者・パネリスト](2018年09月)
- 3. 「豊島区子ども福祉研修(国内)」, 豊島区子ども家庭部 子ども課(豊島区上池袋コミュニティーセンター) 「招待講演」(2017年11月)
- 4. 「シンポジウム『学校放送番組とメディア・リテラシー』(国内)」, 第 24 回日本教育メディア学会(茨城県水戸市) [パネリスト] (2017 年 09 月)
- 5. 「茨城大学高校生向け公開講座」、茨城大学(茨城大学) 「招待講演] (2017年07月)
- 6. 「茨城大学図書館土曜アカデミー(国内)」,茨城大学図書館(茨城大学図書館本館3階 ライブラリーホール) [招待講演] (2017年 06月)

- 7. 「放送大学ライブラリー講演会(国内)」, 放送大学茨城学習センター(茨城県立図書館視聴覚ホール)[招待講演](2017年05月)
- 地域協力活動
- 1. 茨城高等学校教育研究会 衛生看護部会[地域貢献事業]「神秘現象へ関心を持つ青年たちとつき合うために 一催眠実習一」『茨城高等学校教育研究会衛生看護部会年次大会』(2016年02月~) 2. 茨城県立清松高等学校(2010年03月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費]基盤研究(c)(分担)「メディアインフォメーションリテラシーの構成要素に基づく教育プログラムの 開発と評価」, 10 万円 (2017 年 04 月 01 日~2020 年 03 月 31 日)
- 2. [科研費]基盤研究(B)(海外学術)(分担)「広告における栄養強調表示が保健行動の促進と抑制 に及ぼす影響に関する国際比較研究」,10万円(2017年04月01日~2020年03月31日)
- 3.[放送文化基金](代表)「NHK 教育テレビが果たしてきたメディア・リテラシー機能の検証」,40万円,放送文化基金助成金【人文社会・文化】(公益財団法人 放送文化基金)(2017年04月01日~2018年03月31日)

学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室

氏名 望月 厚志

教員履歴など

DAIRIE-SC	
現職	教 授
学歴•職歴	立教大学 文学部 教育学科教育学専攻課程[1978年卒業] 立教大学大学院 文学研究科 教育学専攻[1987年単位取得満期退学]
学位	文学修士[立教大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本生涯教育学会,日本教師教育学会,日本教育社会学会,日本教育制度学会,関東教育学会,日本キャリアデザイン学会
専門分野	生涯学習, 社会教育, 教師教育 教育学
教育研究概要	I. 教育活動 1. 授業関係 ①学部:教育実践と教師,社会教育演習,社会教育実習,生涯学習論,社会教育,卒業研究(卒業論文)指導,教育実習指導,総合科目(人間と社会),担当。②大学院:生涯教育論特論,生涯教育論演習,学校教育総合研究 II,特別課題研究(修士論文)指導,担当。2. 学生指導 ①2005 年度入学生学年担任,②委託生指導,③全学就職センター相談員。3. 学外関係①社会教育主事講習(文部科学省),②栄養教論認定講習(茨城県教育委員会),②10 年経験者研修講座(茨城県教育研修センター),③社会教育基礎講習(茨城県教育委員会・茨城大学),④茨城県教育研究連盟研究集会(茨城県教育研究連盟),⑤高校での大学模擬授業,担当。 II. 研究活動 ①「教師の生涯学習に関する調査研究」(研究業績一覧を参照)。②「教師のキャリア・デザイン」及び「キャリア教育」の研究。③「学校評議員」制度の機能確立のための地域・学校連携システムの開発(科学研究費補助金研究)の研究。
担当科目	(専門科目)教育実践と教師(教職共通)/教育実践と教師[人環用教職]/教育実践と教師(教職共通),教育実践と教師(教職共通),中等教育教師論(人文・理学部向け)/中等教育教師論(人・理・工・農対象),中等教育教師論(人・理・工・農対象),教育実践科学研究,生涯学習概論《学芸員:要件外》,社会教育,生涯学習論(教職共通)/生涯学習論(情報・人間),社会教育実習,卒業研究(教育:4単位)(大学院科目)課題発見実習,学校適応アセスメント実習,地域教育経営と「開かれた学校づくり」演習,学校運営開発実習Ⅰ,教育方法開発実習Ⅰ,児童生徒支援実習,学校適応支援実習,学校運営開発実習Ⅱ,教育方法開発実習Ⅱ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など
研究業績(2)学会発表など
研究業績(3)芸術・体育系の活動
社会的活動、地域貢献など
海外出張・海外研修・内地研修など
科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室

氏名 小川 哲哉

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	茨城大学 教育学部[1983 年 03 月卒業] 広島大学大学院 教育学研究科 教育学専攻[1985 年 03 月修了] 広島大学大学院 教育学研究科 教育学専攻[1988 年 09 月中退] 広島大学大学院 教育学研究科 教育人間科学専攻[2005 年 03 月修了]
	九州産業大学 教授(2001年4月~2004年3月) 九州産業大学大学院 教授(2004年4月~2010年3月) 茨城大学教育学部 教授(2010年4月~)
学位	教育学修士[広島大学] 博士(教育学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本道徳教育学会 日本道徳教育方法学会 日本ペスタロッチー・フレーベル学 会 教育哲学会
専門分野	教育学、教育哲学、道徳教育学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間・文化系科目/人間とコミュニケーション (専門科目)教育哲学特講,教育の本質と理念(教職共通),道徳と価値の教育(人文・理学部向け),教育史演習 I,教育の本質と理念(教職共通)/教育の本質と理念(教職共通)/教育の本質と理念(教職共通),教育実践科学研究,卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)教師のライフステージと資質向上,アクティブ・ラーニングの理論と実践,課題発見実習,学校適応アセスメント実習,校内研修の企画・立案と実践,学校運営開発実習 I,教育方法開発実習 I,児童生徒支援実習,学校適応支援実習,学校運営開発実習 II,教育方法開発実習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 1. [単行本(学術書)単著]小川哲哉「主体的・対話的な<学び>の理論と実践-「自律」と「自律」を 目指す教育-」青簡舎、全 214(2018 年 7 月 18 日)
- 2. [単行本(学術書)・共著]小川哲哉「教職についての省察と教師の力量形成」, 福村出版, 38-56 (2018 年 02 月 28 日)

3. [単行本(学術書)・共著]佐喜本愛・小川哲哉・勝山吉章「歴史に学ぶ日本の教育」, 青簡舎, p.p.36-54, p.p.73-87(2017年04月01日)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 関東地区中学校道徳教育研究会 茨城大会, 道徳スーパーバイザー(2017年04月~)
- 2. 茨城町総合計画審議会,委員(2017年02月~)
- 3. 茨城町都市計画審議会, 委員(2016年12月~)
- 4. 笠間市教育委員会外部評価委員会,外部評価委員長(2016年10月~2018年03月)
- 5. 関東地区小学校道徳教育研究会 茨城大会, 道徳教育スーパーバイザー(2016 年 04 月~2017 年 03 月)
- 6. 茨城県教育委員会, 新いばらき教育プラン策定懇話会委員(2015年~)
- 7. 茨城県, 茨城県総合計画審議会委員(2015年~2017年)
- 8. 日本ペスタロッチー・フレーベル学会, 理事(2015年~)
- 9. 茨城県教育委員会, 道徳教育推進委員会委員長(2014年~)
- 10. 日本道徳教育方法学会, 理事(2013年~)
- 11. 茨城県立水海道第一高等学校評議員(2017年~)
- 講演会・シンポジウム
- 1. 「ともそだち塾 「特別の教科 道徳の指導について」(国内)」(茨城町教育委員会)[招待講演] (2018 年 2 月)
- 2.「ひたちなか市教育研究会 「道徳科授業についての研修」(国内)」,(ひたちなか市市毛小学校) 「招待講演](2017 年 12 月)
- 3. 「高萩市授業力向上研修会 指導講話(国内)」,(高萩市立高萩小学校)[招待講演](2017年12月)
- 4. 「平成 29 年度文部科学省「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業 新潟県教育委員会委託研究 新潟県立柏崎翔洋中等学校道徳授業研究会 講話:高等学校の道徳教育あり方ー茨城県の事例を通して一(国内)」,(新潟県立柏崎翔洋中等学校)[招待講演](2017 年 11 月)
- 5. 「茨城県教育委員会 高校教育課主催: 道徳プラス実践セミナー(第3回) 講話: 幡谷祐一の生き 方から学ぶ道徳教育(国外)」, (茨城県立常陸大宮高等学校)[招待講演](2017年11月)
- 6. 「茨城県教育委員会 高校教育課主催:道徳プラス実践セミナー(第2回) 講話:道徳プラスの授業実践の分析と指導上の注意点(国内)」, (茨城県教育研修センター) [招待講演] (2017年08月)

- 7. 「土浦市教育委員会 ヤングボランティア育成指導者研修会 講話:青少年ボランティア活動における指導者の心構え(国内)」, (茨城県県南生涯学習センター) [招待講演] (2017 年 08 月)
- 8. 「茨城県教育研究会「道徳科授業についての研修」: テーマ「考え、議論する道徳科」の授業づくりについて(国内)」,(ひたちなか市立市毛小学校) [招待講演](2017年08月)
- 9.「利根町道徳教育研修会 講話:「特別の教科 道徳」について(国内)」,(利根町役場)[招待講演](2017年08月)
- 10. 「高萩市教育委員会「いきいきはぎっ子育成事業」道徳講演会(国内)」,(高萩市立高萩小学校) 「招待講演](2017年07月)
- 11. 「茨城県高等学校教育研究会 数学部総会 講話:主体的な学習活動の可能性-理数系の問題解決学習の一事例より- (国内)」,(茨城県立水戸第三高等学校)[招待講演](2017年06月)
- 12. 「茨城県教育委員会 高校教育課主催: 道徳プラスセミナー(第1回)講話: 道徳プラスの授業のあり方(国内)」, (茨城県教育研修センター) [招待講演] (2017年05月)

海外出張・海外研修・内地研修など

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費]基盤研究(c)(代表)「教師・生徒の言説分析による高等学校討議型道徳授業の理論構築と授業開発」,364万円(2017年06月23日~2019年03月31日)

学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室

氏名 佐藤 環

教員履歴など

現 職	教 授
学歴·職歴	慶應義塾大学 文学部 史学科国史学専攻[1984年03月卒業] 広島大学大学院 教育学研究科 教育学専攻[1992年03月修了] 広島大学大学院 教育学研究科 教育学専攻[1995年03月単位取得満期退学] 茨城大学教育学部・教授(2012年~)
学位	修士(教育学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	茨城近現代史研究会 中等教育史学会 日本教育史研究会 全国地方教育史学 会 教育史学会
専門分野	教育学
教育研究概要	
教育驯九枫安	(キーワード)藩校教育史, 武芸, 弓術, 試験制度, 近代中等教育史
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ(教育学部),歴史・考古学 (専門科目)学校教育課程論,教育史特講,学校教育課程論,教育実践科学研究,学校と教育の歴史,教育史演習 II,幼児教育課程論 (大学院科目)教育課程編成の計画と実践,学校教育総合研究,地域教育資源フィールドスタディ,教材研究と授業設計 I,課題発見実習,学校適応アセスメント実習,学校教育と現代社会,学校運営開発実習 I,教育方法開発実習 I,児童生徒支援実習,学校適応支援実習,学校運営開発実習 II,教育方法開発実習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- 1. [(MISC)研究論文単著]佐藤環「幼小接続・連携を担保する生活科の在り方」,『生活科内容と指導に関する実践的課題』, 9-16(2017 年 12 月 18 日)
- 2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]佐藤環・菱田隆昭「小学校との接続・連携を強化する幼稚園のカリキュラムマネジメント」, 茨城大学教育実践研究, 36, 281-295(2017 年 11 月)
- 3. [研究論文(学術雑誌)単著【依頼/招待】]佐藤環「茨城県における女子中等学校の展開」, 茨城県近現代史研究, 1, 26-39(2017年04月)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 行政機関等での委員就任
- 1.「茨城町立青葉中学校学校関係者評価委員」
- 2.「水戸家庭裁判所委員会委員」
- 3.「水戸市社会教育委員」
- 4. 「茨城町立青葉中学校学校評議員」茨城町教育委員会
- 兼業・兼職
- 1. [非常勤講師] 茨城キリスト教大学・非常勤講師(2014年04月~)
- 学協会での役職
- 1. 茨城県近現代史研究会, 副会長(2016年04月~)
- 2. 全国地方教育史学会, 事務局長(2012年06月~2017年05月)
- 3. 全国地方教育史学会, 常任幹事(2011年05月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領	

学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室

氏名 神永 直美

教員履歴など

現 職	教 授
	東京学芸大学 教育学部 幼稚園教員養成課程[1983 年 03 月卒業]
What white	東京学芸大学大学院 学校教育学専攻 幼児教育学講座[1991年03月修了] 在アルジェリア日本国大使館附属日本人学校教諭(1983年4月~1985年3月)
学歴・職歴	茨城大学教育学部附属幼稚園教諭·研究主任·園内教頭(1985年4月~2006年3
	月) 茨城女子短期大学(2006 年 4 月~2017 年 3 月)
学位	
受賞歴	なし
所属学会	日本保育学会 日本保育者養成教育学会 日本ペスタロッチー・フレーベル学会 日本音楽療法学会 日本子ども社会学会 絵本学会
専門分野	教育学
教育研究概要	
教育研先慨安	(キーワード)幼児教育 保育 遊び 環境 教育課程 保育者研修 子育て支援
担当科目	(専門科目) 幼児教育の内容と方法, 保育内容の研究(健康), 保育内容の研究(言葉), 保育内容の研究(人間関係), 保育内容の研究(表現), 保育内容の研究(環境), 卒業研究(教育:4単位), 子どもと人間関係, 教育実践科学研究, 家庭教育と子ども, 子どもの研究の基礎, 現代教育実践課題, 学校教育総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
- 1. 〔著書〕(単)『フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画』(萌文書林.2018)全 143 頁
- 2. 〔著書〕(分・単)佐藤康富編著『新しい保育原理』(大学図書出版.2018)52-64 頁, 110-121 頁
- 3. 〔著書〕(分・単) 咲間まり子編著『生活科と幼児教育』(大学図書出版.2018) 109-119
- 4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)](単)「幼児の保育・教育の視点から見た際学発生時の対応について」『日本学校救急看護学会学校救急看護研究』第 10 巻第 1 号, 8-13 頁
- 5. [研究論文(大学, 研究機関紀要)]神永 直美, 佐藤 豊, 助川 公継, 海野 富江, 角田 雅昭, 安藤 みゆき, 橋本 祥子, 馬立 明美, 富田 浩子, 長谷部 はるか, 廣部 朋美「教育活動研究報告「保育実践演習」の授業内容の検討:「いっしょに遊ぼう」の実践を通して」, 茨城女子短期大学紀要 = Bulletin of Ibaraki Women's Junior College, 44, 57-14(2017年)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [シンポジウム・ワークショップ パネル(公募)・国内会議(共同)]「保育・子育て支援の場における音楽療法活用の可能性」日本保育学会 第70回大会(岡山 川崎福祉大学)[2017年05月21日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 行政機関等での委員就任
- 1.「那珂市総合開発審議会」那珂市[委員](2017年9月~2018年3月)
- 2. 「茨城県就学前教育・家庭教育推進体制検討委員会」[委員長](2017年6月~2918年3月)
- 3. 「東海村子ども・子育て会議」東海村長 山田 修[副委員長・委員長](2014年7月~現在に至る)
- 4. 「茨城県教育委員会 幼児教育指導員」[指導員](2016年7月~2017年3月)
- 5.「茨城県就学前教育・家庭教育推進協議会委員」〔委員〕(2018年4月~現在に至る)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

科学研究費 基盤研究(C) 「同僚および自己との対話による研修プログラム開発とその効果の検討」 (研究課題番号 15K00731) 2016 年度~2018 年度

学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室

氏名 今泉 友里

教員履歴など

現 職	助 教
学歴・職歴	東京大学 教育学部[2006 年 03 月卒業] 東京大学大学院 教育学研究科 学校教育高度化専攻[2008 年 03 月修了] 東京大学大学院 教育学研究科 学校教育高度化専攻[2016 年 03 月単位取得満 期退学] 神奈川大学 非常勤講師(2013 年~2017 年) 東京大学 特任研究員(2016 年 11 月~2018 年 2 月) 横浜国立大学 非常勤講師(2016 年~2018 年 3 月) 和光大学 非常勤講師(2016 年~2018 年 3 月) 茨城大学(2018 年 3 月~)
学位	修士(教育学)[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育学会、日本教師教育学会
専門分野	教育学
専門職養成としての教師教育の在り方について、理論と実践の往還という点えています。他の専門職との比較、北米で発展してきた教職専門開発学校の歴史研究を行っています。 (キーワード)教師教育 教師教育史	
担当科目	2018年3月着任のため、2017年度の担当科目なし。(2018年度担当科目(参考):教育実践と教師、教師のキャリアデザイン、学校・地域社会・保護者の連携、教育実践科学研究、大学入門ゼミ、茨城の教育改革と開かれた学校づくり、校内研修の企画・立案と実践、学校教育総合研究)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など ○学協会での役職 海外出張・海外研修・内地研修など

情報文化課程	氏名 小泉 晋弥
--------	----------

現職	数 抠
	教 授
	東京芸術大学 美術学部 芸術学科[1976年]
	東京芸術大学大学院 美術研究科 美術教育学[1978年]
	若関酒造株式会社(1979 年 4 月~1984 年 3 月)
	いわき市立美術館学芸員(1984年4月~1989年9月)
	若関酒造株式会社企画部長(1989 年 10 月~1990 年 3 月)
	郡山市教育委員会美術館建設準備室主査兼学芸員(1990年4月~1991年3月)
	郡山市教育委員会美術館建設準備室主任学芸員(1991年4月~1993年6月)
学歴・職歴	郡山市立美術館主任学芸員(1993年7月~1996年3月)
) /IE 194/IE	茨城大学教育学部助教授(1996年4月~2000年3月)
	東北大学文学部非常勤講師(平成 14 年 3 月まで)(1997 年 4 月~2002 年 3 月)
	東京芸術大学美術学部非常勤講師(現在に至る)(1999年4月~)
	茨城大学教授(現在に至る)(2000年4月~)
	愛知県立芸術大学非常勤講師(現在に至る)(2003年4月~)
	茨城大学教育学部附属中学校長(2011年4月~2014年3月)
	茨城大学教育学部副学部長(2014年4月~)
	茨城大学教育学部附属幼稚園長(2015年4月~)
学位	修士(芸術学)
受賞歴	なし
所属学会	美術評論家連盟 文化資源学会 大学美術教育学会 美術史学会
専門分野	日本近代美術史 博物館学 美術批評
	五浦時代の岡倉天心および近代彫刻史の研究を行っている。また美術館での鑑
	賞教育についての実践的, 理論的研究を行うとともに, 現代美術家の作品に対す
教育研究概要	る研究・評論活動を行っている。
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ(教育学部)/主題別ゼミナール, 人間と文化(博物館概
	論)/楽しい博物館―MUSEUM 入門―
	(専門科目)日本美術史特別演習 I,造形美学/造形理論,博物館学 III/博物館学
	Ⅲ(資料論)/博物館学 III(資料論), 表象文化論, 日本美術史 I, メディア批評プロ
	ジェクト I, 地域活動プロジェクト I, 現代アート論/現代美術論, 楽しい博物館―
	MUSEUM 入門一, 保育内容の研究(表現), 日本美術史 II, メディア批評プロジェク
	I

トII, 地域活動プロジェクトII, 視聴覚教育メディア論/マルチメディア表現の理論及び演習, 卒業研究(教育:4 単位), 日本美術実地研究/古美術実地研究, 博物館実習II, 博物館実習 I(校内実習), 美術概論

(大学院科目)日本美術史研究,美術文化総合研究,美術教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○論文「路傍ノート: 「照明用ガス」と「落ちる水」」『ドキュメント 川嶋清 彫刻の黙示 路傍・渕・水 量』いわき市立美術館/川越市立美術館/読売新聞社/美術館連絡協議会, pp.4-7, 2018 年

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
 - 1. 「兼業]字都宮美術館美術作品等収集評価委員会委員(2012年04月~)
 - 2. [兼業]茨城県近代美術館美術資料収集委員会委員長(2015年09月~)
 - 3. 「兼業] 茨城県近代美術館美術資料収集委員会委員長(2015年09月~)
 - 4. [兼業]高校教育改革に係る県高等学校審議会委員(2017年12月~)
 - 5. 「兼業] 茨城県伝統工芸士認定制度検討会委員(2016年6月~)
 - 6. 「兼業]茨城県立笠間高等学校学校評議員(2016年6月~)
 - 7. [非常勤講師]愛知県立芸術大学美術学部(2004年4月~)
 - 8. [非常勤講師]東京芸術大学美術学部(2006年6月~)
 - 9. [非常勤講師]多摩大学美術学部(2008年11月~)
 - 10. [兼業]公益財団法人 日本美術院 大臣賞選考に関する外部委員(2012年5月~)
 - 11. [兼業]茨城県立高等学校入学者選抜協議会委員(2017年6月)

海外出張・海外研修・内地研修など

情報文化課程	氏名 乾 康代
--------	---------

現 職	教 授	
学歴・職歴	大阪大学 文学部 哲学科 哲学 哲学史[1977 年卒業] 大阪工業大学 工学部 建築学科[1990 年卒業] 大阪市立大学大学院 生活科学研究科 生活環境学[2000 年単位取得満期退学]	
学位	学術博士[大阪市立大学] 工学修士[京都工芸繊維大学]	
受賞歴	なし	
所属学会	都市住宅学会 日本都市計画学会 日本家政学会 日本建築学会	
専門分野	都市計画·建築計画 衣·住生活学	
教育研究概要	(キーワード)	
担当科目	(教養科目)公共社会 (専門科目)保育内容の研究(環境),初等家庭科内容研究,住環境計画学(教科 又は教職)/住環境計画学(生活デザイン),住居計画学(情報文化課程)/住居学概 論,初等家庭科内容研究,住居環境学/住居環境学(情報文化)/住居環境学(情報文化)/住居環境学(情報文化)/住居環境学,居住地計画演習,住居デザイン I/設計製図 I(情報文化),卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)初等生活科学総合研究	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

乾 康代: 『原発都市 歪められた都市開発の未来』, 幻冬舎メディアコンサルティング, 2018

研究業績(2)学会発表など

乾 康代:原子力発電所立地地域における廃炉後の地域再生の課題 -イギリスとの比較から-,日本都市計画学会 都市計画論文集 52-3,2017 年 10 月

乾 康代:東日本大震災後の全国自治体の避難者支援,東日本大震災合同調査報告書(建築), pp.59-62, 2017年5月

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 行政機関等での委員就任
- 1. 「水戸市空家等対策協議会」水戸市

- 2.「高萩市空家等対策協議会」高萩市
- 学協会での役職
- 1. 日本建築学会, 建築社会システム本委員会幹事(2016年 04月~2018年 03月)
- 2. 日本建築学会, 関東支部茨城支所常任幹事(2002年04月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

ドイツ・ルブミン村およびルブミン村周辺[インタビュー調査のため](2017年9月:4日間)

- 共同研究・受託研究
- 1. [国内共同研究] 「エネルギー政策転換期における原発立地地域の廃炉後のまちづくりに関する研究」, 大林財団 (2017 年)

教具履歴なる	
現 職	教 授
	茨城大学 教育学部 美術[1980年卒業]
	東京芸術大学大学院 美術研究科 形成デザイン[1988 年修了]
	茨城県取手市立第二中学校教諭(1980年4月~1984年3月)
	茨城県取手市立戸頭中学校教諭(1984年4月~1986年3月)
学歴・職歴	東京学館総合技術高等学校工芸科非常勤講師(1988年4月~1990年3月)
	桐生短期大学生活デザイン科専任講師(1990年4月~1993年3月)
	茨城大学講師 教育学部(1993年4月~1995年3月)
	茨城大学助教授 教育学部(1995年4月~2004年9月)
	茨城大学教授 教育学部 (現在に至る)(2004年10月~)
学位	芸術学修士
	かながわ地球環境保全ポスターコンクール優秀賞(1999)
受賞歴	第 7 回 NAAC 展 TGC 部門 TGC 賞 (1989)
又貝庇	第 66 回二科展商業美術部特選賞(1981)
	第 64 回二科展商業美術部特選賞(1979)
所属学会	日本デザイン学会 大学美術教育学会
専門分野	視覚デザイン
	(教員からのメッセージ) デザインをはじめとする美術の世界は、作品を作ることによ
	ってそこに込められたテーマや作者のこころなどを見せていくものだと考えていま
	す。広告のキャッチ・コピー的に言うならば「見えるものを作り、見えないものを見せ
	る」ということです。 近代デザインの歴史は、19 世紀末のウィリアム・モリスからはじま
	ります。その後、アール・ヌーボーやアール・デコ、バウハウス、モダンデザイン等時
数	代とともにデザインは進化してきました。現在巷では「日本の独自の文化はマンガと
教育研究概要	アニメ」などとも言われます。そんな、モリスからジャパニメーションまで、視覚伝達デ
	ザインやイラストレーション、CGなどのさまざまな「見せるもの」と映画や広告、マン
	ガ、アニメーションなどの「見えるもの」の面白さを研究しています。
	イラストレーションによる視覚伝達デザインの研究と制作
	(キーワード)平面デザイン(イラストレーション、コンピュータ・グラフィック、広告、ポ
	スター)、映像(映画、アニメーション)
担当科目	(基盤科目)大学入門ゼミ(教育学部)

像処理(中級)/ Illustrator で DTP(初級)/情報文化広報プロジェクト I・Ⅱ/映像工 房プロジェクト I・Ⅱ/子ども文化プロジェクト I・Ⅱ/

図画工作科内容研究/デザイン実技概論/デザイン I/デザイン II/デザイン表現演習 I・II

卒業研究(教育:4 単位)

(大学院科目)工芸・デザイン研究,美術文化総合研究,美術教育授業設計,デザイン研究 I, デザイン演習 I, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[芸術活動(共同)]茨城県芸術祭美術展(2017年10月)

[芸術活動(共同)]茨城県芸術祭映像コンクール(2017年10月)

[芸術活動(共同)]茨城県芸術祭美術展(2016年10月)

[芸術活動(共同)]茨城県芸術祭映像コンクール(2016年10月)

「芸術活動(共同)]第9回現代茨城作家美術展出品(2016年01月)

[芸術活動(共同)]茨城県芸術祭美術展(2015年 10月)

「芸術活動(共同)]茨城県芸術祭映像コンクール(2015年10月)

[芸術活動(共同)]茨城県芸術祭美術展(2014年10月)

「芸術活動(共同)]茨城県芸術祭映像コンクール(2014年10月)

「芸術活動(共同)]第8回現代茨城作家美術展出品(2014年01月)

[芸術活動(単独)]茨城県芸術祭美術展(2012年10月)

[芸術活動(単独)]茨城県芸術祭映像コンクール(2012年10月)

「芸術活動(共同)]第7回現代茨城作家美術展出品(2012年01月)

[芸術活動(単独)]茨城県芸術祭映像コンクール(2011年10月)

[芸術活動]茨城県水質保全協会ロゴマーク選考委員(2011年 02月)

[芸術活動]いばらきロケ大賞審査員(2010年 12月)

[芸術活動]茨城県芸術祭映像コンクール(2010年10月)

[芸術活動]個展: UTAKI•群耀図(2010年06月)

[芸術活動]個展: UTAKI · Selection 2007 - 2010 (2010 年 04 月)

[芸術活動]第6回現代茨城作家美術展出品(2010年01月)

[芸術活動] 茨城県芸術祭映像コンクール (2009年10月)

[芸術活動]個展: DIGITAL STAGE 2009 UTAKI · HIKARI (2009 年 06 月)

[芸術活動]茨城県多文化共生社会推進事業マンガせりふコンテスト(2009年01月)

[芸術活動]第23回国民文化祭映像文化フェスティバル(2008年09月)

[芸術活動]個展: DIGITAL STAGE 2008 UTAKI·SORA (2008 年 06 月)

[芸術活動]個展:DIGITAL STAGE 2008 UTAKI ひかりのうまれるところ(2007年 05月)

[その他]個展:DIGITAL WORKS 2004-2006 (2006 年)

[その他]第4回現代茨城作家美術展(2005年)

[芸術活動]個展: DIGITAL STAGE 2005 (2005 年)

[芸術活動]個展: DIGITAL STAGE 2004 (2004年)

[芸術活動]第3回現代茨城作家美術展(2003年)

[芸術活動]個展: DIGITAL STAGE 2002 (2002 年)

「芸術活動]さかなの絵コンクール(2002年01月)

[芸術活動]第2回現代茨城作家美術展(2001年)

[芸術活動]個展:DIGITAL STAGE 2000 (2000 年)

「芸術活動〕かながわ地球環境保全ポスターコンクール優秀賞(1999年)

[芸術活動]JACA'99 日本ビジュアルアート展入選(1999年)

[芸術活動]個展:OUTER ZONE 展(1998年)

[芸術活動]個展:水性思考展(1997年)

「芸術活動] 「林十江に捧ぐ」展(1997年)

[芸術活動]第1回 ART BOX CG ポスターグランプリ展入選(1997年)

[芸術活動]オペル・デザインコンテスト'97 入選(1997年)

[芸術活動]福岡コンピュータ・グラフィックス展入選(1996年)

[芸術活動]JACA'96 日本ビジュアルアート特別展入選(1996年)

[芸術活動]JACA'95 日本ビジュアルアート展入選(1995年)

[芸術活動]JACA'94 日本ビジュアルアート展入選(1994年)

「芸術活動]第5回柏市文化フォーラム104大賞展・TAMON賞展入選(1994年)

[芸術活動]個展:島田裕之 水・世・界展(1993年)

[芸術活動]個展:DIGITAL STAGE·WATER LAND 展(1992年)

[芸術活動]JACA'90 日本イラストレーション展入選(1990年)

[芸術活動]第 7 回 NAAC 展 TGC 部門 TGC 賞受賞(1989 年)

[芸術活動]現代茨城の美術展・出品(1989年)

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領	

情報文化課程	氏名 佐々木 忠之
--------	-----------

現職	教 授	
学歴・職歴	北海道大学 理学部 物理学[1981年] 北海道大学大学院 工学研究科 生体工学[1984年] 国立身体障害者リハビリテーションセンター 研究所 福祉機器開発部福祉機器開発室 研究員(1984年10月~1990年3月) 茨城大学助教授 教育学部情報教育講座(1990年4月~2004年9月) 茨城大学教授 教育学部情報文化教室(2004年10月~)	
学位	工学修士	
受賞歴	なし	
所属学会	日本視覚学会 人間工学会 日本特殊教育学会 計測自動制御学会 日本機械学会 バイオメカニズム学会 電子情報通信学会 日本ロボット学会 日本音響学会 日本 ME 学会	
専門分野	感覚情報工学 福祉工学	
教育研究概要	福祉工学、感覚情報工学 (キーワード)	
担当科目	(教養科目)コミュニケーション論,美術文化 (専門科目)生活デザイン演習 II,情報処理技術/感覚の科学,静止画像処理(初級)/情報処理の基礎技術 I,情報処理の基礎技術 II,生活デザイン演習 I,情報教育入門,卒業研究(教育:4単位),情報処理の応用技術/情報技術演習 I/情報技術演習 (大学院科目)技術と生活総合研究,技術科授業設計	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

I .	
研究業績(2)学会発表など	
伽先来網(2)子完金衣なと	

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など	
科学研究費補助金などの受領	

情報文化課程 氏名 岩佐 淳一

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	中央大学大学院文学研究科社会学専攻博士課程単位取得退学[1990年]
学位	文学修士[中央大学,1985年]
受賞歴	なし
所属学会	日本社会情報学会 日本社会学会 日本マス・コミュニケーション学会 日本タイ学会 情報通信学会、日本出版学会
専門分野	社会情報論、メディア社会学、マス・コミュニケーション論
教育研究概要	地域情報化、地域メディアに関する研究およびタイ東北部の地域情報に関する研究
	(キーワード)地域情報、市民メディア
担当科目	(専門科目)社会文化情報演習 II, マス・コミュニケーション論(社会情報)/マス・コミュニケーション論(中教科:社会), 社会学特講/情報社会論, 卒業研究(教育:4 単位), インターンシップ, フィールドワークの科学, メディア・リテラシー II, プロジェクト演習, 地域メディア論、メディアと市民社会,マスメディア入門、メジャー基礎ゼミナール

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

岩佐淳一「茨城県における有線放送電話の展開」『茨城県近現代史研究』第二号、茨城県近現代史研究会、2018 年 5 月 18 日、pp.88-101.

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [ロ頭発表(一般)・国内会議(単独)] 岩佐淳一「茨城県における放送メディアの展開―有線放送 電話を中心として一」茨城県近現代史研究会例会(茨城県水戸市)[2018 年 03 月 17 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 地域協力活動
- 1. 社団法人茨城県経営者協会[学外審議会・委員会等]「社団法人茨城県経営者協会地域関係委員会特別委員」(2016 年 04 月~現在に至る)
- 2. 茨城県東海村情報公開・個人情報保護審査会委員(2018年7月1日~現在に至る)
- 3.茨城県東海村行政不服審査会委員(2017年7月1日~現在に至る)

海外出張・海外研修・内地研修など

タイ バンコク チュランロンコーン大学政治学部客員教授(2014年6月1日~9月20日)

情報文化課程	氏名 野崎 英明
--------	----------

現 職	教 授
学歴•職歴	東北大学 工学部 機械工学第二[1983 年卒業] 東北大学大学院 工学研究科 機械工学第二[1985 年修了]
学位	工学修士[東北大学] 博士(工学)[茨城大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本鉄鋼協会 日本産業技術教育学会 日本金属学会 日本機械学会
専門分野	教科教育学 機械材料·材料力学
教育研究概要	(1) 不均質材料のマイクロメカニックス 複合材料のフィラーや金属中の析出物等 の不均質物の形状が周辺の応力分布,および材料の全体特性に及ぼす影響について理論的・数値的に解析する。(2) 中学校技術科教育・教材に関する研究
	(キーワード)
担当科目	(基盤教育科目)大学入門ゼミ(教育学部),情報リテラシー (専門科目)構造力学,金属加工演習,金属加工概論,金属加工学,技術科指導法(金属加工実習)/金属加工の基礎技術,製図II,金属加工の応用技術,教職実践演習(教諭),現代教育の実践的課題,卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)技術と生活総合研究,金属工学特論,技術科授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

J. Lee, H. Nozaki and H. Lee, "Analysis of stress field in a single anisotropic diamond/square shaped inclusion using the volume integral equation method and the numerical equivalent inclusion method," Composite Interfaces, Vol.25, issue 3, Taylor & Francis, pp. 221-229 (2017)

小祝達朗, 久松宏紀, 川崎裕典, 野崎英明, 「中学校技術科金属加工学習のための飲料用アルミニウム缶矯正装置の開発」茨城大学教育学部紀要(教育科学)66 号, pp. 387-398(2017)

研究業績(2)学会発表など

技術科金属加工学習における技能の内容分析に基づくスキル調査

小祝達朗, 大谷忠, 野崎英明, 坂本智

日本産業技術教育学会 第60回全国大会(弘前)

2017/08/26

技術科金属加工における実技の遂行結果と能力・態度の関連について

小祝達朗, 大谷忠, 野崎英明, 坂本智

日本産業技術教育学会 第29回関東支部大会(群馬)

2017/12/10
研究業績(3)芸術・体育系の活動
社会的活動、地域貢献など
○ 学協会での役職
1. 日本産業技術教育学会, 評議員(2011年 04月~)
2. 日本産業技術教育学会,関東支部会理事(2011年04月~)
海外出張・海外研修・内地研修など
科学研究費補助金などの受領

情報	文化課程	氏名	甲斐 教行

現 職	教 授		
学歴・職歴	早稲田大学 社会科学部 社会科学科[1985 年卒業] 早稲田大学 第二文学部 美術専修[1987 年卒業] 東京芸術大学大学院 美術研究科 西洋美術史[1990 年修了] 東京芸術大学大学院 美術研究科 西洋美術史[1997 年単位取得満期退学] 順天堂大学(1997 年 10 月~1998 年 3 月) 東京芸術大学(1997 年 4 月~2000 年 3 月) 大妻女子大学(1997 年 4 月~2000 年 3 月) 都留文科大学(1997 年 4 月~2000 年 3 月) 青山学院大学(1998 年 4 月~2000 年 3 月) 千葉大学(1999 年 10 月~2002 年 3 月) 茨城大学(2000 年 4 月~2011 年 3 月) 青山学院大学(2007 年 4 月~2009 年 3 月) 実践女子大学(2007 年 4 月~2008 年 3 月) フィレンツェ大学(2009 年 5 月~2009 年 11 月) 放送大学(2010 年 10 月~2011 年 3 月) 茨城大学(2011 年 4 月~) マックス・プランク財団フィレンツェ美術史研究所(2016 年 5 月~2017 年 1 月)		
学位	博士(文学)[千葉大学] 芸術学修士[東京芸術大学]		
受賞歴	なし		
所属学会	中世哲学会 地中海学会 美学会 美術史学会		
専門分野	美術史		
教育研究概要	(研究経歴) 1994-2000 フェデリコ・バロッチ研究 1995-1996 ロレンツォ・ロット研究 1999-2005 サンティ・ディ・ティート研究 2005-08/2012-13 アレッサンドロ・フランキ研究 2009 マッテオ・ボネキ研究 2009-2017 コッラード・ヴィーニ研究 2015-現在 バッチョ・バンディネッリ研究 近世イタリアの宗教画研究/ファシズム期具象彫刻研究 イタリア美術史、とくに図像解釈学的研究を主要研究領域とする。これまで 16 世紀後半に活躍した画家フェデリコ・バロッチ、サンティ・ディ・ティート、19 世紀後半に活躍した画家アレッサンドロ・フランキ、20 世紀前半に活躍したフィレンツェの彫刻家コッラード・ヴィーニの作品研究を行ってきた。現在、16 世紀フィレンツェの彫刻家バッチョ・バンディネッリの		

	研究に取り組んでいる。
	(キーワード)イタリア、ルネサンス、図像解釈学、バロッチ、サンティ・ディ・ティート、
	対抗宗教改革、アレッサンドロ・フランキ、プリズモ、コッラード・ヴィーニ、ファシズ
	Δ,
	(教養科目)大学入門ゼミ(教育学部)/主題別ゼミナール, コミュニケーションと芸術
担当科目	文化, コミュニケーションと芸術文化
	(専門科目)西洋美術史 I, 図画工作科内容研究, 西洋美術史特別演習 I, 造形美
	学/造形理論,表象文化論,メディア批評プロジェクト I,美術作品論 III/西洋美術
	史 II/西洋美術史 II, 保育内容の研究(表現), 西洋美術史特別演習 II, メディア批
	評プロジェクト II, 卒業研究(教育:4単位), 日本美術実地研究/古美術実地研究,
	美術概論, 図画工作科内容研究, 図画工作科内容研究
	(大学院科目)美術文化総合研究,造形芸術学,美術教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書·論文等

- 1. [単行本(一般書)・共著]越川倫明、松浦弘明、甲斐教行、深田麻里亜「ラファエロー作品と時代を読む」,河出書房新社,25-55,247-250(2017年12月20日)
- 2. [単行本(学術書)・共編者]ジョルジョ・ヴァザーリ「ジョルジョ・ヴァザーリ『美術家列伝』第五巻」,中央公論美術出版,49-87,397-439(2017年12月)
- 3. [教科書・共編者] 『美術教育の理論と実践』編集委員会「美術教育の理論と実践」, BookWay, (2018 年 03 月 31 日)
- 4. [教科書・分担執筆]小泉晋弥、島剛、甲斐教行ほか「保育内容研究と指導法の実践的課題」, 茨城大学教育学部幼児教育実践研究会, pp.76-87(2018 年 01 月 31 日)
- 5. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】]Noriyuki Kai「Le sculture pubbliche di Corrado Vigni -catalogo ragionato」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), 24, (1)-(34)(2017 年 11 月 30 日)
- 6. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 単著【査読あり】] 甲斐教行「カルロ・デル・ブラーヴォ「カラヴァッジョとジャンロレンツォ・ベルニーニにおける光の意味」翻訳と解題」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), 24, 69-89(2017年11月30日)
- 7. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】]甲斐教行「カルロ・デル・ブラーヴォ「イタリア彫刻 一九二〇年一一九四〇年」翻訳と解題」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), 24, 91-124(2017年11月30日)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学外教育
- 1. [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「美術館アカデミー「盛期ルネサンス美術の三大巨匠ーレオナルド、ミケランジェロ、ラファエッロ」」, 2 時間, 50 名出席, 茨城県近代美術館(会場:日立市郷土博物館)(美術館アカデミー)
- 講演会・シンポジウム
- 1.「つくば人間学講座(国内)」,つくば人間学講座実行委員会(茨城県つくば市)[基調講演](2017年 09月)
- 2. 「茨城県近代美術館「美術館アカデミー」(国内)」, 日立市郷土博物館(茨城県日立市)[基調講演](2017年06月)
- 地域協力活動
- 1. 茨城県美術館協議会(2015年07月~2017年06月)
- 2. 東京藝術大学美術学部西洋美術史研究室(2011年04月~)
- 3. 水戸市芸術文化活性化事業実行委員会(2011年 04月~2018年 03月)

海外出張・海外研修・内地研修など

オーストリア ウイーン ウイーン国立劇場[研究における調査活動のため](2017 年 4 月~5 月:13 日間)

イタリア フィレンツェ フィレンツェ美術氏[資料収集のため](2017年7月~9月:64日間) イタリア フィレンツェ フィレンツェ美術史研究所[資料収集](2018年3月~4月:19日間)

情報文化課程	氏名 齋藤 芳徳
--------	----------

現 職	教 授
学歴・職歴	福島大学大学院 地域政策科学研究科[1997年修了] 京都大学大学院 工学研究科 環境地球工学専攻[2000年修了] 川崎医療福祉大学医療福祉学部・専任講師(2000年4月~2004年3月) 川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部・助教授(2004年4月~2006年9月) 茨城大学教育学部・准教授(2006年10月~2011年3月) 茨城大学教育学部・教授(2011年4月~)
学位	博士(工学)[京都大学] 修士(地域政策)[福島大学]
受賞歴	第 14 回インテリアデザインコンペ 2017/入選(2017) 第 4 回キッズデザインアイデアコンテスト/優秀賞(2017) 第 4 回キッズデザインアイデアコンテスト/特別賞(2017)
所属学会	日本建築学会 日本リハビリテーション工学協会
専門分野	デザイン学 リハビリテーション科学・福祉工学 都市計画・建築計画
教育研究概要	①デザイン思考の実践的研究 ②生活環境のユニバーサルデザインの研究 ・プロダクト(福祉工学, プロダクトデザイン) ・建築, インテリア(建築計画, 建築デザイン, インテリアデザイン) (キーワード)デザイン思考, 福祉工学, 建築計画, ユニバーサルデザイン(プロダク
担当科目	ト,インテリア,建築) (専門科目)人間工学,設計製図 II,設計製図 III,図学演習,図法および製図,インテリアデザイン演習,ユニバーサルデザイン演習,建築法規,特別演習 I,特別演習 II,地域活動プロジェクト I,地域活動プロジェクト II,卒業研究(大学院科目)デザイン研究 II,デザイン演習 II,工芸・デザイン研究,工芸・デザイン演習,美術文化総合研究,美術教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書·論文等

- 1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]齋藤芳徳「アクティブ・ラーニングによるアイデア創造のワークショップの実践研究(1)」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学, 芸術), 67, 57-72 (2018年01月)
- 2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]齋藤芳徳「アクティブ・ラーニングによるアイデア創造のワ

ークショップの実践研究(2)」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学, 芸術), 67, 73-88(2018年01月)

- 3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]佐藤裕紀子, 木村美智子, 石島恵美子, 齋藤芳徳「小学校新学習指導要領家庭科における記述内容の特徴と指導上の課題」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 349-361(2018年01月)
- 4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]齋藤芳徳「人間中心のデザイン思考による高齢者の車いすの研究開発(1)」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学, 芸術), 66, 51-65(2017 年 06 月)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[芸術活動(共同)]sharing box(2018年2月)

「芸術活動(共同)]らくちんランドリー(2018年1月)

[芸術活動(共同)]便利なスタイバック(2018年1月)

[芸術活動(共同)]just cut(2018年1月)

[芸術活動(共同)]いろあわせっと(2018年1月)

[芸術活動(共同)]リビングダイアリー(2018年1月)

[芸術活動(共同)]キャッチボールタップ(2018年1月)

[芸術活動(共同)]カウントブラシ(2018年1月)

[芸術活動(共同)]プラチナ・キッチン・ネットワーク(2017年11月)

[芸術活動(共同)]五感で感じる四季の空間(2017年10月)

[芸術活動(共同)]一人暮らしのおばあちゃんの家(2017年10月)

[芸術活動(共同)]ACTOR(2017年05月)

[芸術活動(共同)]AC3(2017年05月)

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. [非常勤講師] 茨城キリスト教大学・非常勤講師(2008年04月~)
- 2. [非常勤講師] 独立行政法人国立病院機構水戸医療センター付属桜の郷看護学校・非常勤講師 (2008 年 04 月~2018 年 3 月)
- 学協会での役職
- 1. 日本リハビリテーション工学協会, SIG 姿勢保持世話人(2001年08月~)
- 講演会・シンポジウム
- 1. 「デザイン・意匠権セミナー(国内)」, 栃木県工業振興課(栃木県宇都宮市) [基調講演,その他] (2018 年 02 月)
- 2. 「めぶき FG「ひざづめミーティング 2017」(国内)」, めぶき FG(茨城県日立市) 「基調講演,その他]

(201)	7 年	0.7	7月)

3. 「2017 年 SIG 姿勢保持講習会(国内)」, 日本リハビリテーション協会 SIG 姿勢保持(埼玉県)[司会・議長・コンビーナ・コーディネータ,企画・運営](2017 年 06 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領		

情報文化課程 氏名 齋木 久美

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	千葉大学大学院 教育学部 小学校教員養成課程[年]
学位	教育学修士[千葉大学]
受賞歴	茨城大学大学教育センター推奨授業表彰(2007)
所属学会	全国大学国語教育学会 全国大学書道学会 書学書道史学会 全国大学書写書 道教育学会 全国教育大学協会書道教育部門会 全日本書写書道教育研究会
専門分野	
教育研究概要	小中学校国語科書写における授業研究や効果的な学習指導法に関する研究を実践的に行っている。また、書字における幼小連携が円滑に行なわれるための支援 方法の検討や教材開発に取り組んでいる。
	(キーワード)書写書道教育 書字 手書き文字
担当科目	(教養科目)美術文化 (専門科目)初等国語科教育法研究 A~D, 漢字書法研究, 書道科教育法研究 I, 表象文化論, 初等書写内容研究 A~D, 保育内容の研究(言葉), 書道 III, 書道 I, 子ども文化プロジェクト I, 書道 II, 子ども文化プロジェクト II, 書論, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)言語文化総合研究, 初等国語教育学授業設計, 書写書道教育研究, 中等国語教育学授業設計, 書写書道教育演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- 1. [研究論文(学術雑誌)]齋木久美「幼児と文字」,保育内容研究と指導法の実践的課題(茨城大学教育学部幼児教育実践研究会編),43-46(2018年01月)
- 2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]鈴木一史, 昌子佳広, 宮崎尚子 川嶋秀之, 増子和男, 齋木久美「新旧小中学校学習指導要領国語科に関する記述内容の特色と教材化研究―教科教育と教科専門の融合的授業構築にむけて―」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 1-18(2017年12月)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[芸術活動(共同)]2017 中日書法作品交流展 出品(2017年12月)

[芸術活動(単独)]平成 29 年度年度全国大学書道学会会員書作展出品(2017 年 09 月~2017 年 10 月)

[芸術活動]第69回毎日書道展 漢字部Ⅱ類 入選(2017年07月)

[芸術活動(共同)]第33回王朝継ぎ紙合同作品展(2017年05月~2017年06月)

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 全国大学書写書道教育学会,常任理事(事務局長)(2016年04月~)
- 2. 社団法人日本書写技能検定協会, 硬筆書写検定・毛筆書写検定茨城県審査委員(2009 年~)
- 3. 全日本書写書道教育研究会, 本部役員 研究局 大学部長(2005年10月~)
- 講演会・シンポジウム
- 1.「第 69 回和歌山県書写書道教育研究協議会海草地方大会(国内)」,和歌山県海草地方国語科書写教育研究会「招待講演」(2017 年 11 月)
- 2. 「平成 29 年度専門性向上研修国語 IC 「書写力を高め、日常生活に生かす指導の工夫」(国内)」、東京都教職員研修センター「招待講演」(2017 年 11 月)
- 3. 「第1回茨城大学教育実践交流会(国内)」, 「その他](2017年08月)
- 4. 「全日本書写書道教育研究会第 58 回静岡大会 中学年分科会 (国内)」, [その他] (2017 年 08 月)
- 5. 「幼児期における不器用さの支援を考える一幼小連携に向けて(国内)」, [パネリスト] (2017年 03月)

海外出張・海外研修・内地研修など

中国 上海 漢院[書作展での調査活動](2017年8月:4日間)

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費] (代表) 「読み書き指導に関する幼・小連携カリキュラム開発」, 429 万円 (2016 年 04 月 04 日~2019 年 03 月 20 日)
- 2. [科研費](分担)「運動の『ぎこちなさ』を要因とする書写困難児に対する早期支援プログラムの開発」, 1625 万円(2016 年 04 月 04 日~2019 年 03 月 20 日)
- 3. [科研費以外](代表) 平成 29 年度「女性エンパワーメント支援制度」後期利用者「発達をふまえた 書写技能習得支援に関する研究」15 万円(2016 年 10 月 03 日~2017 年 02 月 20 日)

情報文化課程	氏名 林 延哉
III INDUITED	

4.5.4.5.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4		
現 職	准教授	
学歴•職歴	早稲田大学 教育学部 教育学科[1985年卒業] 早稲田大学大学院 文学研究科 心理学[1987年修了]	
学位	修士(文学)	
受賞歴	なし	
所属学会	コンテンツ文化史学会 日本教育心理学会 日本社会臨床学会 日本発達心理学 会 日本理科教育学会	
専門分野	社会臨床論	
教育研究概要	(キーワード)	
担当科目	(教養科目)コミュニケーション論 (専門科目)統計の初歩,映像工房プロジェクトI,子ども文化プロジェクトI,特別演習I,社会臨床演習Ⅱ,映像工房プロジェクトII,子ども文化プロジェクトⅡ,特別演習II,課題図書講読I,課題図書講読III,課題図書講読III,卒業研究,ウェブ制作(初級)b,子供文化論,メジャー基礎ゼミナールI,メジャー基礎ゼミナールII	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会発表など

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 水戸市地域福祉推進委員会,委員(2017年10月~2019年10月)
- 地域協力活動
- 1. 千葉県立中央博物館(年度不詳~)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

デジタル教科書用デバイスを活用した野外観察教材の開発

惶	青報文化課程	氏名 小林 祐紀
-		

現 職	准教授
学歴•職歴	三重県立津西高等学校[1999年03月卒業] 金沢大学 教育学部 人間環境課程教育情報システムコース[2002年03月卒業] 金沢大学大学院 教育学研究科 学校教育専攻[2004年03月修了] 石川県金沢市内公立小学校・教諭(2008年4月~2015年3月) 金沢大学非常勤講師共通教育科目「教師入門」(2009年~2014年)
学位	修士[金沢大学]
受賞歴	第 30 回学習デジタル教材コンクール「学情研賞」(2014) 第 9 回著作権教育実践事例募集「優秀賞・モデル教育賞」(2014) キューブ活用コンテスト「活用賞」(2014) 第 29 回学習デジタル教材コンクール「優良賞」(2013) 第 7 回著作権教育 実践事例募集「優良賞」(2013) キューブ活用コンテスト「活用賞」(2012) 第 23 回メディア教育コンテスト「金沢市教育委員会賞」(2006)
所属学会	日本デジタル教科書学会 日本協同教育学会 日本教育メディア学会 日本教育 工学会
専門分野	教育工学 教育学
教育研究概要	・授業における ICT 活用や情報モラル教育について、研究会を主宰したり、指導・助言を行ったりしています。・急速に学校現場に普及しつつあるタブレット端末の活用について研究活動を行っています。・教師のストラテジーに着目した授業研究やコミュニケーション力を育む授業について研究活動を行っています。 (キーワード)授業における ICT 活用、情報教育、情報モラル教育、学び合いを取り
	入れた授業研究
担当科目	(教養科目)情報リテラシー (専門科目)社会と文化 I, 教育の方法と技術, 統計学の基礎, 社会文化情報演習 I, 社会調査の基礎, ICT演習, 教育の方法と技術, 情報教育論, 社会と文化 II, 情報教育入門, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)教育評価の方法, 教育カウンセリング実践と事例研究, 学習指導・授業づくりの課題と実践

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書·論文等

- 1. [単行本(学術書)・分担執筆]篠原正典, 荒木寿友【編著】「教育の方法と技術」, ミネルヴァ書房, 194-202(2018 年 03 月 31 日)
- 2. [その他・分担執筆] 茨城大学教育学部技術教育教室(編) 「生活科内容と指導に関する実践的課題」, 学内テキスト, 17-21 (2017 年 12 月 26 日)
- 3. [その他・分担執筆] 茨城大学教育学部学校教育教室(編) 「教育の現代的課題と教員の資質向上」, 学内テキスト, 83-86(2017年06月01日)
- 4. [(MISC)講演資料等(セミナー, チュートリアル, 講習, 講義他) 単著]小林祐紀「人間関係の充実と共に実現する主体的・対話的で深い学び~新学習指導要領を意図したタブレット端末活用事例 ~」, タブレット端末活用セミナー2018 in 札幌, 36-39(2018 年 01 月 11 日)
- 5. [(MISC)総説・解説(商業誌)単著]小林祐紀「タブレット端末を活用した授業デザイン」, タブレット端末活用実践事例集 2017, 9-10(2017 年)
- 6. [(MISC)総説・解説(商業誌)単著]小林祐紀「授業が変わる、ライブ感あるプレゼンテーション」, 学校とICT, 4-9(2017 年 10 月)
- 7. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)共著]中川一史, 村井万寿夫, 佐藤幸江, 小林祐紀「タブレット端末環境下で児童生徒の情報の階層化に活用できるアプリの操作意図の分析」, 日本教育メディア学会第24回年次大会発表集録, 87-90(2017年10月14日)
- 8. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)共著]佐藤幸江, 村井万寿夫, 中川一史, 小林祐紀「児童の新聞に対するイメージ調査」, 日本教育メディア学会第24回年次大会発表集録, 24-25(2017年10月14日)
- 9. [研究論文(国際会議プロシーディングス)共著【査読あり】] Masuo Murai, Hitoshi Nakagawa, Yukie Sato, Yuki Kobayashi" Classification of Lessons Using Tablet Computers and Comparison of Japan and US Classes", International Conference for Media in Education 2017、Paper for concurrent session、ID#17079c、(2017年08月)
- 10. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)共著]小林 祐紀, 中川 一史, 村井 万寿夫, 佐藤 幸江「ネットワークを介して協働的に行う家庭学習を継続して実践した教師の意識-タブレット端末活用歴が無い A 教諭を対象にして-」, 日本教育メディア学会研究会論集, 11-18(2017年07月15日)
- 11. [研究論文(国際会議プロシーディングス)共著【査読あり】] Hitoshi Nakagawa, Masuo Murai, Yukie Sato, Yuki Kobayashi, Aritomo Iwasaki, Hironori Suzuki, Jyunichi Morishita "Developing application for arranging/grouping/structuring children's information which utilized on tablet PC", EdMedia: World Conference on Educational Media and Technology 2017, 390-393 (2017 年 06 月 20 日)
- 12. [研究論文(国際会議プロシーディングス)共著【査読あり】]Yuki Kobayashi, Hitoshi Nakagawa, Masuo Murai, Yukie Sato"Practical Example of Programming Education at Public Elementary School in

Japan with Attitude Survey of Students and Teachers", EdMedia: World Conference on Educational Media and Technology 2017, 645-649(2017 年 06 月 20 日)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 茨城県立大洗高等学校,いばらき学力向上推進総合事業に係る学力向上運営指導委員(2016年~2018年)
- 2. 茨城県立古河中等教育学校,いばらき学力向上推進総合事業に係る学力向上運営指導委員 (2016 年~2018 年)
- 3. 茨城県立並木中等教育学校,いばらき学力向上推進総合事業に係る学力向上運営指導委員 (2016 年~2018 年)
- 4. 茨城県立日立第一高等学校,いばらき学力向上推進総合事業に係る学力向上運営指導委員 (2016 年~2018 年)
- 5. 一般社団法人 モバイルコンテンツ審査・運用監視機構, 基準策定委員(2016 年~2018 年)
- 6. 茨城県立佐和高等学校,学力向上対策推進事業・情報化推進事業に係る運営指導委員(2016年~2018年)
- 7. 日本教育メディア学会, 国内研究委員(2016年~2018年)
- 8. 日本教育メディア学会, 企画委員(2016年~2018年)
- 9. 文部科学省委託 ICT を活用した教育推進自治体応援事業, 専門委員(2015 年~2017 年)
- 10. 一般社団法人 日本教育情報化振興会,「コミュニケーション力育成」事業委員(2015 年~2017年)
- 地域協力活動
- 1. [地域貢献事業]「茨城県立勝田特別支援学校 校内研修 講師」(2017年07月~)
- 2. [地域貢献事業]「石川県中能登町立鹿島小学校 校内研修会 講師」(2017年07月~)
- 3. [地域貢献事業]「千葉県野田市立北部小学校 校内研修 講師」(2017年06月~)
- 4. 「石川県小松市芦城中学校 校内研修 講師」(2017年06月~)
- 5. 「地域貢献事業」「茨城県立大洗高等学校 授業力向上研修会 講師」(2017年06月~)
- 6. 「水戸生涯学習センター市民講座「学びを支えるICT」」(2017年 06月~)
- 7. [地域貢献事業]「宮城教育大学附属特別支援学校 学校放送番組を活用した校内研究授業 講師」(2017年06月~)
- 8. 「地域貢献事業〕「ルビィのぼうけんで体験する小学校プログラミング教育 第2部 教員セミナー

講師」(2017年06月~)

- 9. [地域貢献事業]「石川県中能登町立鹿島小学校 校内研修会 講師」(2017年05月~)
- 10.「文京区立茗台中学校 校内研修 講師」(2017年05月~)
- 11. 「第8回教育ITソリューションEXPO, Skyブースによる招待プレゼンテーション 今求められるICTを活用した学習活動~主体的・対話的で深い学びの実現のために~」『第8回教育ITソリューションEXPO』(2017年05月~)
- 12. [地域貢献事業]「茨城県立日立第一高等学校 授業力向上研修会 講師」(2017年05月~)
- 13. [産学連携活動] 「第8回教育 IT ソリューション EXPO, CoNETS ブースによる招待プレゼンテーション 小学校で始まるプログラミング教育はじめの一歩」 『第8回教育 IT ソリューション EXPO, CoNETS ブース』 (2017年05月~)
- 14. 「地域貢献事業」「茨城県立佐和高等学校 授業力向上研修会 講師」(2017年05月~)
- 15. [地域貢献事業]「平成 29 年度 情報教育対応教員研修全国セミナー 一般社団法人日本教育情報化振興会主催 タブレット端末活用セミナー2017 新学習指導要領を見据えた「授業づくり」「ICT 環境づくり」(2017 年 04 月~)
- 16. [地域貢献事業]「横浜市情報・視聴覚教育研究会 講師」(2017年04月~)
- 17. [地域貢献事業]「一般社団法人デジタル表現研究会 (D-project) 公開研究会 講師」(2017年 03月~)
- 18. 「その他公的社会活動」「石川県中能登町立鹿島小学校 校内研修会 講師」(2017年03月~)
- 19. [その他公的社会活動] 「第 4 回古河市 ICT フォーラム 講師」 (2017 年 02 月~)
- 20. [その他公的社会活動]「宮城教育大学附属特別支援学校 学校放送番組を活用した校内研究授業 講師」(2017年02月~)
- 21. [その他公的社会活動]「大阪府堺市 タブレット端末活用研究会 講師」(2017年02月~)
- 22. 「その他公的社会活動」「石川県宝達志水町 ICT 活用講演会 講師」(2017年02月~)
- 23. 「石川県羽咋市立羽咋小学校 研究発表会 講師」(2017年02月~)
- 24. 「その他公的社会活動」「那珂市 ICT 活用推進研修会 講師」(2017 年 02 月~)
- 25. [その他公的社会活動]「渋谷区立代々木山谷小学校研究授業 講師」(2017年02月~)
- 26. 「茨城県立水戸聾学校 校内研修会 講師」(2017年01月~)
- 27. [その他公的社会活動] 「第6回沖縄離島 ICT シンポジウム in 宮古島」 (2017年 01月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ ワシントン DC TheWestinAlexandria [国際会議出席のため] (2017年6月:3日間)

- 競争的資金の獲得
- 1)[科研費以外](代表)「小学校プログラミング教育に関するモデル実践事例の開発と評価」, 10 万
- 円 ,平成29年度研究推進経費(若手教員研究費支援)(2017年 04月~2018年 03月)

○ 共同研究・受託研究

1. [企業からの受託研究]「タブレットPCで活用する学習者用デジタル教材の開発(代表)」,未詳(2017年01月~2018年12月)

人間環境教育課程 氏名 富樫 泰一

教員履歴など

V V V V V V V V V V V V V V V V V V V		
現 職	教 授	
	筑波大学大学院 体育研究科 健康教育学[1983年03月修了]	
	学校法人清真学園高等学校非常勤講師(1983年4月~1984年3月)	
	筑波大学研究協力部研究協力課(体育科学系担当)(1985年4月~1988年3月)	
学歴・職歴	茨城大学教養部講師(1988年4月~1989年3月)	
	茨城大学教養部助教授(1989年4月~1996年3月)	
	茨城大学教育学部助教授(1996年4月~2002年12月)	
	茨城大学教育学部教授(2003年1月~)	
学位	体育学修士[筑波大学]	
受賞歴	なし	
所属学会	日本バイオメカニクス学会 日本体育学会	
専門分野	スポーツ科学 応用健康科学	
	教育活動(スポーツ医学外科領域、バイオメカニクス、健康スポーツ科目、水泳、ス	
教育研究概要	キー、水辺野外運動)研究活動(水泳・水中運動の流体力学的研究)	
	(キーワード)	
	(教養科目)身体活動,身体活動	
担当科目	(専門科目)保育内容の研究(健康), 体育科教育法研究(2 単位), 水泳指導法/水	
	泳, 野外運動指導法/野外運動, スキー指導法, 救急処置法/運動障害救急法,	
	卒業研究(教育:4 単位)	
	(大学院科目)バイオメカニクス特論,保健体育科学総合研究,特別課題研究	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[その他(共同)]公益財団法人全日本スキー連盟スキーパトロール技術員研修会主任講師(2017年12月),公認スキーパトロール検定会役員(2018年2月),全国スキーパトロール総会役員(2018年3月)

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. [非常勤講師] 駿河台大学スポーツ教育センター・非常勤講師(健康スポーツ科目), 6(時間/月) (2005 年 04 月~2018 年 03 月)
- 2. [非常勤講師] 筑波大学体育専門学郡·非常勤講師(専門基礎科目·水泳実習(臨海))(1988 年 04 月~2017 年 07 月)
- 地域協力活動
- 1. [学外審議会・委員会等]「公益財団法人全日本スキー連盟教育本部安全対策部安全対策委員会副委員長」(2016年07月~2018年07月)
- 2. 「その他公的社会活動] 「日本スキーパトロール協議会(理事長)」(2013年07月~)
- 3. 「学外審議会・委員会等」「全国スキー安全対策協議会(調査委員会委員)」(2013 年 03 月~)
- 4. [学外審議会・委員会等]「公益財団法人全日本スキー連盟教育本部専門委員(安全対策部)」(2012年09月~)
- 5. 「財団法人茨城県体育協会評議員」(2012年04月~)
- 6. [ボランティア活動] 「赤十字救急法奉仕団(救急法指導員)」(2011年 04月~)
- 7. 茨城県教育庁学校教育部保健体育課(2017年12月)
- 8. 水戸市立第二中学校(2017年12月)
- 9. 茨城高等学校(2017 年 11 月)
- 10. 茨城県赤十字血液センター(2017年10月)
- 11. 日本赤十字社茨城県支部(2017年10月)
- 12. ひたちなか市市民生活部生涯学習課(2017年09月~2017年10月)
- 13. 茨城県教育研修センター(連携協定あり)(2017年08月)
- 14. 茨城県教育研修センター(連携協定あり)(2017年08月)
- 15. 茨城県立大洗高等学校(2017年08月)
- 16. 茨城県教育研修センター(連携協定あり)(2017年08月)
- 17. 茨城県教育研修センター(連携協定あり)(2017年08月)
- 18. 茨城県教育研修センター(連携協定あり)(2017年08月)
- 19. 日本赤十字社茨城県支部(2017年07月)
- 20. 防災ボランティア有志会(2017年06月)
- 21. 中央技術(株)(2017年04月)
- 22. 水戸市立笠原中学校(2017年03月)
- 23. 茨城大学(2017年03月)
- 24. 水戸市新荘市民センター(2017年02月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領	

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	山形大学 理学部 地球科学[1987年卒業] 筑波大学大学院 地球科学研究科 地質学[1993年修了]
学位	博士(理学)[筑波大学大学院] 理学修士[筑波大学大学院]
受賞歴	日本地質学会第 124 年学術大会(愛媛大会)優秀ポスター賞(2017) 第 26 回高知出版学術賞(2016) 平成 16 年度茨城大学大学教育研究開発センター推奨授業表彰(2005)
所属学会	日本地学教育学会 資源地質学会 日本地球化学会 日本地質学会
専門分野	地質学 鉱床学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)科学入門/身近な地球科学,物質と生命/身近な生物学 (専門科目)地学概論,地学実験指導法/地学実験/地学実験/地学実験,初等地学,環境地球科学,地学演習 II,卒業研究(教育:4単位),地学演習 I (大学院科目)地学特論/天文学,研究と教育―知の往還をめぐって―,地学特別実験,初等自然科学総合研究,中等自然科学総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書·論文等

- 1. [(MISC)書評,文献紹介等単著]伊藤 孝「書評:藤岡換太郎(2017)「三つの石で地球がわかる― 岩石がひもとくこの星のなりたち―」,講談社ブルーバックス,222pp.」,地学教育,**70**,3,113(2018年01月31日)
- 2. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著] 元村健人・伊藤 孝・清川昌一・Dave Price 「19 億年前の深海底堆積岩の特徴: カナダ・フリンフロン帯における掘削コア TS07-01 の岩石記載-3」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), 67, 57-76(2018 年 01 月 30 日)
- 3. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著] 鈴木大志・清川昌一・伊藤 孝「縞状鉄鉱層の EPMA 元素マッピング: エジプト東砂漠地帯エルダバァ層鉄鉱層と他地域の鉄鉱層との比較」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), 67, 37-55(2018 年 01 月 30 日)
- 4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]野村颯希・上栗伸一・伊藤 孝「茨城・千葉県から採取した砂の粒径および粒子組成-義務教育および高等学校で実施される観察実習のための基礎データ」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 157-165 (2018 年 01 月 30 日)

- 5. [研究論文(大学, 研究機関紀要)]片口直樹・金子一夫・伊藤 孝「スケッチ学習の現在: 筑波山をフィールドとした多面的学習プログラムの実践」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 853-870 (2018年01月30日)
- 6. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]上栗伸一・伊藤 孝「義務教育課程理科2分野(地球・生命)の内容と指導について:地球を巡る3つの環と地球を動かす3つの力」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 147-156(2018 年 01 月 30 日)
- 7. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]伊藤 孝「スカイプ英会話を活用した自然災害に対する感覚・防災意識調査の基礎資料:フィリピン・ヴィサヤ地域の場合」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 669-677(2018 年 01 月 30 日)
- 8. [(MISC)書評,文献紹介等単著]伊藤 孝「書評:中谷礼二(2017)「動く大学, 住まいのかたち:プレート境界を旅する」, 岩波書店, 268pp.」, 日本地質学会 News, 20, 9, 15(2017 年 09 月 15 日)
- 9. [(MISC)書評,文献紹介等単著]伊藤 孝「書評:藤岡換太郎(2016)「深海底の地球科学」, 朝倉書店, 212pp.」, 資源地質, 67, 1, 65(2017年05月31日)
- 10. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]伊藤 孝「自然災害に対する危機意識と実際の行動:フィリピン・ヴィサヤ地域の場合」, 地学教育, 69, 4, 199-210(2017 年 04 月 28 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

- 1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 高橋浩規・小田啓邦・臼井 朗・伊藤 孝「北西太平洋域のマンガンクラストの成長速度と微細層序」日本地球惑星科学連合 2017 年大会(幕張メッセ)[2017 年 05 月 21 日]
- 2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 矢板裕介・市毛久美子・篠田崇彰・伊藤 孝「拓洋第5海山における海底マンガン鉱床の産状区分および局地的産状変化」日本地球惑星科学連合 2017 年大会() 「2017 年 05 月 21 日〕
- 3. [ロ頭発表(一般)・] 伊藤 孝・折橋 裕二・柳沢 幸夫・坂井 志緒乃・本山 功・上栗 伸一・小室 光世・鈴木勝彦「東北日本弧新第三紀マンガン鉱床の層序的な位置づけ」日本地球惑星科学連合 2017 年大会(幕張メッセ)[2017 年 05 月 21 日]
- 4. [ポスター発表・国内会議(共同)] 伊藤 孝・上栗伸一・片口直樹・大辻 永・丸山広人「富士山をフィールドとした大学生向け分野横断型学習プログラムの実践:地学と美術編」日本地球惑星科学連合 2017 年大会(幕張メッセ)[2017 年 05 月 20 日]
- 5. [ポスター発表・国内会議(共同)] 伊藤 開・伊藤 孝「大学生の自然災害に対する意識調査(予察)」日本地球惑星科学連合 2017 年大会(幕張メッセ)[2017 年 05 月 20 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

北西オーストラリア地域における地質学的研究(2001年)

琵琶湖における硫黄・ストロンチウム同位体地球化学的研究(1998年)

北関東における地質学・地球化学的研究(1995年)

北西太平洋,フィリピン海における海洋底マンガン鉱床の研究(1987年)

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 日本地学教育学会, 常務委員長(2016年07月~2019年06月)
- 2. 日本地学教育学会, 評議員(2008年04月~2019年06月)

海外出張・海外研修・内地研修など

ポルトガル アヴェイロ アヴェイロ大学 [調査及び研究活動のため] (2017 年 6 月~11 月:158 日間) アメリカ ニューオーリンズ New Orleans Morial Convention Center 他 [国際学会出席及び研究成果発表] (2017 年 12 月:6 日間)

フィリピン セブ他 University of San Carlos 他[資料収集](2018年1月:9日間)

- 基盤研究(A)(海外学術調査)(26257211)「地球史海洋底断面復元プロジェクト: 太古代から原生代への環境大変動解明」(平成 26~29 年度)研究代表者 清川昌一
- 基盤研究(C)一般(26381251)「富士山をフィールドとした多面的実践学習プログラムの開発とそれによる教科間相互作用」(平成 26~29 年度)研究代表者 伊藤 孝
- 国立研究開発法人海洋研究開発機構戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)次世代海洋資源調査技術(平成 27~30 年)研究代表者 臼井朗
- 基盤研究(B)一般(17H02008)「変動帯の文化地質学」(平成29~32年度)研究代表者 鈴木寿 志

人間環境教育課程	任名 阿部 信一郎
現 職	教 授
学歴•職歴	
学位	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	生態·環境
教育研究概要	
教育	(キーワード)
担当科目	(教養科目)身近な生物学/科学入門 (専門科目)生物学実験,環境科学実験,水環境論,保全生物学,地球環境論, 卒業研究(教育:4単位),生物学野外実習 (大学院科目)人間システム基礎論 II,国内実践教育演習,地域生態学演習,初等 自然科学総合研究,中等自然科学総合研究
研究業績(1)論	· 文・著書・翻訳など
	島清武・田口眞一・櫻井輔・田村誠・阿部信一郎 (2018) 茨城町の郷土料 対する消費者意識. 日本調理学会誌 51:37-41.
	 :会発表など
研究業績(3)芸	術・体育系の活動
社会的活動、地域貢献など	
海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など	
科学研究費補助金などの受領	

人間環境教育課程	氏名 上地 勝
----------	---------

教員履歴など

教員腹腔など	
現 職	教 授
	琉球大学 教育学部 中学校教員養成課程保健体育科専攻[1992年卒業]
	筑波大学大学院 体育研究科[1995年修了]
	筑波大学大学院 医学研究科[1999年修了]
	茨城県立中央看護専門学院非常勤講師(1996年4月~1999年3月)
学歴・職歴	茨城県立つくば看護専門学校非常勤講師(1997年4月~2000年3月)
于底" _机	筑波大学助手社会医学系(1999年4月~2001年9月)
	茨城大学助教授教育学部(2001年10月~2007年3月)
	茨城キリスト教大学非常勤講師(2002年4月~2011年3月)
	茨城大学准教授教育学部(2007年4月~)
	水戸看護福祉専門学校(2015年4月~)
学位	博士(医学)[筑波大学大学院] 体育学修士[筑波大学大学院]
	日本学校保健学会 2014 年度学会賞(2015)
受賞歴	ひたちなか市市制 20 周年表彰(2014)
	ひたちなか保健所長賞(2014)
	日本公衆衛生学会 日本疫学会 日本健康学会 日本健康教育学会 日本学校
所属学会	保健学会 日本体力医学会 日本教育保健学会
専門分野	疫学·予防医学 衛生学·公衆衛生学 応用健康科学
教育研究概要	(キーワード)学校保健、健康教育、保健科教育、疫学、公衆衛生学、健康科学、
	老年学、介護予防
	(教養科目)身体活動
	(専門科目)体育科教育法研究(2 単位), 保育内容の研究(健康), 陸上競技方法
	論, 陸上競技方法論(健康コース)/陸上競技方法論, 陸上競技/陸上競技指導
担当科目	法, 陸上競技指導法/陸上競技/陸上競技(健康コース), 衛生公衆衛生学概論
	(環境コース)/衛生公衆衛生学概論/衛生公衆衛生学概論/衛生公衆衛生学概論,
	健康特別演習 I,総合演習[人環用],健康特別演習 II,卒業研究(教育:4 単位),
	健康運動指導実習
	(大学院科目)人間システム基礎論 II, 体育授業設計, 学校保健特論 I, 学校保健
	管理演習
<u> </u>	I .

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書·論文等

- 1. [教科書·分担執筆]日本保健科教育学会「保健科教育法入門」,大修館書店,158-162(2017年04月30日)
- 2. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著【査読あり】] 上地勝, 加藤敏弘, 松坂晃, 篠田明音, 大津展子, 中嶋哲也, 渡邊將司, 吉野聡, 勝本真, 富樫泰一, 日下裕弘「茨城大学学生の体力・運動能力の現状と課題: 第2報 学部間の比較および経年変化」, 茨城大学全学教育機構論集. 大学教育研究, 1, 43-51 (2018年03月)
- 3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】] 松坂晃, 上地勝, 加藤敏弘, 篠田明音, 大津展子, 中嶋哲也, 渡邊將司, 吉野聡, 勝本真, 富樫泰一, 日下裕弘「茨城大学学生の体力・運動能力の現状と課題: 第1報 20年間の変化および全国平均値との比較」, 茨城大学全学教育機構論集. 大学教育研究, 1, 33-41(2018年03月)
- 4. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著] 宮本秀斗, 渡邊將司, 上地勝「短距離走における速度逓減と SSC 能力および無気的能力の持続力との関係」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 67, 705-714(2018 年 01 月 30 日)
- 5. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著] 吉野聡, 中嶋哲也, 大津展子, 渡邊將司, 篠田明音, 上地勝, 加藤敏弘, 勝本真, 富樫泰一, 松坂晃, 日下裕弘「小学校教員養成における体育科教育法の授業設計」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 67, 299-312 (2018 年 01 月 30 日)
- 6. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]上地勝,高倉実,宮城政也,荒井信成,栗原淳,小林稔「沖縄の高校生における多重健康リスク行動の特徴」,学校保健研究,59,5,324-332(2017年12月20日)
- 7. [(MISC)総説・解説(商業誌)単著【依頼/招待】]上地 勝「"保健体育科"のこれまでとこれから」, 体育科教育,65,9,12-15(2017年08月01日)
- 8. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】] 29. Takakura M, Miyagi M, Ueji M, Kobayashi M, Kurihara A"Development of School and Neighborhood Collective Efficacy Scales for Use in Japanese Adolescent Health Research", School Health, 13, 11-19(2017年06月27日)

研究業績(2)学会発表など

学会発表等

- 1. [口頭発表(一般)・] 上地 勝, 高倉 実, 喜屋武亨, 宮城政也, 荒井信成, 小林 稔, 栗原 淳 「茨城県の高校生における多重健康リスク行動の実態」第82回日本健康学会総会(沖縄)[2017年11 月11日]
- 2. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)] 上地 勝, 高倉 実, 荒井信成, 宮城政也, 栗原 淳, 喜屋武亨, 小林 稔「高校生の健康行動と家庭の社会経済的要因との関連」第64回日本学校保健学会学術大会(仙台)[2017年11月05日]
- 3. [ポスター発表・国内会議(共同)] 宮本蘭子, 渡邊綾乃, 吉野 聡, 木谷晋平, 上地 勝「中学校

保健体育における関心・意欲を高める保健授業の考案」第 64 回日本学校保健学会学術大会(仙台) [2017年11月05日]

- 4. [ポスター発表・国内会議(共同)] 我部杏奈, 高倉 実, 宮城政也, 上地 勝, 小林 稔, 栗原淳, 喜屋武亨「高校生における個人・集団レベルの学校連結性と主観的健康との関連について」第64回日本学校保健学会学術大会(仙台)[2017年11月05日]
- 5. [口頭発表(一般)·国際会議(共同)] Takakura M, Miyagi M, Kobayashi M, Ueji M, Kurihara A, Kyan A "The role of collective efficacy in school and neighborhood contexts in adolescent alcohol use" 10th European Public Health Conference Sustaining resilient and healthy communities (Stockholm, Sweden) [2017 年 11 月 03 日]
- 6. [ポスター発表・国内会議(共同)] 荒井信成,上地 勝「栃木県内の高等学校における AED の適正な配置状況」第26回日本健康教育学会学術大会()[2017年06月24日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 行政機関等での委員就任
- 1. 「いきいき茨城ゆめ大会選手団サポートボランティア養成協力校連絡会議」茨城県国体・障害者スポーツ大会局「委員〕
- 2. 「常総市学校保健会」常総市学校保健会「講師]
- 3. 「日立市学校健康教育指導法研修会」日立市教育研究会[講師]
- 4. 「茨城県運動部活動外部指導者等研修会講師」茨城県教育庁保健体育課「講師]
- 5. 「平成29年度福岡県専門研修(短期研修)」福岡県体育研究所[講師]
- 6. 「堀原運動公園ジョギング&健康ストレッチ教室」公益財団法人茨城県体育協会「講師]
- 7.「ひたちなか市元気アップ事業」ひたちなか市健康推進課[講師]
- 学協会での役職
- 1. 日本健康学会, 評議員(2003年01月~)
- 講演会・シンポジウム
- 1. 「日本保健科教育学会第 2 回研究大会シンポジウム 保健と体育の区別と連関(国内)」, [その他](2017年12月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

科学研究費 基盤研究(B)(分担)「ソーシャル・キャピタルからみた「学校力」と「地域力」が青少年の健康に及ぼす影響(研究課題番号 15H03087)

人間環境教育課程 氏名 郡司 晴元

教員履歴など

現 職	准教授
学歴·職歴	京都大学 理学部[1992 年卒業] 京都大学大学院 理学研究科[1994 年 03 月修了] 京都大学大学院 理学研究科[1998 年 07 月単位取得満期退学] 財団法人日本モンキーセンター リサーチフェロー(1998 年 8 月~2003 年 3 月) 茨城大学教育学部 助教授(2004 年 4 月~2007 年 3 月) 茨城大学教育学部 准教授(2007 年 4 月~)
学位	博士(理学)[京都大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本理科教育学会 日本環境教育学会 子どもと自然学会 日本霊長類学会 日本人類学会 日本環境共生学会
専門分野	科学教育 自然人類学
教育研究概要	1. 自然体験学習を中心とした環境教育・ESD について実践も交えて教育・研究しています。 2. 動物園・博物館・科学館などとの連携による効果的な教育について実践も交えて教育・研究しています。 3. 霊長類の骨形態・骨塩量の加齢変化について研究しています。
	(キーワード)学社連携 自然体験学習 ESD
担当科目	(専門科目)中等理科教育法 II, 環境教育演習, 情報化社会の諸問題, 生活の中の環境問題, 中等理科教育法 I, 環境教育論【全教科】/環境教育論, 環境特別演習 I, 総合演習[人環用], 環境特別演習 II, 卒業研究(教育:4 単位)(大学院科目)サステイナビリティ教育特論 I, 初等理科教育学特論, 初等理科教育学演習, 中等理科教育学特論, 中等理科教育学演習, 中等理科授業設計, 初等理科授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. [公開講座] 茨城大学生涯学習教育研究センター・茨城大学偕学苑一般公開講座講師(2017年06月)
- 2. 「兼業」 茨城県教育委員会·SSH 運営指導委員(2018 年 02 月)
- 3. [兼業] ひたちなか市環境保全課・講師(2018年02月)
- 4. 「兼業」水戸市立上大野小学校・講師(2017年11月)
- 5. [兼業] 茨城県教育委員会・助言者(2017年10月)
- 6. [兼業] 茨城県教育委員会・助言者(2017年10月)
- 7. [兼業] 茨城県教育委員会・審査委員(2017年10月)
- 8. [兼業] 茨城県教育研究連盟・助言者(2017年10月)
- 9. [兼業] 茨城県教育委員会・選定委員(2017年08月)
- 10. [兼業] 茨城県教育委員会•講師(2017年07月)
- 11. 「兼業」 茨城県教育委員会·SSH 運営指導委員(2017 年 07 月)
- 学協会での役職
- 1. 茨城県シェアリングネイチャー協会, 理事(2012年~)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領		

人間環境教育課程	氏名 関 友作
----------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴·職歴	ー橋大学 社会学部 社会理論課程 (社会言語学)[1987 年卒業] 東京工業大学大学院 総合理工学研究科 システム科学専攻[1996 年修了] 日本鉱業 株式会社(現・JXTG エネルギー(株))(1987 年 4 月~1990 年 3 月)
学位	博士(学術)[東京工業大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育工学会 テクニカル コミュニケーター協会 教育システム情報学会 ヒューマンインタフェース学会 日本認知科学会
専門分野	教育工学 認知科学 ヒューマンインターフェース・インタラクション
教育研究概要	
	(キーワード)テクニカル・コミュニケーション 理解しやすい説明の方法 文書情報の理解(紙・電子文書)
担当科目	(教養科目)情報リテラシー (専門科目)情報編集法(人間環境)/情報編集法,現代のナショナリズム,社会と思想(人間共通)免×,データ解析法,知識経営特別演習 I,総合演習[人環用],卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)人間システム基礎論 II,認知学習心理学

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 日本教育工学会, 国際交流委員(2012年09月~2017年06月)

海外出張・海外研修・内地研修など
科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教科教育コース 保健体育教室

氏名 篠田 明音

教員履歴など

現 職	講 師
学歴・職歴	東京女子体育大学 体育学部 体育学科[1999年03月卒業] 上越教育大学大学院 学校教育研究科 教科・領域教育専攻 生活健康系コース (保健体育)[2003年03月修了] 東京都渋谷区 青山サンクラブ(体操クラブ)(1999年4月~2000年3月) 栃木県黒磯市 東那須野中学校(保健体育)非常勤講師(2003年4月~2004年3月) 創志学園 愛媛女子短期大学(2004年4月~2007年3月) 仙台白百合女子大学(2007年4月~2009年3月) 朴沢学園 仙台大学(2009年4月~2011年3月) 茨城キリスト教大学 非常勤講師(2018年10月~2018年2月) 授業名:「保育内容研究・健康b」
学位	
受賞歴	第9回 高校・大学ダンスフェスティバル in 神戸 作品名「阿吽」NHK賞 受賞 (この賞は、主題のすぐれた展開・構成に対して贈られる。) 表彰機関名:(社)日本女子体育連盟 第11回 高校・大学ダンスフェスティバル in 神戸 作品名「瞳」特別賞 受賞 (この賞は、主題にふさわしい動きの発見に対して贈られる。) 表彰機関名:(社)日本女子体育連盟
所属学会	日本スポーツ運動学会 日本教育大学協会全国保健体育・保健研究部舞踊研究 会 日本体育・スポーツ哲学会
専門分野	身体教育学
教育研究概要	(キーワード)表現運動,表現する身体,ダンス,運動学(方法学を含む)
担当科目	(教養科目)身体活動 (専門科目)体育科教育法研究(2 単位), ダンス・身体表現, トレーニング法, 保育 内容の研究(表現),保育内容の研究(健康)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

1. 子どものこころとからだを育てる保育内容「健康」 保育出版社(現、教育情報出版) pp.11~12[第8章] 子どもの運動指導の実際:子どものマット遊びを指導する

平成 20 年 4 月 10 日発行,5 刷発行平成 26 年 1 月 31 日 第 2 版発行平成 28 年 7 月 31 日

2. 『保育内容・保育方法総論の理論と活用』保育出版社(現、教育情報出版)

pp.29-32[第 2 章]保育活動における「場」の分析:家庭の保育環境の変化―少子化・核家族化・情報 化などからの考察―

3.ダンスの授業における学習者の動きの発生に関する事例研究~牛山による実践場面を中心に~ 日本教育大学協会全国保健体育・保健研究部門 舞踊研究会 第8号 pp.10~27 平成18年6 月

研究業績(2)学会発表など

1. 「実践的指導力」に関する事例研究 ―リズム体操の示範に要求される「実践的指導力」について

仙台白百合女子大学 人間発達研究センター紀要 「人間の発達」第4号 pp.77-85 平成20年10月31日

- 2.ダンス指導に関する構造論的考察—牛山の実践における学習者の動きに着目して— 日本体育・スポーツ哲学会 平成 14 年 8 月
- 3.表現運動・ダンスにおける課題学習についての一考察

日本体育・スポーツ哲学会 平成18年9月

研究業績(3)芸術・体育系の活動

- 1. 第 16 回 うわじま牛鬼まつり「うわじまガイヤカーニバル」主催: 宇和島商工会議所 <混合・大人の部> 準ガイヤ大賞 受賞 平成 16 年 7 月
- 2. 第 17 回 うわじま牛鬼まつり「うわじまガイヤカーニバル」主催: 宇和島商工会議所 <混合・大人の部> ガイヤ大賞 受賞 平成 17 年 7 月
- 3. DAN DAN DANCE&SPORTS 5th 主催:仙台大学 DAN DAN DANCE&SPORTS5th実行委員会 共催:えずこ芸術のまち創造実行委員会

後援:宮城県女子体育指導者連盟、仙台大学新体操競技部 平成 21.1.24 指導作品:プログラム No.15「乱」仙台大学ダンス II

4. DAN DAN DANCE&SPORTS 6th 主催:仙台大学 DAN DAN DANCE 実行委員会

共催:えずこホール(仙南芸術文化センター)えずこ芸術のまち創造実行委員会

後援:仙台大学新体操競技部 平成 22 年 1.23

出演作品:プログラム No.3「Potential~私の隠れた可能性」篠田 明音

指導作品:プログラム No.4「Sugar & Spice」仙台大学ダンスⅡ

プログラム No.5 「見て感じてください」仙台大学篠田ゼミ

プログラム No.9「BELIEVE」えずこ湧くわくダンスチーム

5. DAN DAN DANCE&SPORTS7th 主催:仙台大学 DAN DAN DANCE&SPORTS 7th実行委員会 共催:えずこホール(仙南芸術文化センター)えずこ芸術のまち創造実行委員会

後援:仙台大学ダンスⅡ・仙台大学新体操競技部 平成23年1.29

出演作品:プログラム No.2「ことばあそび」仙台大学 篠田交友会 指導作品:プログラム No.10「ジェラシーと求愛のコラボ」仙台大学 ダンスⅡ

社会的活動、地域貢献など

- 1. 愛媛女子短期大学 附属幼稚園 運動会「組体操」、集団演技 題名:「水」 5月中旬から9月本番に向けて出前指導。 平成18年5月~9月
- 2. 第 26 回 表現及びダンス等の創作作品発表会(愛媛県女子体育連盟主催) 会場: 宇和文化会館 平成 18 年 9 月~11 月
- 3. 茨城国体(式典演技部会)委員

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

121

科学研究費補助金などの受領

なし

学校臨床心理専攻 氏名 正保 春彦

教員履歴など

教貝履座など	
現 職	教 授
	早稲田大学 文学部 人文専攻[1982年]
	筑波大学大学院 心理学研究科 心理学専攻[1988年]
	筑波大学(1988年6月~1990年3月)
	明海大学(1990年4月~1995年3月)
学歴・職歴	明海大学(1995年4月~2000年9月)
	茨城大学(2000年10月~2009年9月)
	茨城大学教授(2009年10月~2012年3月)
	茨城大学大学院(2012年4月~)
	茨城大学(2015年4月~2018年3月)
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本カウンセリング学会 日本人間性心理学会 日本心理臨床学会
専門分野	臨床心理学
	集団心理療法(構成的グループエンカウンター、ロールプレイング、インプロヴィゼ
	ーション)、カウンセリング 集団心理療法(構成的グループエンカウンター、ロール
教育研究概要	プレイング、インプロヴィゼーション)、カウンセリング
	(キーワード)臨床心理学、グループアプローチ、構成的グループ・エンカウンター、
	ロールプレイング、サイコドラマ、インプロ(インプロヴィゼーション)
	(教養科目)心理学/入門人間科学,健康の科学
担当科目	(専門科目)カウンセリング特講, こころを育てるグループワーク, 心理学基礎論 I /
	心理学基礎論,卒業研究(教育:4 単位)
	(大学院科目)臨床心理基礎実習 I, グループアプローチ特論, 臨床心理基礎実習
	II, カウンセリング特論, 特別課題研究
<u> </u>	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
- 1. [(MISC)総説・解説(学術雑誌)単著]正保春彦「患者心理(初級レベル)」, 茨臨技会誌, 48, 3-10 (2017 年)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[その他]「授業評価」を受けて(1993年)

社会的活動、地域貢献など

- 兼業·兼職
- 1. [非常勤講師] 筑波大学・非常勤講師, 5(時間/月)(2005年04月~)
- 地域協力活動
- 1. 茨城いのちの電話(年度不詳~)
- 2. 筑波大学附属病院(年度不詳~)
- 3. 社会福祉法人同仁会(2007年02月~)
- 4. 水戸家庭裁判所(2006 年~)
- 5. 水戸市教育委員会(2006 年~)
- 6. 日立市教育委員会(2006年08月~)
- 7. 茨城県教育委員会(2006年05月~)
- 8. 水戸家庭裁判所(2006 年 04 月~)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校臨床心理専攻 氏名 金丸 隆太

教員履歴など

教員履座なる	
現 職	准教授
学歴·職歴	神奈川県立横浜翠嵐高等学校大学院[1991 年卒業] 早稲田大学 第一文学部 哲学科心理学専修[1996 年卒業] 早稲田大学大学院 文学研究科 心理学専攻[1999 年修了] 東京都東久留米市教育センター滝山相談室 相談員(1997 年 4 月~2003 年 3 月) 茨城大学大学院教育学研究科 専任講師(2003 年 2 月~2012 年 9 月) 茨城県スクールカウンセラー(2004 年 4 月~) 茨城大学大学院教育学研究科 准教授(2012 年 10 月~)
学位	修士(心理学)
受賞歴	なし
所属学会	日本交流分析学会 The International Transactional Analysis Association 日本心理臨床学会 日本心理学会 日本遊戲療法学会 日本質的心理学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	(研究経歴) 1999 年 4 月~2003 年 1 月 東久留米市教育センター心理相談員 教育委員会が運営する教育相談室の相談員として、地元のスクールカウンセラーと常に連携をしながら心理臨床活動を実践し、その成果を主に集団対応の視点からまとめた。 2003 年 2 月~現在 茨城大学大学院教育学研究科専任講師「学校臨床心理専攻」の専任教員として将来スクールカウンセラーや心の教室相談員となる人たちの教育をしながら、主に小中学生とその親を対象とした心理臨床の技法について研究を行ってきている。また児童臨床研究の基礎として乳児のアタッチメントに関して、共同研究者として研究を実行中である。 2003 年 2 月~現在 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター 心理教育相談室相談員 大学附属の地域住民を対象とした外来の相談室の相談員を兼任し、カウンセリングを担当しながら描画テスト、スーパービジョンについて研究を行ってきている。 2004 年 4 月~現在 茨城県公立中学校スクールカウンセラー 特に初心のスクールカウンセラーが自分人でケースを抱え込まないよう、県内の他のリソースを具体的かつ詳細に知るための集まりや印刷物、インターネット上の情報等を集約したハンドブック作りを進行中。子どもと親の臨床心理学的問題 教育相談における様々な臨床心理学理論の実践(主として Transactional Analysis (交流分析) および投映描画法テストバッテリー)

	リー,児童虐待,発達障害
担当科目	(教養科目)心理学/入門人間科学,健康の科学
	(専門科目)心理学基礎論Ⅱ,学校における子ども虐待の予防と防止
	(大学院科目)臨床心理学特論 II, 臨床心理研究法演習, 臨床心理学講読演習,
	臨床心理査定演習 I, 臨床心理査定演習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

(分・単)「描画療法の研究」杉浦京子・金丸隆太(著)『はじめての描画療法』(新曜社)87-104 頁. (分・単)「虐待」「高齢者」「児童相談」「児童養護」「スクール・カウンセリング」「投影法」能智正博(編集代表)『質的心理学事典』(新曜社)70 頁,108 頁,140 頁,169 頁,219 頁.

(共)橘内久美・金丸隆太「日記による『もつれた怒り』の低減」『茨城大学教育学部紀要(教育科学)』 (茨城大学教育学部)第68号, 印刷中

(共)柳田美智子・金丸隆太「中学生のアタッチメント・スタイルといじめ高度の関連-新しいいじめアンケート作成の試み-」『茨城大学教育学部紀要(教育科学)』(茨城大学教育学部)第68号,印刷中(共)【報告書】平成25年度~27年度科学研究費補助金研究成果報告書基盤研究(C)課題番号25463612『通常学級に在籍する発達障がいを有する児童生徒への健康支援スキル向上プログラム開発』研究代表者・高田ゆり子,全5頁.

(分・単)【座談会記録】「『チーム学校』をどのように進めるか」金丸隆太(他,7名)『教育茨城』(茨城県教育会)859号,全27頁.

研究業績(2)学会発表など

(共)「星と波描画テストの空間構造と人格特性の関連」葉山大地,金丸隆太,日本心理臨床学会第 37回大会

(共)「幼児の星と波描画テスト(SWT) — そのⅡ - Yalon の発達成熟度(M)尺度と障害度(D)尺度-」 杉浦京子,青木智子,金丸隆太,小松昭吾,日本心理臨床学会第37回大会

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業·兼職

2005年4月~現在 茨城県教育委員会スクールカウンセラー

2005年4月~現在 北茨城市教育委員会就学指導(現:教育支援)委員

2005 年 4 月~現在 茨城県教育委員会特別支援教育支援体制整備事業(現:充実事業)専門家会 議委員

2008年4月~2015年3月·2017年4月~現在 茨城県臨床心理士会副会長兼事務局長

2015年2月~現在 茨城大学地方自治体連携包括協定専門家協力(茨城県鹿嶋市)

2015年4月~現在 潮来市いじめ問題調査委員会委員

2016年4月~現在 北茨城市いじめ問題調査委員会委員

2016年4月~現在 小美玉市いじめ問題調査委員会委員

2017年4月~現在 桜川市いじめ問題調査委員会委員

2016年4月~現在 茨城県特別支援教育推進会議委員

2017年11月~現在 茨城県教育委員会コンプライアンス推進委員会アドバイザー

2018年4月~現在 茨城県自殺対策連絡協議会委員

2018年10月~現在 茨城県いじめ調査委員会・茨城県自殺調査委員会委員

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

2017 年度~2019 年度 科学研究費 基盤研究(C)「児童養護施設の新任スタッフ離職防止プログラムの開発」(研究課題番号 17K04428) 分担者

学校臨床心理専攻 氏名 大島 聖美

教員履歴など

現 職	講師
学歴•職歴	新潟大学 人文学部[年卒業] お茶の水女子大学大学院[年修了] お茶の水女子大学大学院[年修了] 広島国際大学(2013 年 4 月~2017 年 3 月) 茨城大学(2017 年 4 月~)
学位	人文科学[お茶の水女子大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本家族社会学会 日本家族心理学会 日本発達心理学会 日本心理臨床学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	青年期の家族に関する研究を行っていますが、このテーマはクライエントさん達とお話しをする中で生まれたものです。日々勉強です。 青年期の家族関係に関する研究を行っています。最近は親準備教育などにも関心を持っています。 (キーワード)青年 家族
担当科目	(大学院科目)臨床心理行政特論, 投映法特論, 思春期臨床心理学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- 1. 大島 聖美, OSHIMA Kiyomi「青年が不満に感じた親の養育態度」, 茨城大学教育学部紀要. 人文・社会科学・芸術, 67, 89-101(2018 年 01 月 30 日)
- 2. 渡辺 綾子, 大島 聖美, 田中 秀樹「地域の両親学級における妊婦に対する単発の睡眠教育が, 睡眠, 抑うつに与える効果」, Journal of Health Psychology Research, (2018 年)
- 3. 大島聖美 「若者の親認識変容プログラムの開発と効果測定」、『マツダ財団研究報告書』、第28 巻、pp.1-10、2016
- 4. 大島聖美 「青年から見た父親及び母親の好ましい姿: KJ 法による構造化を通して」、『広島国際大学心理科学部紀要』、第4巻、pp.13-24、2016
- 5. 大島聖美 「夫婦関係と子どもの養育:夫婦間コペアレンティングに向けて」、『広島国際大学心理科学部紀要』、第3巻、pp.79-90、2015
- 6. 大島聖美 「若者の親に対するイメージの発達過程」、『家族心理学研究』、第29巻、第1号、pp.34-50、2015(査読あり)

- 7. 大島聖美 「青年の親に対する認知の重要性 青年期の親子関係研究及び親準備教育の観点から」、『広島国際大学心理科学部紀要』、第2巻、pp69-78、2014
- 8. 大島聖美「中年期母親の子育て体験による成長の構造―成功と失敗の主観的語りから」、『発達心理学研究』、第24巻、第1号、pp.22-32、2013b (査読あり)
- 9. 大島聖美 「夫婦間の信頼感と両親からの支持的関わりが若者の心理的健康に与える影響の男女差」、『発達心理学研究』、第24巻、第1号、pp.55-65、2013a(査読あり)
- 10. 大島聖美 「中年期父親の肯定的子育で歴の回想分析」、『家族心理学研究』、第 25 巻、第2 号、pp.135-147、2011 (査読あり)
- 11. 大島聖美 「父親と家族: 父親から家族への関わりとその背景」、『お茶の水女子大学心理臨床 相談センター紀要』、第 11 号、pp.1-12、2009b
- 12. 大島聖美 「青年の親イメージの変容プロセスとその要因」、『人間文化創成科学論叢』12, 231-239, 2009
- 13. 大島聖美 「妻から夫への信頼感が青年期後半の娘の心理的健康に与える影響」、『発達心理 学研究』、第20巻、第4号、pp.351-361、2009a (査読あり)

研究業績(2)学会発表など

大島聖美・鈴木佳奈・西村太志・加藤道代「夫婦のコペアレンティングを考える」、『日本発達心理学会第29回大会論文集』、2018

②大島聖美 「大学生向け夫婦コミュニケーションプログラムの作成:長期的な効果の検討」、『日本家族心理学会第34回大会論文集』、2017

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 地域協力活動
- 1. 笠間市立かさまこども園(2017年08月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費]挑戦的萌芽研究(分担)「絵本の読み聞かせにみる父親の育児参加の意識と実際」,351 万円(2016年04月01日~2019年03月31日)
- 共同研究・受託研究
- 1. [国内共同研究] 「夫婦データを用いた、家計、就業、子育てに関する二次分析(分担)」, 未詳(2017年06月~2018年03月)

教育実践高度化専攻		氏名	,坂場 克身
教員履歴など			
現 職	教 授		
学歴・職歴			
学位			
受賞歴	なし		
所属学会			
専門分野			
教育研究概要			
	(キーワード)		
担当科目			
研究業績(1)論	文・著書・翻訳など		
研究業績(2)学会発表など			
研究業績(3)芸	術・体育系の活動		
社会的活動、地域貢献など			
海外出張・海外研修・内地研修など			
科学研究費補助金などの受領			

教育実践高度化専攻

氏名 藤田 達人

教員履歴など

現 職	教 授
学歴·職歴	茨城大学 教育学部 小学校教員養成課程美術科(日本)[1978年03月卒業] 上越教育大学大学院 学校教育研究科 教科・領域教育専攻芸術系コース美術 (日本)[1996年03月修了] 稲敷郡茎崎村立茎崎中学校(1978年4月~1983年3月) 茨城県教育庁(2001年4月~2005年3月) 大洗町立南中学校(2005年4月~2007年3月) 茨城県教育庁(2007年4月~2009年3月) ひたちなか市立高野小学校(2009年4月~2010年3月) 茨城県教育研修センター(2010年4月~2012年3月)
	大洗町立南中学校(2012年4月~2016年3月)
学位	修士(教育学)[上越教育大学]
受賞歴	なし
所属学会	美術教育実践学会 美術科教育学会
専門分野	教育学
教育研究概要	主に学校運営、学校教育全般について実践的な研究を行っています。
	(キーワード)学校運営 教育実践
担当科目	(大学院科目)学校運営課題研究 I /学校運営課題研究Ⅲ, 課題発見実習, 学校運営課題研究Ⅱ/学校運営課題研究Ⅳ, 校内研修の企画・立案と実践, 学校運営開発実習 I , 教育方法開発実習 II , 教育方法開発実習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会発表など	

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など
科学研究費補助金などの受領

教育実践高度化専攻 氏名 生越 達

教員履歴など

現職	教 授
学歴・職歴	東京大学 法学部[1984年03月卒業]
	東京大学 教育学部 学校教育学科[1986年]
	東京大学大学院 教育学研究科 学校教育学[1992年]
	茨城大学教育学部教授(2004年4月~)
学位	教育学修士
受賞歴	なし
	日本生活指導学会 社会臨床学会 日本人間性心理学会 日本教育方法学会
所属学会	日本教育学会
専門分野	教育方法学
教育研究概要	(キーワード)教育方法、生活指導、教育相談、子ども論、現象学的研究、人間性
	心理学、授業研究、不登校、子どもの「問題行動」
担当科目	(専門科目)生活指導の方法,生活指導の方法,教育的関係論特講、人間関係と
	いじめ、卒業研究(教育:4単位)
	(大学院科目)子ども理解にもとづく学習指導,人間形成の現代的課題と学習指
	導,教育方法開発課題研究 I,教育方法開発課題研究Ⅲ,課題発見実習,子ども
	理解と学習支援,教育方法開発課題研究II,教育方法開発課題研究IV,教育方
	法開発実習 I,教育方法開発実習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

ハイデガー「共存在」理解のための序論―人間にとっての「つながり」の重要性、『学ぶと教えるの現象学研究 十七』、pp.85-99

生徒指導における食育のもつ意味—休職指導について考える、『教育の現代的課題と教員の資質向上』、pp.85-99

教育政策の動向や世界の教育の動向、『教育の現代的課題と教員の資質向上』、pp.32-51.

教職大学院で育む実践力―林竹二とM.ハイデガーの思索にもとづいて―、『教育実践高度化専攻(教職大学院年報)』第2号、pp.3-26.

国際比較から見る教育政策の動向、『教育の最新事情と研究の最前線』、福村出版、pp.8-37. 新学習指導要領下で求められるキャリア教育、『教育の最新事情と研究の最前線』、福村出版、pp.111-125.

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業·兼職
- 茨城県スクールカウンセラー
- •茨城県立医療大学看護学校専任教員養成プログラム講師
- •看護協会研修会講師
- •高等学校筑西地区校長会研修会講師
- •茨城県教育職員特別免許状審査会委員
- •日立市学校長会研修会講師
- ·水戸総合教育研究所事例検討会講師
- •茨城県教育委員会指導力判定委員会委員
- 茨城県研修センター学部評価委員会委員長
- •水戸私立小中学校等強化用図書審議会委員
- •大洗町保育協議会研修会講師
- •日立市教育委員会不登校解消研修会講師
- •茨城県特別支援教育専門家派遣事業講師
- ・水戸生涯学習センター研修会講師
- •茨城県立緑岡高等学校研修会講師
- •文部科学賞教員氏確認点試験問題作成委員会委員
- •大洗町教育委員会外部評価委員
- ·潮来市策定委員会委員

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室

氏名 三輪 壽二

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	ー橋大学 経済学部[1985 年卒業] 千葉大学大学院 教育学研究科 学校教育[1991 年修了] 医療法人厚生協会 東京足立病院(1991 年 4 月~2000 年 11 月) 茨城大学(2000 年 12 月~2011 年 3 月) 助教授・准教授 茨城大学(2011 年 3 月~)教授
学位	修士(教育学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校健康相談学会 日本カウンセリング学会 日本教育心理学会 日本社会 臨床学会
専門分野	教育相談、臨床心理学、社会臨床論
教育研究概要	
4X 1 19/ 7 19/ X	(キーワード)空想、適応、主題統覚法検査、コンサルテーション
担当科目	(専門科目)学校教育相談,学校教育相談/学校教育相談(心理)/学校教育相談,心理臨床診断法,心理臨床援助法実習 I,臨床心理学(心理コース用:免許つかえる),心理臨床援助法実習 II,卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)児童生徒支援課題研究 I /児童生徒支援課題研究Ⅲ,課題発見実習,学校適応アセスメント実習,学校不適応問題への理解と対応,子ども理解と学習支援,児童生徒支援課題研究Ⅱ/児童生徒支援課題研究Ⅳ,教育相談の課題と支援,児童生徒支援実習,学校適応支援実習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
- 1. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 単著【査読あり】] 三輪壽二「TAT 法を活用した生徒指導とコンサルテーションの研究」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 66, 461-469(2017年)
- 2.共著『教育最新事情と研究の最前線』 第3章(単)「子どもたちの発達と特別な支援を必要とする子」57-68p 福村出版 2018 年

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業·兼職
- 1. [兼業] リリー保育福祉専門学校・非常勤講師(2008年04月~)
- 2. [兼業] 茨城県教育委員会・スクールカウンセラー(2003年04月~)
- 学協会での役職
- 1. 日本社会臨床学会, 会長(2015年04月~2017年03月)
- 〇 地域協力活動
- 1. 社団法人いはらき思春期保健協会副理事長(2012年04月~)
- 2. 社団法人いはらき思春期保健協会幹事(2006年04月~)
- 3.ひたちなか市いじめ対策協議会調査委員長(2018年4月~)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「ほっとステーション活動」(学内補助金 戦略的地域プロジェクト(2016年~継続)

教員履歴など

	To the state of th
現職	教 授
学歴•職歴	筑波大学 第二学群 人間学類心理[1988年卒業]
	筑波大学大学院 心理学研究科 心理学[1994年単位取得満期退学]
	茨城大学教育学部講師(1995年1月~1999年9月)
一 一年 - 概任	茨城大学教育学部助教授(1999年10月~2007年3月)
	茨城大学教育学部准教授(2007年4月~2011年9月)
	茨城大学教育学部教授(2011年10月~)
学位	修士(心理学)[筑波大学] 博士(心理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育心理学会 日本カウンセリング学会 日本発達心理学会
専門分野	教育·社会系心理学
数容研究概画	
教育研究概要	(キーワード)子どもの対人関係、教師と子どもの対人関係、社会的適応、自己受容
担当科目	(専門科目)心理学文献講読 I , 発達の理解A/発達の理解 I, 心理学研究法 II, 卒
	業研究(教育:4 単位)
	(大学院科目)学級経営実践演習,学級集団づくりとソーシャルスキル教育の実践法,児
	童生徒支援課題研究 I /児童生徒支援課題研究Ⅲ,課題発見実習,学校適応ア
	セスメント実習, 子ども理解と学習支援, 児童生徒支援課題研究Ⅱ/児童生徒支援
	課題研究IV,児童生徒支援実習,学校適応支援実習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[共著]矢口和美・渡部玲二郎「茨城町ほっとステーション活動報告」16-19(2018年 03月 30日)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 行政機関等での委員就任
- 1. 「茨城県教育研修センター「教員研修講座(集団のアセスメントとその対応)」講師」
- 2. 「平成 29 年度戦略的地域連携プロジェクト 茨城町ほっとステーション活動」茨城町教育委員会

[プロジェクト代表]

- 3. 「社団法人茨城県看護協会「実習指導者講習会」講師」茨城県看護協会
- 4.「社団法人茨城県看護協会「茨城県専任教員養成講習会」講師」茨城県看護協会
- 5. 「茨城町教育委員会生徒指導研修会(不登校対策協議会)講師」
- 兼業・兼職
- 1. [非常勤講師] 筑波大学人間学群・(1998年04月~)
- 2. [非常勤講師] 茨城北西看護専門学校・(2010年04月~)
- 学協会での役職
- 1. 日本カウンセリング学会, 日本カウンセリング学会常任編集委員(2008年04月~2017年03月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領		

学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室

氏名 打越 正貴

教員履歴など

現 職	准教授
学歴•職歴	茨城大学大学院 教育学研究科 学校教育[1999年03月修了]
学位	修士(教育学)[茨城大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育方法学会 教育実践学会 社会科教育開発学会
専門分野	教育学 教育方法
教育研究概要	(キーワード)教育実践 授業研究 思考指導 学級経営 生徒指導 教師教育
担当科目	(専門科目)教育課程演習,卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)特別支援教育の理論と実践,子ども理解にもとづく学習指導,子どもの発達と学習の過程,教育方法開発課題研究 I,教育方法開発課題研究 II, 課題発見実習,学校適応アセスメント実習,授業研究による授業改善,教育臨床問題と道徳,子ども理解と学習支援,教育方法開発課題研究 II,教育方法開発課題研究 IV,校内研修の企画・立案と実践,学校運営開発実習 I,教育方法開発実習 I,児童生徒支援実習,学校適応支援実習,学校運営開発実習 II,教育方法開発実習 I,児童生徒支援実習,学校適応支援実習,学校運営開発実習 II,教育方法開発実習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- 1. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 単著] 打越正貴「「主体的・対話的で深い学び」を展開するための総合的な学習の時間の在り方に関する一考察」, 『茨城大学教育学部」(教育科学), 67, 793-812 (2018年01月31日)
- 2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]打越正貴 近藤量行「自己肯定感や他者への思いやりの心を育む支援の工夫 輝きお互いに認め合える放送活動を通して-」,『茨城大学教育学部紀要』(教育科学),67,813-825(2018年01月31日)
- 3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]打越正貴 島本晃宏「「自己の生き方を見つめる」ための総合的な学習の時間の在り方 ーカリキュラム・マネジメントの工夫改善を通して一」, 『茨城大学教育学部紀要』(教育科学), 67, 773-791 (2018年01月31日)
- 4. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著] 成井紀英 打越正貴「保護者対応から見える生徒指導についての一考察」, 『茨城大学教育学部紀要』(教育科学), 67, 827-839(2018 年 01 月 31 日)
- 5. [研究論文(その他学術会議資料等)共著]「校内研修を企画・実践できる教員の育成一「校内研修の企画・立案と実践」の授業を通して一」,日本教職大学院協会「教育実践フォーラム」,183-194

(2017年12月09日)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [ロ頭発表(一般)・国内会議(共同)]「校内研修を企画・実践できる教員の育成 「校内研修の 企画・立案と実践」の授業を通して-」平成 29 年度日本教職大学院協会研究大会 - 教職大学院制 度発足 10 周年記念大会- 「実践研究成果公開フォーラム」(東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 「一橋 大学一橋講堂」)[2017 年 12 月 09 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 行政機関等での委員就任
- 1.「潮来市教育振興基本計画·学校適正化計画策定委員会」潮来市教育委員会 教育長 横田直 樹[策定委員]
- 地域協力活動
- 1. 鹿嶋市立中野西小学校「「魅力ある学級経営の在り方」」(2017年05月~2018年03月)
- 2. 行方市立麻生中学校[地域貢献事業]「「学びに向かう力」を育む学習指導のあり方」(2017年04月~2018年03月)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領		

教育実践高度化専攻

氏名 藤井 とし子

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	日本授業UD学会
専門分野	
教育研究概要	
	(キーワード)
担当科目	(大学院科目)学級経営実践演習,学級経営と個別指導の実践,学級集団づくりと ソーシャルスキル教育の実践法,児童生徒支援課題研究 I/児童生徒支援課題研究 Ⅲ,課題発見実習,学校適応アセスメント実習,学校不適応問題への理解と対応, 子ども理解と学習支援,児童生徒支援課題研究 II/児童生徒支援課題研究IV,教 育相談の課題と支援,校内研修の企画・立案と実践,児童生徒支援実習,学校適
	青柏畝の課題と又接, 校内研修の企画・立条と美践, 児里生使又接美質, 子校適応支援実習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

(共)「外国人児童生徒及び保護者への教育支援に関する研究: 2つの事例をもとに」茨城大学教育実践研究 vol36, 2017 年 11 月

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 地域協力活動
- 1. Rimse 理数教育研究所[その他公的社会活動]「塩野直道記念算数・数学の自由研究作品コンクール審査」(2014年09月~)
- 2. 茨城県数学教育研究会副会長(2017年5月~)
- 3. 2020 年度全国算数·数学教育研究大会事務局長(2017年5月~)

海外出張・海外研修・内地研修など	
科学研究費補助金などの受領	

学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室

氏名 加藤 崇英

教員履歴など

准教授
山形大学教育学部講師(2002年~2005年)
山形大学地域教育文化学部助教授(2005年~2006年)
国立教育政策研究所 研究員(2006年~2007年)
国立教育政策研究所 主任研究官(2007年~2009年)
茨城大学教育学部准教授(2009年~2016年)
茨城大学大学院教育学研究科准教授(2016年~)
修士(教育学)
なし
日本教育事務学会 日本スクールコンプライアンス学会 日本教育行政学会 日本
教育経営学会
教育学 学校経営 教育行政
学校組織に関する理論的・実証的研究 学校評価に関する研究 学校規模に応じ
た学校マネジメントに関する研究 学校経営における業務改善に関する研究 上
記、研究課題に関する学校現場・教職員への支援
(キーワード)
(専門科目)教育の制度と経営,教育の制度と経営,教育行政演習,卒業研究(教
育:4 単位)
(大学院科目)スクール・リーダーシップとその実践, 学校運営課題研究 I /学校運
営課題研究Ⅲ,課題発見実習,学校における評価マネジメント実践演習,学校マ
ネジメント実践演習, 学校運営課題研究 II /学校運営課題研究 IV, 校内研修の企
画・立案と実践, 学校運営開発実習 I , 学校運営開発実習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
- 1. 日本教育経営学会, 理事(2015年~)
- 2. 日本教育経営学会, 研究推進委員(2015年~)
- 地域協力活動
- 1. [学外審議会・委員会等]「水戸市教育事務評価専門委員」(2016年07月~2018年06月)
- 2. JICA 筑波 中南米からの教員研修による本学訪問時における講義(2009 年~)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

- 共同研究•受託研究
- 1. [国内共同研究] 「学校評価システムの展開に関する実証的研究(分担)」, 未詳(2007年04月~)

人間環境教育課程	氏名 丸山 広人
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授			
学歴•職歴	東京大学大学院 教育学研究科[2003年単位取得満期退学] 東京大学大学院教育学研究科助手(2003年4月~2005年6月) 茨城大学教育学部助教授(2005年7月~2007年3月) 茨城大学教育学部准教授(2007年4月~)			
学位	博士(教育学)[東京大学]			
受賞歴	なし			
所属学会	日本教育心理学会 日本学生相談学会 日本心理臨床学会 日本コミュニティ心理学会			
専門分野	教育心理学 臨床心理学			
教育研究概要	(キーワード)			
担当科目	(専門科目)コミュニティー心理学(環境コース)/コミュニティー心理学(心理コース),人間教育の心理学[人環用教職]/人間教育の心理学(教職共通)/人間教育の心理学(教職共通),心理特別演習 I,総合演習[人環用],心理特別演習 II,卒業研究(教育:4単位)(大学院科目)学級経営と個別指導の実践,児童生徒支援課題研究 I/児童生徒支援課題研究Ⅲ,課題発見実習,学校適応アセスメント実習,教育カウンセリング実践と事例研究,子ども理解と学習支援,児童生徒支援課題研究 II/児童生徒支援課題研究Ⅳ,児童生徒支援実習,学校適応支援実習			

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会	※ 表わり	
柳九未粮(4)千云	光衣なる	

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. [兼業] 茨城県教育委員会・スクールカウンセラー(2013年05月~2018年03月)
- 2. [兼業] 茨城北西看護専門学校・カウンセラー(2011年 12月~2018年 03月)
- 3. [兼業] 水戸市いじめ問題対策協議会委員(2017年11月~2019年11月)
- 4. [兼業] ひたちなか市いじめ問題調査委員会委員(2018年2月~2021年2月)
- 学外教育
- 1. [自治体での社会教育] 「発達障害等に関する専門家派遣事業 講師(年1回)」, 2時間, 7名出席, 土浦特別支援学校
- 2. [自治体での社会教育]「龍ケ崎市立長山小学校校内研修会講師」, 2 時間, 40 名出席, 龍ケ崎市立長山小学校
- 3. [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「第62回茨城県教育研究連盟研究集会助言者」,7時間,25名出席,茨城県教育研究連盟
- 4. [自治体での社会教育] 「発達障害等に関する専門家派遣事業 講師(年3回)」, 6 時間, 50 名出席, 茨城県城里市立桂中学校
- 5. [自治体での社会教育]「那珂市教育支援センター研修会(年5回)」, 10 時間, 20 名出席, 茨城県 那珂市教育研究支援センター
- 6. [自治体での社会教育]「石岡市適応指導教室研修会(年5回)」, 10 時間, 10 名出席, 石岡市教育委員会
- 7. [自治体での社会教育]「水戸市総合教育研究所内事例検討会(年2回)」, 5 時間, 20 名出席, 水戸市総合教育研究所
- 8. [自治体での社会教育]「「子どもホットライン」サポートスタッフ研修会講師」, 5 時間, 20 名出席, 茨城県教育庁学校教育部義務教育課

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領		

学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室

氏名 杉本 憲子

教員履歴など

現 職	准教授				
学歴・職歴	名古屋大学 教育学部 教育学科[1996 年卒業] 名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 教育科学[2001 年単位取得満期退学]				
学位	修士(教育学)[名古屋大学]				
受賞歴	なし				
所属学会	日本教育学会 日本教育方法学会 日本生活科·総合的学習教育学会 中部教育学会				
専門分野	教育方法学				
 	(研究経歴) 1996-2005 授業分析を通しての子どもの思考過程の研究				
教育研究概要	(キーワード)教育方法、授業研究				
担当科目	(専門科目)教育の方法と技術, 学習指導特講, 教育の方法と技術, 学習指導の方法, 学習指導演習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)授業研究の方法と実践, 教育評価の方法, 教育方法開発課題研究 I, 教育方法開発課題研究Ⅲ, 課題発見実習, 授業研究による授業改善, 子ども理解と学習支援, 教育方法開発課題研究Ⅱ, 教育方法開発課題研究Ⅳ, 教育方法開発実習Ⅰ, 教育方法開発実習Ⅱ				

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
- 1. [単行本(学術書)・共著] 茨城大学教育学部学校教育教室編「教育の最新事情と研究の最前線」, 第6章, 福村出版, (2018年02月28日)

研究業績(2)学会発表など

- 後援会・シンポジウム・会議等
- 1. Forum-2, Revealing Diversity: Lesson Study as Platform of Teacher-research Collaboration, WALS2017, (2017年11月26日)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領		

教育実践高度化専攻

氏名 照屋 翔大

教員履歴など

現 職	准教授
学歴•職歴	筑波大学 第二学群 人間学類 教育学専攻[2004年03月卒業] 筑波大学大学院 人間総合科学研究科(一貫制博士課程) 教育学主専攻[2010年03月その他] 筑波大学大学院 人間総合科学研究科(博士後期課程) 教育基礎学専攻[2010年08月単位取得満期退学] 愛知東邦大学(2010年9月~2011年3月) 愛知東邦大学(2011年4月~2016年3月) 茨城大学大学院(2016年4月~)
学位	修士(教育学)[筑波大学大学院人間総合科学研究科]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育経営学会 日本教育行政学会 日本教育学会 日本教育制度学会 筑 波大学教育学会 American Educational Research Association
専門分野	教育学 学校経営学
教育研究概要	沖縄県浦添市出身。専門は、学校経営学・教育行政学(School Administration and Educational Leadership)。市町村を単位にした学校改善(district-based school reform)に関心があり、特に、学校改善を促す学校と教育委員会事務局の協力関係およびそれぞれの力量やリーダーシップについて、アメリカでの先進的な取り組みを参照しつつ、日本での実践可能性を模索している。 主たる研究テーマに、学校教育の質保証システム(school and district accreditation)、教育長と教育委員会事務局のリーダーシップ(leadership of district superintendent and office staff)、現代的政策課題(コミュニティ・スクール、チーム学校、多様なニーズを抱えた児童生徒等)に対する学校経営・教育行政様式の日米比較などがある。
担当科目	(大学院科目)学校を基盤としたカリキュラム開発と実践,学校運営課題研究 I/学校運営課題研究Ⅲ,教育政策の実施と評価,課題発見実習,学校危機管理論と実践演習,教育行財政と法規,学校運営課題研究Ⅲ/学校運営課題研究Ⅳ,校内研修の企画・立案と実践,学校運営開発実習 I,学校運営開発実習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書·論文等

- 1. [単行本(一般書)·共著]水本徳明 編著「『実践教育法規 2017』」, 小学館, pp.18-19、pp.66-67、pp.68-69、pp.70-71、pp.72-73 (2017 年 06 月 15 日)
- 2. [(MISC)研究論文共著【査読あり】]浜田 博文,安藤 知子,山下 晃一,加藤 崇英,大野 裕己,高谷 哲也,照屋 翔大,朝倉 雅史,高野 貴大「新たな学校ガバナンスにおける「教育の専門性」の再定位:武雄市「官民一体型学校」とB市「コミュニティ・スクール」の事例分析」,筑波大学教育学系論集 = Bulletin of Institute of Education, University of Tsukuba, 42, 2, 45-71 (2018 年 03 月) 3. [(MISC)研究論文共著] 臼井 智美、照屋 翔大「Interventionist Teamを通じた児童生徒の多層的教育課題への対応 一アメリカ・コロラド州における ELL 児童生徒の事例からの示唆一」,大阪教育大学紀要.総合教育科学,66,1-18 (2018 年 02 月 28 日)
- 4. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】] 照屋翔大「アメリカにおける「教育の専門性」をめぐる現状と課題―NBPTS による優秀教員資格認定の取り組みに着目して―」,日本教育経営学会紀要,59,58-72(2017年06月25日)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [ポスター発表・国際会議(共同)] Tomomi USUI, Shota TERUYA, Yumi KURAMA "Current Status and Issues of Teacher Education for Foreign Students in Japan: Support Tools Development for Teachers to Achieve Effective Teaching and Learning" JUSTEC 2017 (29th Annual Conference) (University of Hawai'i at Manoa) [2017年09月16日]
- 2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 高妻紳二郎、張揚、照屋翔大、藤村祐子「教育経営学研究の国際的潮流(その1)―米・英・独・中4か国の教育経営関連学会における研究動向に焦点を当てて ―」日本教育経営学会第57回大会(茨城大学)[2017年06月11日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業·兼職
- 1. [非常勤講師] 茨城キリスト教学園大学・(2016 年 04 月~)
- 学協会での役職
- 1. 日本教育経営学会, 学会創設 60 周年記念出版事業編集委員会 幹事(2016 年 06 月~2018 年 06 月)
- 2. 日本教育経営学会, 国際交流委員会 委員(2015年06月~2018年06月)
- 3. 北名古屋市教育委員会,学校運営推進協議会(現:北名古屋市豊かな学び創造推進協議会)アドバイザー(2012年06月~2017年03月)

海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ サンアントニオ HenryB.GonzalezConventionCenter[情報収集のため](2017年4月~5月:5日間)

アメリカ デンバー ColoradDepartmentofeducation[インタビュー調査のため] (2017年9月:4日間) アメリカ ホノルル UniversityofHawaiiatManoa[情報収集のため] (2017年9月:5日間)

科学研究費補助金などの受領

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費] 若手研究(B)(代表)「教委と学校のコラボレーションを核にした学校評価システムの構築 に関する日米比較研究」, 325 万円 (2015 年 04 月 01 日~2019 年 03 月 31 日)

附属教育実践総合センター 氏名 昌子 佳広

教員履歴など

現 職	教 授		
学歴•職歴	島根大学大学院 教育学研究科 教科教育専攻国語教育専修[1998年03月修		
	[7]		
学位	教育学修士[島根大学]		
受賞歴	なし		
所属学会	日本文学協会 表現学会 日本読書学会 日本国語教育学会 全国大学国語教		
///两丁五	育学会		
専門分野	地方における国語教育実践史の研究		
数容研究概画			
教育研究概要	(キーワード)		
	(専門科目)初等国語科教育法研究, 読書と豊かな人間性, 国語科教育法特講 II,		
担当科目	中等国語科教育法 I, 初等国語科教育法研究, 国語科教育法演習 I, 卒業研究		
	(教育:4 単位)		
	(大学院科目)国語科教育学特論Ⅱ,言語文化総合研究,初等国語教育学授業		
	設計,中等国語教育学授業設計,特別課題研究		

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会発表など		

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

附属教育実践総合センター 氏名 五島 浩一

教員履歴など

	
現 職	准教授
学歴•職歴	北浦村立北浦中学校(1984年4月~1990年3月)
	水戸市立新荘小学校(1990年4月~1994年3月)
	茨城大学教育学部附属小学校(1994年4月~2009年3月)
	牛久市立下根中学校(2009年4月~2011年3月)
	水戸市立第一中学校(2011年4月~2013年3月)
学位	
受賞歴	なし
所属学会	日本理科教育学会
専門分野	教科教育学、教師教育、教育実践学
教育研究概要	
	(キーワード)教科教育、理科教育、教職論、教師教育、教育実践
担当科目	(専門科目)教師の資質と教職設計A,教師の資質と教職設計B
	(大学院科目)学校を基盤としたカリキュラム開発と実践,校内研修の企画・立案と
	実践

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書·論文等
- 1. [単行本(学術書)・分担執筆] 菊池龍三郎 編 五島浩一 他による分担執筆「教職入門」,協同 出版,pp.25-51(2018 年 03 月 30 日)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 地域協力活動
- 1. 那珂市教育委員会[地域貢献事業]「平成29年度那珂市研究主任研修会」(2017年08月~)
- 2. 那珂市教育委員会「平成 28 年度いばらき理科教育推進事業に係る小学校教科担任制モデル校公開授業研究会」(2017 年 01 月~)
- 3. 那珂市教育委員会[地域貢献事業]「平成28年度那珂市研究主任研修会」(2016年05月~)

- 4. [地域貢献事業]「神栖市立太田小学校校内研修会講師」(2016年02月~)
- 5. 那珂市教育委員会[地域貢献事業]「平成27年度那珂市研究主任研修会」(2015年05月~)
- 6. 那珂市教育委員会[地域貢献事業]「平成26年度第2回那珂市研究主任研修会」(2015年02月~)
- 7. 茨城県水戸教育事務所[地域貢献事業]「平成26年度中学校研究主任研修会講師」(2015年01月~)
- 8. 那珂市教育委員会[地域貢献事業]「平成26年度那珂市研究主任研修会講師」(2014年05月~)
- 9. [地域貢献事業]「鹿嶋市立鹿島小学校理科要請訪問指導講師」(2013年11月~)
- 10. [地域貢献事業]「神栖市教育会理科教育研究部研修会講師」(2013年08月~)
- 11. [地域貢献事業]「日立市教育研究会教育課程研究部研修会講師」(2013年02月~)

海外出張•海外研修	・内地研修など海外出張	・海外研修・内地研修など

(全学教職センター)

氏名 本田 敏明

教員履歴など

現 職	特任教授	
学歴•職歴	広島大学 教育学部 小学校教員養成課程[1975年] 広島大学大学院 教育学研究科 教育方法学[1981年]	
学位	教育学修士	
受賞歴	社会教育者功労者表彰(2011)	
所属学会	教育システム情報学会 日本教育工学会 日本教育方法学会 情報科教育学会	
専門分野	教育工学 教育方法学	
教育研究概要	(キーワード)教育工学 情報教育 教育方法 教授学 ラーニングエコロジー e-ペダゴジー	
担当科目	(専門科目)教育の方法と技術(人文・理学部向け),教育の方法と技術(農学部向け),情報科教育法 I,卒業研究(教育:4 単位)	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
- 1. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著]本田敏明・赤間文香「プログラミング教育について―情報 リテラシーの涵養か ICT 人材育成か―」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 66(2017 年)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領